

資料編

- 1 都道府県アンケート調査票
- 2 モデル地域市民アンケート調査票
- 3 モデル地域市民アンケート調査結果
- 4 モデル地域ヒアリング調査結果

【都道府県アンケート調査票】

平成17年度国土施策創発調査
地域プライド創発による地域づくりのあり方に関する調査～地域固有の歴史的精神文化を軸とした地域プライドの創発～
【地方公共団体における歴史的地域プライドの現状に関するアンケート調査】

アンケートへのご記入に当たって

地域の誇りとして考えられる資源

各都道府県下において、各地域の誇りと考えられるものとして、
自然資源：山・河川・湖沼、またはこれら景観
歴史資源：歴史的な出来事、人物、伝説、言い伝え(民話)、遺跡・史跡、神社・仏閣など
文化資源：伝統芸能、祭礼(祭り、フェスティバル)、音楽、演劇、絵画、工芸など
民俗資源：伝統行事、年齢階梯的な行事、風習・習慣など
まち資源：街並み、農村漁村、田んぼ、道路、公園、水(湧き水)など
その他：地場産業、特産品、郷土食、スポーツ、教育、地域団体、観光資源など
と、様々なものが挙げられると思います。

地域固有の歴史的精神文化 = 歴史的地域プライドとは

- ・上記のように地域の誇りとして考えられる資源は多々ありますが、本調査では、人間が個人を形成する上で、両親から子孫へ遺伝されているのと同様に、各々の地域が、これまでに経験し、築き上げてきた歴史・文化というものは、地域のDNAであり、地域づくり、そして、その地域で育った人々を形成する上で、最も根底にあり、受け継ぎ、守っていくべき誇り(プライド)であると考えております。
- ・そこで、本調査では、地域住民に受け継がれている歴史的な出来事やゆかりの人物、風習、伝説や説話、祭りやイベントといった文化的な活動などを『地域固有の歴史的精神文化 = 歴史的地域プライド』と定義します。この歴史的地域プライドに対象を絞って、アンケートにご回答くださいますようよろしくお願いいたします。

地域の誇りとして考えられる資源のうち、歴史的な出来事やゆかりの人物、風習、伝説や説話、祭りやイベントといった文化的な活動など、歴史的な位置づけや背景のもとに現代の地域住民に受け継がれている資源を対象としています。

『地域固有の歴史的精神文化 = 歴史的地域プライド』の例

- ・『地域固有の歴史的精神文化 = 歴史的地域プライド』として考えられる事例を以下に紹介します。これら事例を参考にさせていただきながらアンケートにご回答ください。
以下の事例は、既往資料やHPをもとに、歴史的地域プライドとして考えられるものを整理し、掲載したものです。したがって、事実や考え方が実際と異なる場合もあります。本アンケートで回答いただいた記述をもとに、現地調査や資料調査、ヒアリング等を実施し、正確な内容を取りまとめる次第ですのでご了承ください。

小村寿太郎の“誠”の精神：宮崎県日南市飫肥地区・・・歴史的な出来事やゆかりの人物

飫肥藩の出身。第1次桂内閣の外務大臣として1902年日英同盟をむすび、日露戦争では講和会議の全権となってポーツマス条約に調印。その後、イギリス駐在公使をへて第2次桂内閣の外務大臣となり、1911年には関税自主権の回復に成功し、条約改正を実現した。国を愛し、“誠”の精神をもって、外国諸国と臆することなく渡り合った小村寿太郎公は、市民の誇りとしてたたえられているとともに、学校教育をはじめ、市民生活の中に受け継がれている。

吉田川カッパまつり(清流吉田川変装ジャンプコンテスト)：岐阜県郡上市(旧八幡町)・・・風習、ならわし、伝統の儀式

現在の祭りとしての形態は観光用にスタートしたとされているが、元来は、旧八幡町の住民にとって清流吉田川は生活の一部であり、高い橋から吉田川飛び込むという行為は、子供達にとっての遊びとしてだけでなく、“大人”になるための伝統儀式としても考えられている。

この飛び込みは、大正時代に定着したといわれているが、河川開発が続いた高度成長期以降、多くの川が遊泳禁止となる中で、郡上八幡の人たちは吉田川への飛び込みを守り続けてきており、形を変えて現代の受け継がれているプライドの一つとして捉えられる。

「稲むらの火」：和歌山県広川町・・・歴史的な出来事やゆかりの人物、過去から現代へと受け継がれている教え

1854年の安政南海地震の際に、広川町の庄屋、浜口梧陵(ごりょう)が稲むらに火をつけ、津波から村人を守った史実に基づく物語。この災害に対する備えやその後の復興の歴史(地震後の堤防づくりや学校創立)については、地域のボランティア団体等を通じ、紙芝居などで小学校などに伝えられている。

アテルイに見る東北人としての誇り：岩手県をはじめ北上川流域の地域・・・歴史的な出来事やゆかりの人物

岩手県をはじめ東北地方が近代を迎えるまでの大まかな過程を振り返ると、自分達の生活を守るために、外からの権力に対して抵抗してきた歴史であるといえる。その代表的な出来事として、奈良時代から平安時代の初期に見られたエミシの戦い、特に、アテルイ・モレと坂上田村麻呂との戦い(東北大戦争)を挙げることができ、命をかけて祖国を守るうとしたアテルイは、郷土の英雄として語り継がれている。

アテルイ没後1200年を経過した現代において、その生き方等を地域に人々に広めることは東北人のアイデンティティの発露に繋がると、様々な運動が行われており、アニメーションの作成やミュージカル、新作神楽などの実演等によって、地域の多くの人々へ発信されている。

ひむか神話街道：宮崎県・・・伝説、伝統芸能

宮崎県は、古来、日向の国と呼ばれ、日本神話の発祥の地として、神話にまつわる歴史・文化資源が多く存在する地域である。日向の国に暮らす人々は、今も神々の物語りを伝えながら、神楽を舞う。神々が慈しんだ山々や樹木、清流を讃えている。

宮崎県においては、「ひむか神話街道」の広域観光ルート設定し、街道を拠点として地域内に神話の時代を発信していくことでの日本神話をテーマとした宮崎県のプライド起こしを行っている。

問0 . 回答者について

担当部課名、担当者名、連絡先等をご記入ください。

都道府県名		
担当部局、課・室名		
課・室長名		
回答者氏名		
回答者 連絡先	電話番号	
	ファックス番号	
	Eメールアドレス	

回答内容について、詳細をお聞きする場合がありますため、ご記入ください。

問1へお進みください。

問1. 「地域の誇り」として考えられる歴史的な資源について

貴都道府県下で、地域固有の歴史的な精神文化()として、地域住民に受け継がれている「歴史的地域プライド(例えば、歴史的な出来事やゆかりの人物、風習、伝説や説話、祭りやイベントといった文化的な活動など)」となるものを教えてください。

「地域固有の歴史的な精神文化」とは、どのようなものを示すのかについては、「アンケートへのご記入に当たって」をご参照ください。

回答にあたってのお願い

回答はいくつでも結構です。このようなものが歴史的地域プライドとして考えられるのではないかと、いうものを含め、できるだけ多く挙げていただければ幸いです。

回答枠として20枠ご用意いたします。20以上の歴史的地域プライドが考えられる場合は、コピーして追加してください。

ここで取り上げる「歴史的地域プライド」には、古くから伝わるものがそのままの形で現代の地域住民に受け継がれているものだけでなく、歴史的な背景のもとに、現代に新しい形となって伝わり、地域住民の誇りとなっているもの(祭りなどの文化資源)も挙げてください。

歴史的な地域の誇り(回答例)

歴史的な地域プライド:

対象となる地域:

誇りとなっている理由:
(複数回答可)
1: 地域独自の考え方・信念が息づいている
2: 地域住民が熟知している
3: 子供から大人へと成長の過程で必ず体験すべき事項であると考えている
4: 地域住民が心の支えとなっている。または生活の一部となっている
5: その他(具体的に以下に記入してください)

ここで挙げた歴史的な地域プライドとして考えられる事項と関連のある資源(出来事、伝説、史跡・建造物などの有形文化財、伝統芸能・祭りなどの無形文化財等)や、 における1~5の選択肢から、上記回答を選択した理由などをご記入ください(自由記述)。

「伝説」や「伝説」といった日本神話発祥の神話を地域住民が認知しており、これら神話に基づく 神社などの建造物を地域の人々が大切に守ってきている。また、これら神話を伝える 神楽や 祭りが地域住民の生活の中心となっていると考えられるため

例えば、
過去の出来事の教え
(江戸時代の大火の歴史が、現在まで地域の人々に言い伝えられ、また、その教えが現在の街を形成している)
歴史上の人物の思想
(氏の「勤勉」という思想が、市民の美徳として受け継がれ、市の基本理念のみならず、地域住民の生活にも浸透していると感じられる)
風習(ならわし、通過儀礼)
(橋から 川への飛込みという行為が、その地域の人々にとって“大人”として認められる儀式として受け継がれている)
民話
(地域で起こった出来事を説話集としてまとめたもので、県民性や生活への教えを象徴する内容として愛着が強いものとなっている)

歴史的な地域の誇り(1/20)

歴史的な地域プライド:

対象となる地域:

誇りとなっている理由:
(複数回答可)
1: 地域独自の考え方・信念が息づいている
2: 地域住民が熟知している
3: 子供から大人へと成長の過程で必ず体験すべき事項であると考えている
4: 地域住民が心の支えとなっている。または生活の一部となっている
5: その他(具体的に以下に記入してください)

ここで挙げた歴史的な地域プライドとして考えられる事項と関連のある資源(出来事、伝説、史跡・建造物などの有形文化財、伝統芸能・祭りなどの無形文化財等)や、 における1~5の選択肢から、上記回答を選択した理由などをご記入ください(自由記述)。

歴史的な地域の誇り(2/20)

歴史的な地域プライド:

対象となる地域:

誇りとなっている理由:
(複数回答可)
1: 地域独自の考え方・信念が息づいている
2: 地域住民が熟知している
3: 子供から大人へと成長の過程で必ず体験すべき事項であると考えている
4: 地域住民が心の支えとなっている。または生活の一部となっている
5: その他(具体的に以下に記入してください)

ここで挙げた歴史的な地域プライドとして考えられる事項と関連のある資源(出来事、伝説、史跡・建造物などの有形文化財、伝統芸能・祭りなどの無形文化財等)や、 における1~5の選択肢から、上記回答を選択した理由などをご記入ください(自由記述)。

問2. 歴史的な地域プライドを活かした地域づくりに向けた取組みについて

問1で回答していただいた「歴史的な地域プライド」を活かした地域づくりに向け、どのような取組みが行われていますか？

また、その取組みは主に誰が主体となって行っていますか？

以下の「歴史的な地域の誇り(1/20～20/20)」は、問1でご記入いただいた「歴史的な地域プライド」とリンクしています。

取組み事例として、「歴史的な地域プライド」それぞれに8つ記入欄を設けています。それ以上ある場合は、取組み内容のうち、代表的な取組みをご記入ください。

歴史的な地域の誇り(回答例)

歴史的な地域プライド(自動リンク):

	取組み名称	取組み区分	取組み主体	取組み主体(団体)の名称
取組み内容1	神楽	1	3,7	神楽保存会、祭り実行委員会
取組み内容2	資料館	2,5,7	2	市
取組み内容3	神話パンフレット	5	3	市商工会議所
取組み内容4	祭り踊り方講座	7	4	祭り継承の会
取組み内容5	街道整備	3	1	県
取組み内容6	学講座	7	8	市民大学
取組み内容7				
取組み内容8				

取組み区分の表/上表の取組み区分については、以下の取組み区分から該当する番号を入力ください。

(複数選択可)

- 1: 祭りやイベント
- 2: 施設整備
- 3: 街並み・回遊ルート整備
- 4: 文化資源等の保護
- 5: パンフレット等の作成
- 6: 学校教育
- 7: 公開講座、市民講座
- 8: 地域教育()
- 9: その他

取組み主体の表/上表の取組み主体については、以下の取組み主体から該当する番号を入力ください。

(複数選択可)

- 1: 都道府県
- 2: 市町村
- 3: 商店会、商工会議所
- 4: NPOや市民活動団体などの非営利団体
- 5: 町会、自治会、地域住民
- 6: 民間企業(メセナ事業など)
- 7: 実行委員会
- 8: 教育機関
- 9: その他(取組み主体に具体的に記入ください)

ここでいう「地域教育」とは、地域の中における通達儀礼や民俗行事、礼、祭り等を通じて、地域の年長者から年少者へ(家庭を含む)伝えられることをいいます。

歴史的な地域の誇り(1/20)

地域プライド資源(自動リンク):

	取組み名称	取組み区分	取組み主体	取組み主体(団体)の名称
取組内容1				
取組内容2				
取組内容3				
取組内容4				
取組内容5				
取組内容6				
取組内容7				
取組内容8				

取組区分及び取組主体の該当番号は、回答例の表をご覧ください。

歴史的な地域の誇り(2/20)

地域プライド資源(自動リンク):

	取組み名称	取組み区分	取組み主体	取組み主体(団体)の名称
取組内容1				
取組内容2				
取組内容3				
取組内容4				
取組内容5				
取組内容6				
取組内容7				
取組内容8				

取組区分及び取組主体の該当番号は、回答例の表をご覧ください。

問3．地域の誇りを伝えるコンテンツについて

問1で回答していただいた「歴史的地域プライド」を地域住民に伝え広めるために創作されたコンテンツはありますか？

それぞれについてコンテンツの種類と具体名をご回答願います。

以下の「地域プライド」(1/20～20/20)は、問1でご記入いただいた「地域プライド」とリンクしています。

コンテンツとは、「地域プライド」を放送やネットワーク等で提供する動画・音声・テキストなどの情報の内容のことで、本アンケートでは、以下の選択肢に記述するようなホームページや文学・音楽、映画・ビデオ、アニメーションなどのことを指します。

歴史的な地域の誇り（例）

地域プライド（自動リンク）：

コンテンツ分類：
(複数回答可)

- 1：文学（小説・童話を含む）
- 2：音楽
- 3：美術工芸（絵画・写真・彫刻など）
- 4：ミュージカルやオペラなど
- 5：伝統芸能（能・歌舞伎・神楽など）
- 6：映画・アニメなどの映像
- 7：紙芝居・絵本・漫画
- 8：調査研究
- 9：書籍（学校教材・刊行物など、HPも含む）
- 10：その他

民謡
神話に登場する人物の彫刻
神楽
伝説のアニメ
伝説を伝える絵カルタ
伝説が伝わる史跡・建造物の紹介パンフレット

具体的な内容も記入してください

歴史的な地域の誇り（1/20）

地域プライド（自動リンク）：

コンテンツ分類：
(複数回答可)

- 1：文学（小説・童話を含む）
- 2：音楽
- 3：美術工芸（絵画・写真・彫刻など）
- 4：ミュージカルやオペラなど
- 5：伝統芸能（能・歌舞伎・神楽など）
- 6：映画・アニメなどの映像
- 7：紙芝居・絵本・漫画
- 8：調査研究
- 9：書籍（学校教材・刊行物など、HPも含む）
- 10：その他

具体的な内容も記入してください

歴史的な地域の誇り（2/20）

地域プライド（自動リンク）：

コンテンツ分類：
(複数回答可)

- 1：文学（小説・童話を含む）
- 2：音楽
- 3：美術工芸（絵画・写真・彫刻など）
- 4：ミュージカルやオペラなど
- 5：伝統芸能（能・歌舞伎・神楽など）
- 6：映画・アニメなどの映像
- 7：紙芝居・絵本・漫画
- 8：調査研究
- 9：書籍（学校教材・刊行物など、HPも含む）
- 10：その他

具体的な内容も記入してください

問4. 「歴史的地域プライド」を活かした地域づくりへの支援内容について

(1) 貴部課において、「歴史的地域プライド」を活かした地域づくりへの支援等を行っていますか。

1: 支援している
 2: 支援していない

(2) 上記(1)の設問で「1: 支援している」と回答された方にお伺いします。貴部課と連携して「歴史的地域プライド」を活かした地域づくりへの支援等を行っている他の部署はありますか。

1: ある
 2: ない

「ある」場合、具体的な担当部署を教えてください。 (複数回答可)

- 1: 社会教育担当課
 - 2: 観光担当課
 - 3: 文化財担当課
 - 4: 政策企画担当課
 - 5: 都市計画担当課
 - 6: 都市整備担当課
 - 7: その他(具体的には)
-

(3) 「歴史的地域プライド」に関して情報発信を行っていますか。

(複数回答可)
 1: 地域内外の住民に対して情報発信を行っている
 2: 地域内の住民に対して情報発信を行っている
 3: 地域外の住民に対して情報発信を行っている
 4: 情報発信は行っていない

情報発信を行っている場合、どのような手段で情報発信を進めていますか。

地域内の住民に対して: 「6: その他」を選択した場合

(県内・地域内への発信) (複数回答可)

地域外の住民に対して: 「6: その他」を選択した場合

(県外・国外への発信) (複数回答可)

- 1: ホームページによる情報発信
- 2: ポスター展示
- 3: 定期的な広報誌の発行
- 4: 不定期なパンフレット等の活用
- 5: 放送の活用
- 6: その他(具体的に以下に記入してください)

(4) 上記(1)の設問の回答が「1: 支援している」である場合は、その支援名称と支援内容についてご回答願います。支援内容が複数ある場合は、より代表的なものから順に5つまでご回答してください。

支援内容(回答例)

支援名称:

支援内容: 6, 7, 11 (複数回答可)

- 1: 歴史・文化資源等の解説・案内板の設置
- 2: 博物館や資料館等の整備
- 3: 文化財等の保護・活用
- 4: 歴史・文化を担う人(NPO・市民組織等)の活動拠点づくり
- 5: 芸術家や専門家による指導・助言、研修会の開催
- 6: 伝統芸能の継承・振興に対する財政支援
- 7: 歴史・文化を担う人材の育成
- 8: 歴史・文化を担う人(NPO・市民組織等)の人材支援
- 9: 歴史・文化を担う人(NPO・市民組織等)の財政支援
- 10: 人的ネットワークづくり
- 11: イベント、ワークショップ等の開催
- 12: その他(具体的に以下に記入してください)

例えば、
 地域資源活用調査
 (支援内容: 1, 2, 5, 11)
 学支援事業
 (支援内容: 5, 7, 11)
 街並み整備事業
 (支援内容: 1, 3)
 地域づくり支援事業
 (支援内容: 4, 7, 8, 9, 11)
 地域間交流支援事業
 (支援内容: 4, 5, 7, 10)

など、貴課が主体的に、または他課や市町村と連携を図りながら行っている支援事業をご記入ください。

支援内容(その1)

支援名称:

支援内容: (複数回答可)

- 1: 歴史・文化資源等の解説・案内板の設置
- 2: 博物館や資料館等の整備
- 3: 文化財等(の保護・活用
- 4: 歴史・文化を担う人(NPO・市民組織等)の活動拠点づくり
- 5: 芸術家や専門家による指導・助言、研修会の開催
- 6: 伝統芸能の継承・振興に対する財政支援
- 7: 歴史・文化を担う人材の育成
- 8: 歴史・文化を担う人(NPO・市民組織等)の人材支援
- 9: 歴史・文化を担う人(NPO・市民組織等)の財政支援
- 10: 人的ネットワークづくり
- 11: イベント、ワークショップ等の開催
- 12: その他(具体的に以下に記入してください)

問5 . 歴史的地域プライドに関する教育・学習活動について

「歴史的地域プライド」による地域づくりを進めていくためには、その内容を地域住民に広く広め、地域住民がこれらを地域の誇りとして捉え、受け継いでいくことが必要であると考えられます。

そこで、これら「歴史的地域プライド」を地域の人々に伝え、受け継いでいくための教育活動もしくは学習活動として、どのようなことが行われていますか？

問2で回答いただいた取組内容（学校教育や公開講座等）と重複するものもあるかと思いますが、ご記入をお願いします。

それぞれの教育・学習内容において、「歴史的なもの」に限らず、地域の産業や食など、幅広いものを教育・学習の対象としているものもあるかと思いますが、そのようなものも含めてご記入ください。

回答欄として、10枠をご用意させていただきます。それ以上考えられる場合は、回答欄の行を追加して（コピーして）ご記入ください。

教育・学習活動の実践例（回答例）

	教育・学習活動名	取組み主体	対象者(会員)	取組み方法	基本理念(会発足の趣旨)、活動内容
1	学講座	6	2	1	先人の偉業を講えたり、建造物や歴史を知ることにより、自分たちのふるさとを愛し、深めていく
2	研究会	2,3	1	3,4	地域をたどりながら、ふるさとの優れた地域資源を掘り起こす
3	交流会	2,3,4	5,6	2,5	学の普及・発信及び支援することを目的とし、また市民や研究者それぞれが という共通テーマのもとに交流する場

取組み主体の表 / 上表の 取組み主体については、以下の取組み主体に該当する番号を入力ください。
(複数選択可)

- 1 : 都道府県
- 2 : 市町村
- 3 : 非営利団体 (NPOや市民活動団体等)
- 4 : 商店会、商工会議所
- 5 : 町会、自治会、地域住民
- 6 : 教育機関
- 7 : 実行委員会
- 8 : 民間企業
- 9 : その他
(具体名を の回答欄にご記入ください)

対象者の表 / 上表の 対象者については、以下の対象者に該当する番号を入力ください。
(複数選択可)

- 1 : 地域の児童・学生
- 2 : 地域住民 (上記を除く市民、県民)
- 3 : 非営利団体 (NPO・市民活動団体等)
- 4 : 企業等
(営利団体、行政関係機関を含む)
- 5 : 専門家
(学識経験者・実務者・芸術家)
- 6 : 行政担当者
- 7 : その他
(具体名を の回答欄にご記入ください)

取組方法の表 / 上表の 取組方法については、以下の取組方法に該当する番号を入力ください。
(複数選択可)

- 1 : 研修会、講座形式 (シンポジウム等含む)
- 2 : サロン、意見交換会、交流会
- 3 : ワークショップ形式
(体験型学習、街歩き、アーティスト・レジデンス等)
- 4 : 地域自主活動
- 5 : 機関誌の刊行
- 6 : その他
(具体名を の回答欄にご記入ください)

教育・学習活動の実践例 (10つ回答枠を設けています。それ以上ある場合は、行を追加してください)

	教育・学習活動名	取組み主体	対象者(会員)	取組み方法	基本理念(会発足の趣旨)、活動内容
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

取組み主体、対象者、及び 取組方法の該当番号は、回答例の表をご覧ください。

問6. 歴史・文化・まちづくり資源データベースについて

(1) 地域の歴史・文化資源、これら地域資源を活かした地域づくりに関するデータベースを有していますか。
民間により作成したもので、行政が協力・支援しているもの。図書館やその他公的団体が作成したもので存しているものでも結構です。

1:ある
2:ない
3:わからない

ここで言う「データベース」とは、一般市民の閲覧等に供しているものを言います。

(2) 上記(1)の設問の回答が「1:ある」である場合は、その内容についてご回答願います。
データベースが複数ある場合は、より代表的なものから順に5つまでご回答してください。

データベース(例)

名称:

担当課名:

内容: (複数回答可)

- 1: 地域の誇りを活かした地域づくり事例
- 2: 文化財・史跡(歴史的建造物、社寺仏閣、遺跡など、地域の歴史を伝える資源)
- 3: 歴史上の人物、出来事(歴史的な人物、偉人、団体、出来事)
- 4: 伝統芸能等(神楽、歌舞伎、人形芝居等の郷土芸能)
- 5: 民俗行事等(祭礼、伝統行事など)
- 6: 神話・伝承等(地域に伝わる神話や伝説、民話、昔話、言い伝え、方言など)
- 7: 人的資源(地域づくりの担い手となる語り部、演者、NPO・市民組織等)
- 8: その他(具体的に以下に記入してください)

専用性: 上記のデータベースは専用のものですか?

- 1: 専用のもの
- 2: 他のデータベースと共用しているもの
- 3: わからない

データベース(その1)

名称:

担当課名:

内容: (複数回答可)

- 1: 地域の誇りを活かした地域づくり事例
- 2: 文化財・史跡(歴史的建造物、社寺仏閣、遺跡など、地域の歴史を伝える資源)
- 3: 歴史上の人物、出来事(歴史的な人物、偉人、団体、出来事)
- 4: 伝統芸能等(神楽、歌舞伎、人形芝居等の郷土芸能)
- 5: 民俗行事等(祭礼、伝統行事など)
- 6: 神話・伝承等(地域に伝わる神話や伝説、民話、昔話、言い伝え、方言など)
- 7: 人的資源(地域づくりの担い手となる語り部、演者、NPO・市民組織等)
- 8: その他(具体的に以下に記入してください)

専用性: 上記のデータベースは専用のものですか?

- 1: 専用のもの
- 2: 他のデータベースと共用しているもの
- 3: わからない

データベース(その2)

名称:

担当課名:

内容: (複数回答可)

- 1: 地域の誇りを活かした地域づくり事例
- 2: 文化財・史跡(歴史的建造物、社寺仏閣、遺跡など、地域の歴史を伝える資源)
- 3: 歴史上の人物、出来事(歴史的な人物、偉人、団体、出来事)
- 4: 伝統芸能等(神楽、歌舞伎、人形芝居等の郷土芸能)
- 5: 民俗行事等(祭礼、伝統行事など)
- 6: 神話・伝承等(地域に伝わる神話や伝説、民話、昔話、言い伝え、方言など)
- 7: 人的資源(地域づくりの担い手となる語り部、演者、NPO・市民組織等)
- 8: その他(具体的に以下に記入してください)

専用性: 上記のデータベースは専用のものですか?

- 1: 専用のもの
- 2: 他のデータベースと共用しているもの
- 3: わからない

問7. 「地域の誇り」を活かした地域づくりの課題について

(1) 地域の歴史・文化資源等を活かした地域づくりを進める上での問題点・課題は何と考えますか。

(2) 地域の歴史・文化資源等を活かした地域づくりに関して、今後実現したい新たな取り組みは何ですか。
その実現に向けて障壁となろうと考えられることは何ですか。

今後の取り組み

考えられる障壁

問 8 . 世論調査や意識調査等の実施の有無について

(1) 近年 (最近 5 年以内) に歴史・文化や地域づくり等に関する世論調査や意識調査等を実施していますか。

- 1 : 実施している
 2 : 実施していない

(2) 上記 (1) の設問の回答が「 1 : 実施している」である場合は、その調査名、目的、内容及び閲覧の有無等について；意識調査等が複数ある場合は、 5 つまでご回答してください。

意識調査 (その 1)

調 査 名 :

調査実施部署 :

調査時期 : 平成 年 月

調査目的 :
 (複数回答可)

- 1 : 既存の地域振興施策全般を遂行するための情報収集
 2 : 特定の地域振興施策の遂行に活用するため
 具体的な地域振興施策名を以下に記入してください

 3 : 今後新たに地域振興施策を企画立案する際の基礎データとするため
 4 : 具体的に検討中である地域振興施策の企画に活用するため
 具体的な地域振興施策名を以下に記入してください

 5 : わからない

調査内容 :
 (複数回答可)

- 1 : 都道府県や地域に対する愛着度に関する意識調査
 2 : 都道府県や地域に対して誇り・イメージに関する意識調査
 3 : 歴史・文化資源の認知度等に関する意識調査
 4 : 地域の歴史・文化資源の保全・活用に関する意識調査
 5 : 地域の歴史・文化資源を活かした地域振興、まちづくりに関する意識調査
 6 : 市民社会組織 (NPO、ボランティアなど) に関する意識調査
 7 : その他 (具体的に以下に記入してください)

調査結果の閲覧状況 :
 (複数回答可)

- 1 : インターネットで公開
 2 : 都道府県情報センター、図書館等で調査報告書として閲覧可能
 3 : 概要版やパンフレットとして閲覧可能
 4 : その他の方法で閲覧可能 (具体的に以下に記入してください)

 5 : 閲覧はしていない
 6 : わからない

「意向調査等」が複数ある場合は、以下にご記入ください。

意識調査 (その 2)

調 査 名 :

調査実施部署 :

調査時期 : 平成 年 月

調査目的 :
 (複数回答可)

- 1 : 既存の地域振興施策全般を遂行するための情報収集
 2 : 特定の地域振興施策の遂行に活用するため
 具体的な地域振興施策名を以下に記入してください

 3 : 今後新たに地域振興施策を企画立案する際の基礎データとするため
 4 : 具体的に検討中である地域振興施策の企画に活用するため
 具体的な地域振興施策名を以下に記入してください

 5 : わからない

調査内容 :
 (複数回答可)

- 1 : 都道府県や地域に対する愛着度に関する意識調査
 2 : 都道府県や地域に対して誇り・イメージに関する意識調査
 3 : 歴史・文化資源の認知度等に関する意識調査
 4 : 地域の歴史・文化資源の保全・活用に関する意識調査
 5 : 地域の歴史・文化資源を活かした地域振興、まちづくりに関する意識調査
 6 : 市民社会組織 (NPO、ボランティアなど) に関する意識調査
 7 : その他 (具体的に以下に記入してください)

調査結果の閲覧状況 :
 (複数回答可)

- 1 : インターネットで公開
 2 : 都道府県情報センター、図書館等で調査報告書として閲覧可能
 3 : 概要版やパンフレットとして閲覧可能
 4 : その他の方法で閲覧可能 (具体的に以下に記入してください)

 5 : 閲覧はしていない
 6 : わからない

【モデル地域市民アンケート調査票】

「地域」に関する市民アンケート調査

わが国では、豊かな自然と大地の中で様々な歴史・文化が生まれ、それぞれの地域で個性ある人間性や地域性を養ってきました。

これからの地域づくりを考えていく上では、それぞれの地域に息づく歴史・文化・民俗・伝統を誇りとし、これら誇りを礎とした地域づくりを進めていくことが必要であると考えております。

そこで、それぞれの地域の歴史や文化・民俗・伝統に関して、地域にお住まいの方がどのように認識しているのかを把握し、今後これらをどのように地域づくりへ活かしていくか検討するため、お住まいの地域の歴史・文化等に対する誇りと地域づくりに関するアンケート調査を行うことになりました。

以下アンケートへのご協力をお願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう（掲示板やホームページへの書き込みを含む）、ご協力をお願いします。

【注意事項】

アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。押されますと、それまでの回答内容が消去されてしまいます。よろしくお願いいたします。

【次へ】ボタンを押してアンケートへ進んでください。
アンケートに参加されない場合は、【回答をやめる】ボタンを押してください。

次へ

回答をやめる

01

あなたの現在の居住地について、以下の市町村から1つ選択してください。

※なお、平成18年1月1日に市町村合併が行われた地域にお住まいの方は旧市町村名を選択してください。

【必須入力】

【 岩手県 】

- 1. 盛岡市
- 2. 一関市
- 3. 遠野市
- 4. 花巻市（旧花巻市）
- 5. 花巻市（旧大迫町）
- 6. 花巻市（旧石鳥谷町）
- 7. 花巻市（旧東和町）
- 8. 北上市
- 9. 江刺市
- 10. 水沢市
- 11. 前沢町
- 12. 胆沢町
- 13. 衣川村
- 14. 岩手町
- 15. 金ヶ崎町
- 16. 紫波町
- 17. 藤沢町
- 18. 平泉町
- 19. 西和賀町
- 20. 矢巾町
- 21. 玉山村
- 22. 滝沢村

【 宮城県 】

- 23. 石巻市
- 24. 登米市
- 25. 涌谷町

【 岡山県 】

- 26. 岡山市
- 27. 倉敷市
- 28. 津山市
- 29. 玉野市
- 30. 笠岡市
- 31. 井原市
- 32. 総社市
- 33. 高梁市
- 34. 新見市
- 35. 備前市
- 36. 瀬戸内市
- 37. 赤磐市

- 38. 真庭市
- 39. 美作市
- 40. 建部町
- 41. 瀬戸町
- 42. 佐伯町
- 43. 和気町
- 44. 早島町
- 45. 金光町
- 46. 鞆方町
- 47. 寄島町
- 48. 里庄町
- 49. 矢掛町
- 50. 新庄村
- 51. 鏡野町
- 52. 勝央町
- 53. 奈義町
- 54. 百栗倉村
- 55. 久米南町
- 56. 美咲町
- 57. 吉備中央町

【 島根県 】

- 58. 松江市
- 59. 出雲市
- 60. 安来市
- 61. 雲南市
- 62. 奥出雲町
- 63. 東出雲町
- 64. 飯南町
- 65. 斐川町

【 鳥取県 】

- 66. 境港市
- 67. 米子市
- 68. 江府町
- 69. 大山町
- 70. 南郷町
- 71. 日吉津町
- 72. 日南町
- 73. 日野町
- 74. 伯耆町

【 宮崎県 】

- 75. 宮崎市（旧宮崎市）
- 76. 宮崎市（旧田野町）
- 77. 宮崎市（旧佐土原町）
- 78. 宮崎市（旧高岡町）
- 79. 西都市
- 80. 都城市（旧都城市）
- 81. 都城市（旧山之口町）
- 82. 都城市（旧高城町）
- 83. 都城市（旧山田町）
- 84. 都城市（旧高崎町）
- 85. 日南市
- 86. 五ヶ瀬町
- 87. 高原町
- 88. 高千穂町
- 89. 椎葉村
- 90. 美郷町（旧南郷村）
- 91. 美郷町（旧北郷村）
- 92. 美郷町（旧西郷村）

【 鹿児島県 】

- 93. 霧島市
- 94. 曾於市
- 95. 大口市
- 96. 菱刈町
- 97. 湧水町

【 その他 】

- 98. その他の市町村
（都道府県・市町村
名）

回答内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
（あとから回答を訂正することはできません）

次へ

Q2

現在の居住地での居住年数についてお答えください。

※なお、同一地域内での引越し（同じ市町村の区域内に引越しをしたなど）は継続的に居住しているものとしてください。【必須入力】

- 1. 5年未満
- 2. 5年以上10年未満
- 3. 10年以上20年未満
- 4. 20年以上30年未満
- 5. 30年以上40年未満
- 6. 40年以上

Q3

あなたのこれまでの居住についてお答えください。

※なお、同一地域内での引越し（同じ市町村の区域内に引越ししたなど）は継続的に居住しているものとしてください。【必須入力】

- 1. 生まれてからずっと現在の居住地(地域)に住んでいる。
- 2. 一度他所の地域に出ていた（就学や就職などで）が、現在の居住地(地域)に戻ってきた。
- 3. 他所の地域から現在のところに引っ越してきた。
- 4. その他

回答内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
(あとから回答を訂正することはできません)

次へ

Q4

あなたのお住まいの地域について、歴史・文化に対する「誇り」を持っていますか？

あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください。

※なお、歴史・文化に対する「誇り」とは、地域で受け継がれている歴史的な出来事やゆかりの人物、風習、伝説や説話、祭りやイベントといった文化的な活動などに対する誇りのことを言います。【必須入力】

- | | | | | |
|--------------------------------------|--|-----------------------|--|---------------------------------------|
| 1
地域の歴史・文化
に対して
「誇り」を持っている。 | 2
地域の歴史・文化
に対してやや
「誇り」を持っている。 | 3
どちらでもない。 | 4
地域の歴史・文化
に対してあまり
「誇り」を持っていない。 | 5
地域の歴史・文化
に対する
「誇り」を持っていない。 |
| <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

回答内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
(あとから回答を訂正することはできません)

次へ

【この質問は04で「1. 地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。」「2. 地域の歴史・文化に対してやや「誇り」を持っている。」と答えられた方にお聞きします】

Q5 歴史・文化に対する「誇り」について、以下のそれぞれのテーマ別に見た場合に、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選択してください。【必須入力】

	1 誇りに思う	2 やや誇りに思う	3 分らない	4 あまり誇りに思わない	5 誇りに思わない
1. 地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること (例：地域出身の偉人の考え方や生き様に対する誇り／西郷隆盛など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 歴史的な出来事が起こった地であること (例：歴史を変える出来事に関する誇り／関が原の戦い、源平合戦など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 文化や産業の発祥の地であること (例：歴史上に残る文化や産業への誇り／和歌発祥の地、社氏発祥の郷など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 古い町並みや建造物があること (例：古い町並みや建造物に関する誇り／伝統的建造物群保全地区など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 社寺・史跡等歴史的なものが残っていること (例：社寺・史跡等物的歴史に対する誇り／)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 神話や伝説の地であること (例：神話や伝説の里としての誇り／天孫降臨の神話、義経伝説など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 古来から伝承している踊りや民俗芸能があること (例：古来の民俗芸能を継承している誇り／神楽や舞い、民俗儀礼など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 地域の誇りとなる祭りがあること (例：地域独自の祭りに対する誇り／裸祭り、だんじり祭りなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと (例：歴史上の中心地としての誇り／古代百済王国、平泉文化、京など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 地域独自の生活スタイル(風習・方言など)があること (例：地域独自の生活習慣に関する誇り／蒲(蒲校)における教え、茶の湯文化など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 日本を代表するような産業(伝統工芸)があること (例：日本を代表する産業への誇り／焼物、漆器、絹物など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【この質問は04で「1. 地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。」、「2. 地域の歴史・文化に対してやや「誇り」を持っている。」と答えた方にお聞きします】

06 Q5であげたそれぞれの誇りと思うテーマの他に、あなたがお住まいの地域の歴史・文化に対する「誇り」と思う内容があれば、ご記入ください。

500字以内でご記入ください。

回答内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
(あとから回答を訂正することはできません)

次へ

Q7

Q5であげたそれぞれの誇りと思うテーマで、「1. 誇りに思う」及び「2. やや誇りに思う」と回答された項目について、

これらの誇りが他の人と共有できると考えられる範囲はどの範囲ですか？【必須入力】

	1	2	3	4	5	6	7	8
	住んでいる小学校区程度の範囲	住んでいる市町村程度の範囲	住んでいる市町村及び周辺市町村程度の範囲	住んでいる都道府県の範囲	住んでいる地域ブロック<東北、中国、九州>程度の範囲	全国規模	古来の藩や国の範囲	わからない
1. 地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること (例：地域出身の偉人の考え方や生き様に対する誇り／西郷隆盛など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 歴史的な出来事が起こった地であること (例：歴史を変える出来事に関する誇り／関が原の戦い、源平合戦など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 文化や産業の発祥の地であること (例：歴史上に残る文化や産業への誇り／和歌発祥の地、社氏発祥の郷など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 古い町並みや建造物があること (例：古い町並みや建造物に関する誇り／伝統的建造物群保全地区など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 社寺・史跡等歴史的なものが残っていること (例：社寺・史跡等物的歴史に対する誇り／歴史上の社寺、城跡など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 神話や伝説の地であること (例：神話や伝説の里としての誇り／天孫降臨の神話、義経伝説など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 古来から伝承している踊りや民俗芸能があること (例：古来の民俗芸能を継承している誇り／神楽や舞い、民俗儀礼など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 地域の誇りとなる祭りがあること (例：地域独自の祭りに対する誇り／裸祭り、だんじり祭りなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと (例：歴史上の中心地としての誇り／古代吉備王国、平泉文化、京など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 地域独自の生活スタイル(風習・方言など)があること (例：地域独自の生活習慣に関する誇り／藩(藩校)における教え、茶の湯文化など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 日本を代表するような産業(伝統工芸)があること (例：日本を代表する産業への誇り／焼物、漆器、織物など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
(あとから回答を訂正することはできません)

次へ

Q9 地域内で行われている様々な活動への参加状況についてお聞きします。以下に挙げる項目のうち、あなたが現在参加している、または以前参加したことがある項目をすべて選択してください。【必須入力】

- 1. 祭りやイベントへ参加している。(した。)
- 2. 地域について学校教育で学習している。(した。)
- 3. 生涯学習、公開講座で学習している。(した。)
- 4. 図書館や資料館で地域の歴史・文化・民俗資源に関する本や冊子を読んでいる。(読んだ。)
- 5. 歴史・文化・民俗資源に関する伝統芸能を鑑賞した。
- 6. 歴史・文化・民俗資源に関する劇やアニメを観賞した。
- 7. 自らが本やアニメ等を作成、伝統芸能や劇などを実演している。(した。)
- 8. 地域内の年上の人などから話を聞いた。
- 9. その他
- 10. 地域内で行われている活動に参加したことが無い。

Q10 あなたがお住まいの地域に関する情報を入手する方法について、以下の項目から当てはまるものをすべて選択してください。【必須入力】

- 1. インターネットによる情報収集
- 2. 図書館などの本や資料による情報収集
- 3. 地上波テレビによる情報収集
- 4. 地域のケーブルテレビや有線放送による情報収集
- 5. 県や市町村、NPOなどの広報による情報収集
- 6. 地域の人や家族からの伝承
- 7. その他
- 8. 地域に関する情報は入手しない

回答内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
(あとから回答を訂正することはできません)

次へ

Q11

地域に伝わる歴史・文化に「誇り」を持つために必要なことは何だと思いますか？

以下から重要であると考えられるものを3つまで選択してください。【必須入力】 (3個まで選択)

- 1. 地域の「誇り」に関する情報を発信する。
- 2. 歴史・文化施設等を整備・充実する。
- 3. 市民活動やサークルに参加する。
- 4. 地域の「誇り」を受け継いでいくための人材育成を行う。
- 5. 地域の「誇り」を受け継いでいくための伝統行事などの文化事業・文化行事を実施する。
- 6. 地域もしくは家庭で地域の「誇り」を子供達に伝えていく教材を作成する。
- 7. その他
- 8. とくにない。

Q12

地域の「誇り」となるものについて、市町村や県、国が地域内の住民へ情報発信していく上で

必要なことは何だと思いますか？以下から重要であると考えられるものを3つまで選択してください。【必須入力】 (3個まで選択)

- 1. インターネットによる情報発信ページの充実。
- 2. 地域の「誇り」を伝える電話・アニメ・劇等の作成。
- 3. 地域の伝統行事の継承による情報発信。
- 4. 地域の「誇り」を伝える文化イベントや公開講座の充実。
- 5. 地域の歴史・文化などを伝える郷土史などの史料の編纂。
- 6. パンフレットや広報による地域の「誇り」を伝える内容の充実と配布。
- 7. 地域の文化財などの公開。
- 8. 「〇〇100選」などの地域資源の選定。
- 9. 歴史・文化資源の保存。
- 10. その他
- 11. とくにない。

回答内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
(あとから回答を訂正することはできません)

次へ

Q13

地域の誇りによる地域づくりへのあなたの参加意向についてお聞きします。
あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください。【必須入力】

- 1. 地域の誇りによる地域づくりが必要であり、そのような取組みに参加したい。
- 2. 地域の誇りによる地域づくりは必要だと思うが、参加は難しい（したくない）。
- 3. 地域の誇りによる地域づくりは必要ない。
- 4. その他

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送 信

【モデル地域市民アンケート調査結果】

1. モデル地域市民アンケート実施概要

モデル地域（北上川流域地域・東中国地域・東九州地域）に住む住民を対象に、地域プライドの実態把握や地域プライドによる地域づくりのあり方等に関する意向を把握することを目的に実施。

インターネットアンケート調査により実施（2006年1月5日開始、1月9日終了）

以下の4地域の居住者へアンケートを実施


- A：北上川流域（北上川流域の市町村に居住する方を対象）
- B：岡山地域（岡山県下全ての市町村を対象）
- C：出雲地域（島根県及び鳥取県の出雲地域に居住する方を対象）
- D：宮崎・霧島地域（宮崎県内のひむか街道沿道の市町村及び鹿児島県北東部（霧島地域）に居住する方を対象）


モデル地域では岡山県及び出雲地域を1つの圏域として捉えていたが、モデル地域のヒアリングの結果から、別々の精神文化が形成されている地域であると判断し、アンケート調査では別地域として実施した。


東九州地域については、大分県を含んでいたが、モデル地域のヒアリングの結果から、大分圏域と宮崎・鹿児島（霧島）圏域とでは、別々の精神文化が形成されていると判断し、Dでは、宮崎県内のひむか街道沿道の市町村及び鹿児島県北東部（霧島地域）に居住する方を対象として実施した。

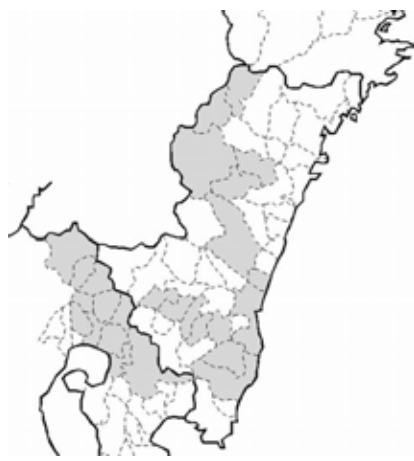
4地域の目標回答数を以下のように設定してアンケート調査を実施

- A：北上川流域 ...500票
（ただし、盛岡市に居住する方に回答が偏らないように設定）
- B：岡山地域 ...1000票
（ただし、岡山市及び倉敷市に居住する方に回答が偏らないように設定）
- C：出雲地域 ...500票
- D：宮崎・霧島地域...500票

【A：北上川流域】	市町村名	
	【岩手県】 1.盛岡市 2.一関市 3.遠野市 4.花巻市（旧花巻市） 1 5.花巻市（旧大迫町） 1 6.花巻市（旧石鳥谷町） 1 7.花巻市（旧東和町） 1 8.北上市 9.江刺市 10.水沢市 11.前沢町 12.胆沢町 13.衣川村 14.岩手町 15.金ヶ崎町 16.紫波町 17.藤沢町 18.平泉町 19.西和賀町 20.矢巾町 21.玉山村 22.滝沢村	【宮城県】 23.石巻市 24.登米市 25.涌谷町 1 「4.旧花巻市」「5.旧大迫町」「6.旧石鳥谷町」「7.旧東和町」の4市町はH18.1.1に合併したが、旧市町別での集計が可能なよう、別の回答肢とする。

【B：岡山地域】 (岡山県下全ての市町村) 	市町村名	
	26.岡山市 27.倉敷市 28.津山市 29.玉野市 30.笠岡市 31.井原市 32.総社市 33.高梁市 34.新見市 35.備前市 36.瀬戸内市 37.赤磐市 38.真庭市 39.美作市 40.建部町 41.瀬戸町	42.佐伯町 43.和気町 44.早島町 45.金光町 46.鴨方町 47.寄島町 48.里庄町 49.矢掛町 50.新庄村 51.鏡野町 52.勝央町 53.奈義町 54.西粟倉村 55.久米南町 56.美咲町 57.吉備中央町

【C：出雲地域】 	市町村名	
	【島根県】 58.松江市 59.出雲市 60.安来市 61.雲南市 62.奥出雲町 63.東出雲町 64.飯南町 65.斐川町	【鳥取県】 66.境港市 67.米子市 68.江府町 69.大山町 70.南部町 71.日吉津町 72.日南町 73.日野町 74.伯耆町

【D：宮崎・霧島地域】 	市町村名	
	【宮崎県】 75.宮崎市(旧宮崎市) 2 76.宮崎市(旧田野町) 2 77.宮崎市(旧佐土原町) 2 78.宮崎市(旧高岡町) 2 79.西都市 80.都城市(旧都城市) 3 81.都城市(旧山之口町) 3 82.都城市(旧高城町) 3 83.都城市(旧山田町) 3 84.都城市(旧高崎町) 3 85.日南市 86.五ヶ瀬町 87.高原町 88.高千穂町 89.椎葉村 90.美郷町(旧南郷村) 4 91.美郷町(旧北郷村) 4 92.美郷町(旧西郷村) 4	【鹿児島県】 93.霧島市 94.曾於市 95.大口市 96.菱刈町 97.湧水町 2 「75.旧宮崎市」「76.旧田野町」「77.旧佐土原町」「78.旧高岡町」の4市町はH18.1.1に合併したが、旧市町別での集計が可能なよう、別の回答肢とする。 3 「80.旧都城市」「81.山之口町」「82.旧高城町」「83.旧山田町」「84.旧高崎町」の5市町はH18.1.1に合併したが、旧市町別での集計が可能なよう、別の回答肢とする。 4 「90.旧南郷村」「91.旧北郷村」「92.旧西郷村」の3村はH18.1.1に合併したが、旧村別での集計が可能なよう、別の回答肢とする。

2. モデル地域市民アンケート調査結果

お住まいの地域の歴史・文化に対する誇りと地域づくりに関するアンケート調査

〔調査の趣旨〕

わが国では、豊かな自然と大地の中で様々な歴史・文化が生み出され、それぞれの地域で個性ある人間性や地域性を養ってきました。

これからの地域づくりを考えていく上では、それぞれの地域に息づく歴史・文化・民俗・伝統を誇りとし、これら誇りを礎とした地域づくりを進めていくことが必要であると考えております。

そこで、それぞれの地域の歴史や文化・民俗・伝統に関して、地域にお住まいの方がどのように認識しているのかを把握し、今後これらをどのように地域づくりへ活かしていくか検討するため、お住まいの地域の歴史・文化等に対する誇りと地域づくりに関するアンケート調査を行うことになりました。

〔アンケートの構成〕



年齢・性別はアンケートモニタの属性データとして把握済。

Q1 現在の居住地について、以下の市町村から1つ選択してください。(SA)

なお、平成18年1月1日に市町村合併が行われた地域にお住まいの方は旧市町村名を選択ください。

【A：北上川流域】	回答数	割合(%)	【B：岡山地域】	回答数	割合(%)
1.盛岡市	206	8.0	26.岡山市	309	12.0
2.一関市	30	1.2	27.倉敷市	206	8.0
3.遠野市	3	0.1	28.津山市	89	3.5
4.花巻市(旧花巻市)	27	1.1	29.玉野市	58	2.3
5.花巻市(旧大迫町)	1	0.0	30.笠岡市	55	2.1
6.花巻市(旧石鳥谷町)	7	0.3	31.井原市	16	0.6
7.花巻市(旧東和町)	0	0.0	32.総社市	60	2.3
8.北上市	33	1.3	33.高梁市	14	0.5
9.江刺市	8	0.3	34.新見市	9	0.4
10.水沢市	30	1.2	35.備前市	26	1.0
11.前沢町	3	0.1	36.瀬戸内市	28	1.1
12.胆沢町	2	0.1	37.赤磐市	34	1.3
13.衣川村	0	0.0	38.真庭市	26	1.0
14.岩手町	1	0.0	39.美作市	13	0.5
15.金ヶ崎町	5	0.2	40.建部町	3	0.1
16.紫波町	17	0.7	41.瀬戸町	9	0.4
17.藤沢町	2	0.1	42.佐伯町	3	0.1
18.平泉町	2	0.1	43.和気町	3	0.1
19.西和賀町	0	0.0	44.早島町	4	0.2
20.矢巾町	8	0.3	45.金光町	8	0.3
21.玉山村	3	0.1	46.鴨方町	15	0.6
22.滝沢村	36	1.4	47.寄島町	1	0.0
23.石巻市	69	2.7	48.里庄町	6	0.2
24.登米市	14	0.5	49.矢掛町	6	0.2
25.涌谷町	8	0.3	50.新庄村	0	0.0
			51.鏡野町	4	0.2
			52.勝央町	6	0.2
			53.奈義町	5	0.2
			54.西粟倉村	0	0.0
			55.久米南町	3	0.1
			56.美咲町	7	0.3
			57.吉備中央町	4	0.2

【C：出雲地域】	回答数	割合(%)	【D：宮崎・霧島地域】	回答数	割合(%)
58.松江市	152	5.9	75.宮崎市(旧宮崎市)	329	12.8
59.出雲市	92	3.6	76.宮崎市(旧田野町)	3	0.1
60.安来市	21	0.8	77.宮崎市(旧佐土原町)	19	0.7
61.雲南市	18	0.7	78.宮崎市(旧高岡町)	6	0.2
62.奥出雲町	4	0.2	79.西都市	11	0.4
63.東出雲町	5	0.2	80.都城市(旧都城市)	77	3.0
64.飯南町	1	0.0	81.都城市(旧山之口町)	3	0.1
65.斐川町	16	0.6	82.都城市(旧高城町)	5	0.2
66.境港市	34	1.3	83.都城市(旧山田町)	1	0.0
67.米子市	152	5.9	84.都城市(旧高崎町)	4	0.2
68.江府町	0	0.0	85.日南市	12	0.5
69.大山町	10	0.4	86.五ヶ瀬町	0	0.0
70.南部町	5	0.2	87.高原町	1	0.0
71.日吉津町	0	0.0	88.高千穂町	7	0.3
72.日南町	2	0.1	89.椎葉村	0	0.0
73.日野町	2	0.1	90.美郷町(旧南郷村)	0	0.0
74.伯耆町	2	0.1	91.美郷町(旧北郷村)	0	0.0
			92.美郷町(旧西郷村)	0	0.0
			93.霧島市	16	0.6
			94.曾於市	6	0.2
			95.大口市	5	0.2
			96.菱刈町	0	0.0
			97.湧水町	2	0.1



【地域別の回答数】

	居住地分類 (単一回答)	全体	
		N	%
A	北上川流域地域(盛岡市)	206	8.0
	北上川流域地域(盛岡市以外)	309	12.0
B	岡山地域(岡山市)	309	12.0
	岡山地域(倉敷市)	206	8.0
	岡山地域(岡山市・倉敷市以外)	515	20.1
C	出雲地域	516	20.1
D	宮崎・霧島地域	507	19.7
	全体	2568	100.0

Q2 現在の居住地での居住年数についてお答えください。(SA)

なお、同一地域内での引越し(同じ市町村の区域内に引越をしたなど)は継続的に居住しているものとしてください。

	全体	北上川 流域地域	岡山地域	出雲地域	宮崎・霧島 地域
合 計	2568 (100%)	515 (100%)	1030 (100%)	516 (100%)	507 (100%)
5年未満	613 (23.9%)	130 (25.2%)	229 (22.2%)	112 (21.7%)	142 (28.0%)
5年以上10年未満	390 (15.2%)	93 (18.1%)	161 (15.6%)	65 (12.6%)	71 (14.0%)
10年以上20年未満	494 (19.2%)	96 (18.6%)	186 (18.1%)	87 (16.9%)	125 (24.7%)
20年以上30年未満	477 (18.6%)	89 (17.3%)	195 (18.9%)	106 (20.5%)	87 (17.2%)
30年以上40年未満	349 (13.6%)	64 (12.4%)	160 (15.5%)	75 (14.5%)	50 (9.9%)
40年以上	245 (9.5%)	43 (8.3%)	99 (9.6%)	71 (13.8%)	32 (6.3%)

Q3 これまでの居住についてお答えください。(SA)

なお、同一地域内での引越し(同じ市町村の区域内に引越したなど)は継続的に居住しているものとしてください。

	全体	北上川 流域地域	岡山地域	出雲地域	宮崎・霧島 地域
合 計	2568 (100%)	515 (100%)	1030 (100%)	516 (100%)	507 (100%)
生まれてからずっと現在の居住地(地域)に住んでいる。	544 (21.2%)	109 (21.2%)	231 (22.4%)	115 (22.3%)	89 (17.6%)
一度他所の地域に出ていた(就学や就職などで)が、現在の居住地(地域)に戻ってきた。	793 (30.9%)	146 (28.3%)	299 (29.0%)	188 (36.4%)	160 (31.6%)
他所の地域から現在のところに引っ越してきた。	1203 (46.8%)	254 (49.3%)	489 (47.5%)	206 (39.9%)	254 (50.1%)
その他(具体的に記述)	28 (1.1%)	6 (1.2%)	11 (1.1%)	7 (1.4%)	4 (0.8%)

Q4 あなたのお住まいの地域について、歴史・文化に対する「誇り」を持っていますか？あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください（SA）

なお、歴史・文化に対する「誇り」とは、地域で受け継がれている歴史的な出来事やゆかりの人物、風習、伝説や説話、祭りやイベントといった文化的な活動などに対する誇りのことを言います。

【地域別】

	全体	北上川 流域地域	岡山地域	出雲地域	宮崎・霧島 地域
地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。	370 (14.4%)	81 (15.7%)	115 (11.2%)	113 (21.9%)	61 (12.0%)
地域の歴史・文化に対して、やや「誇り」を持っている。	787 (30.6%)	169 (32.8%)	304 (29.5%)	175 (33.9%)	139 (27.4%)
どちらでもない。	994 (38.7%)	200 (38.8%)	418 (40.6%)	160 (31.0%)	216 (42.6%)
地域の歴史・文化に対してあまり「誇り」を持っていない。	305 (11.9%)	55 (10.7%)	138 (13.4%)	47 (9.1%)	65 (12.8%)
地域の歴史・文化に対する「誇り」を持っていない。	112 (4.4%)	10 (1.9%)	55 (5.3%)	21 (4.1%)	26 (5.1%)

【居住年数別】

	全体	5年 未満	5～ 9年	10～ 19年	20～ 29年	30～ 39年	40年 以上
地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。	370 (14.4%)	58 (9.5%)	47 (12.1%)	48 (9.7%)	80 (16.8%)	73 (20.9%)	64 (26.1%)
地域の歴史・文化に対して、やや「誇り」を持っている。	787 (30.6%)	163 (26.6%)	114 (29.2%)	157 (31.8%)	165 (34.6%)	112 (32.1%)	76 (31.0%)
どちらでもない。	994 (38.7%)	240 (39.2%)	165 (42.3%)	210 (42.5%)	172 (36.1%)	121 (34.7%)	86 (35.1%)
地域の歴史・文化に対してあまり「誇り」を持っていない。	305 (11.9%)	107 (17.5%)	41 (10.5%)	59 (11.9%)	49 (10.3%)	36 (10.3%)	13 (5.3%)
地域の歴史・文化に対する「誇り」を持っていない。	112 (4.4%)	45 (7.3%)	23 (5.9%)	20 (4.0%)	11 (2.3%)	7 (2.0%)	6 (2.4%)

【これまでの居住別】

	全体	A	B	C	D
地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。	370 (14.4%)	100 (18.4%)	152 (19.2%)	116 (9.6%)	2 (7.1%)
地域の歴史・文化に対して、やや「誇り」を持っている。	787 (30.6%)	185 (34.0%)	261 (32.9%)	333 (27.7%)	8 (28.6%)
どちらでもない。	994 (38.7%)	198 (36.4%)	271 (34.2%)	514 (42.7%)	11 (39.3%)
地域の歴史・文化に対してあまり「誇り」を持っていない。	305 (11.9%)	48 (8.8%)	86 (10.8%)	167 (13.9%)	4 (14.3%)
地域の歴史・文化に対する「誇り」を持っていない。	112 (4.4%)	13 (2.4%)	23 (2.9%)	73 (6.1%)	3 (10.7%)

「A. 生まれてからずっと現在の居住地(地域)に住んでいる。」「B. 一度他所の地域に出ていた(就学や就職などで)が、現在の居住地(地域)に戻ってきた。」「C. 他所の地域から現在のところに引っ越してきた。」「D. その他(具体的に記述)」

【年齢別】

	全体	19歳 未満	20～ 39歳	40～ 59歳	60歳 以上
地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。	370 (14.4%)	12 (12.0%)	201 (12.3%)	142 (18.5%)	15 (22.4%)
地域の歴史・文化に対して、やや「誇り」を持っている。	787 (30.6%)	33 (33.0%)	500 (30.6%)	229 (29.8%)	25 (37.3%)
どちらでもない。	994 (38.7%)	35 (35.0%)	633 (38.8%)	304 (39.6%)	22 (32.8%)
地域の歴史・文化に対してあまり「誇り」を持っていない。	305 (11.9%)	18 (18.0%)	221 (13.5%)	63 (8.2%)	3 (4.5%)
地域の歴史・文化に対する「誇り」を持っていない。	112 (4.4%)	2 (2.0%)	78 (4.8%)	30 (3.9%)	2 (3.0%)

【男女別】

	全体	男	女
地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。	370 (14.4%)	217 (16.1%)	153 (12.5%)
地域の歴史・文化に対して、やや「誇り」を持っている。	787 (30.6%)	407 (30.2%)	380 (31.1%)
どちらでもない。	994 (38.7%)	494 (36.7%)	500 (41.0%)
地域の歴史・文化に対してあまり「誇り」を持っていない。	305 (11.9%)	162 (12.0%)	143 (11.7%)
地域の歴史・文化に対する「誇り」を持っていない。	112 (4.4%)	67 (5.0%)	45 (3.7%)

Q4で、「歴史・文化に対して「誇り」を持っている」及び「歴史・文化に対して、やや「誇り」を持っている」と回答された方にお聞きします。

Q5 歴史・文化に対する「誇り」について、以下のそれぞれのテーマ別に見た場合に、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選択してください。(SA)

誇りと考えられるテーマ	1 誇りに 思う	2 やや思 う	3 分から ない	4 あまり 思わな い	5 思わな い
地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること (例：地域出身の偉人の考え方や生き様に対する誇り/西郷隆盛など)	352 (30.4%)	450 (38.9%)	218 (18.8%)	107 (9.2%)	30 (2.6%)
歴史的な出来事が起こった地であること (例：歴史を変える出来事に関する誇り/関が原の戦い、源平合戦など)	211 (18.2%)	353 (30.5%)	434 (37.5%)	130 (11.2%)	29 (2.5%)
文化や産業の発祥の地であること (例：歴史に残る文化や産業への誇り/和歌発祥の地、社氏発祥の郷など)	275 (23.8%)	439 (37.9%)	319 (27.6%)	102 (8.8%)	22 (1.9%)
古い町並みや建造物があること (例：古い町並みや建造物に関する誇り/伝統的建造物群保全地区など)	360 (31.1%)	465 (40.2%)	204 (17.6%)	103 (8.9%)	25 (2.2%)
社寺・史跡等歴史的なものが残っていること (例：社寺・史跡等物的歴史に対する誇り/歴史上の社寺、城跡など)	426 (36.8%)	468 (40.4%)	178 (15.4%)	75 (6.5%)	10 (0.9%)
神話や伝説の地であること (例：神話や伝説の里としての誇り/天孫降臨の神話、義経伝説など)	462 (39.9%)	324 (28.0%)	273 (23.6%)	75 (6.5%)	23 (2.0%)
古来から伝承している踊りや民俗芸能があること (例：古来の民俗芸能を継承している誇り/神楽や舞い、民俗儀礼など)	329 (28.4%)	436 (37.7%)	286 (24.7%)	85 (7.3%)	21 (1.8%)
地域の誇りとなる祭りがあること (例：地域独自の祭りに対する誇り/裸祭り、だんじり祭りなど)	310 (26.8%)	408 (35.3%)	304 (26.3%)	107 (9.2%)	28 (2.4%)
古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと (例：歴史上の中心地としての誇り/古代吉備王国、平泉文化、京など)	231 (20.0%)	345 (29.8%)	424 (36.6%)	125 (10.8%)	32 (2.8%)
地域独自の生活スタイル(風習・方言など)があること (例：地域独自の生活習慣に関する誇り/藩(藩校)における教え、茶の湯文化など)	241 (20.8%)	428 (37.0%)	339 (29.3%)	120 (10.4%)	29 (2.5%)
日本を代表するような産業(伝統工芸)があること (例：日本を代表する産業への誇り/焼物、漆器、鋳物など)	236 (20.4%)	350 (30.3%)	411 (35.5%)	117 (10.1%)	43 (3.7%)



【地域別の誇りに思う上位5テーマ】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	社寺・史跡 1.059	神話・伝説 0.974	町並み 0.892	ゆかりの人・偉人 0.853	踊り・民芸 0.836
A：北上川流域	ゆかりの人・偉人 1.208	祭り 0.980	社寺・史跡 0.932	踊り・民芸 0.896	町並み 0.736
B：岡山地域	社寺・史跡 1.074	町並み 1.055	ゆかりの人・偉人 0.802	文化発祥地 0.702	神話・伝説 0.685
C：出雲地域	神話・伝説 1.465	社寺・史跡 1.247	町並み 1.014	踊り・民芸 0.938	文化発祥地 0.910
D：宮崎・霧島地域	神話・伝説 1.255	踊り・民芸 1.145	社寺・史跡 0.915	祭り 0.820	ゆかりの人・偉人 0.700

A：北上川流域

誇りと考えられるテーマ	1 誇りに 思う	2 やや思 う	3 分から ない	4 あまり 思わな い	5 思わな い
地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること (例：地域出身の偉人の考え方や生き様に対する誇り/西郷隆盛など)	114 (45.6%)	93 (37.2%)	27 (10.8%)	13 (5.2%)	3 (1.2%)
歴史的な出来事が起こった地であること (例：歴史を変える出来事に関する誇り/関が原の戦い、源平合戦など)	48 (19.2%)	77 (30.8%)	98 (39.2%)	20 (8.0%)	7 (2.8%)
文化や産業の発祥の地であること (例：歴史に残る文化や産業への誇り/和歌発祥の地、杜氏発祥の郷など)	56 (22.4%)	96 (38.4%)	67 (26.8%)	26 (10.4%)	5 (2.0%)
古い町並みや建造物があること (例：古い町並みや建造物に関する誇り/伝統的建造物群保全地区など)	58 (23.2%)	104 (41.6%)	58 (23.2%)	24 (9.6%)	6 (2.4%)
社寺・史跡等歴史的なものが残っていること (例：社寺・史跡等物的歴史に対する誇り/歴史上の社寺、城跡など)	76 (30.4%)	108 (43.2%)	43 (17.2%)	19 (7.6%)	4 (1.6%)
神話や伝説の地であること (例：神話や伝説の里としての誇り/天孫降臨の神話、義経伝説など)	58 (23.2%)	82 (32.8%)	83 (33.2%)	23 (9.2%)	4 (1.6%)
古来から伝承している踊りや民俗芸能があること (例：古来の民俗芸能を継承している誇り/神楽や舞い、民俗儀礼など)	75 (30.0%)	101 (40.4%)	50 (20.0%)	21 (8.4%)	3 (1.2%)
地域の誇りとなる祭りがあること (例：地域独自の祭りに対する誇り/裸祭り、だんじり祭りなど)	85 (34.0%)	97 (38.8%)	50 (20.0%)	14 (5.6%)	4 (1.6%)
古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと (例：歴史上の中心地としての誇り/古代吉備王国、平泉文化、京など)	53 (21.2%)	71 (28.4%)	96 (38.4%)	22 (8.8%)	8 (3.2%)
地域独自の生活スタイル(風習・方言など)があること (例：地域独自の生活習慣に関する誇り/藩(藩校)における教え、茶の湯文化など)	55 (22.0%)	84 (33.6%)	79 (31.6%)	27 (10.8%)	5 (2.0%)
日本を代表するような産業(伝統工芸)があること (例：日本を代表する産業への誇り/焼物、漆器、鋳物など)	65 (26.0%)	86 (34.4%)	69 (27.6%)	24 (9.6%)	6 (2.4%)

B：岡山地域

誇りと考えられるテーマ	1 誇りに 思う	2 やや思 う	3 分から ない	4 あまり 思わな い	5 思わな い
地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること (例：地域出身の偉人の考え方や生き様に対する誇り/西郷隆盛など)	116 (27.7%)	165 (39.4%)	88 (21.0%)	39 (9.3%)	11 (2.6%)
歴史的な出来事が起こった地であること (例：歴史を変える出来事に関する誇り/関が原の戦い、源平合戦など)	67 (16.0%)	133 (31.7%)	156 (37.2%)	50 (11.9%)	13 (3.1%)
文化や産業の発祥の地であること (例：歴史に残る文化や産業への誇り/和歌発祥の地、杜氏発祥の郷など)	93 (22.2%)	167 (39.9%)	112 (26.7%)	35 (8.4%)	12 (2.9%)
古い町並みや建造物があること (例：古い町並みや建造物に関する誇り/伝統的建造物群保全地区など)	154 (36.8%)	180 (43.0%)	46 (11.0%)	32 (7.6%)	7 (1.7%)
社寺・史跡等歴史的なものが残っていること (例：社寺・史跡等物的歴史に対する誇り/歴史上の社寺、城跡など)	153 (36.5%)	180 (43.0%)	53 (12.6%)	30 (7.2%)	3 (0.7%)
神話や伝説の地であること (例：神話や伝説の里としての誇り/天孫降臨の神話、義経伝説など)	109 (26.0%)	133 (31.7%)	129 (30.8%)	32 (7.6%)	16 (3.8%)
古来から伝承している踊りや民俗芸能があること (例：古来の民俗芸能を継承している誇り/神楽や舞い、民俗儀礼など)	81 (19.3%)	152 (36.3%)	130 (31.0%)	42 (10.0%)	14 (3.3%)
地域の誇りとなる祭りがあること (例：地域独自の祭りに対する誇り/裸祭り、だんじり祭りなど)	95 (22.7%)	136 (32.5%)	128 (30.5%)	48 (11.5%)	12 (2.9%)
古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと (例：歴史上の中心地としての誇り/古代吉備王国、平泉文化、京など)	81 (19.3%)	142 (33.9%)	138 (32.9%)	46 (11.0%)	12 (2.9%)
地域独自の生活スタイル(風習・方言など)があること (例：地域独自の生活習慣に関する誇り/藩(藩校)における教え、茶の湯文化など)	63 (15.0%)	144 (34.4%)	150 (35.8%)	47 (11.2%)	15 (3.6%)
日本を代表するような産業(伝統工芸)があること (例：日本を代表する産業への誇り/焼物、漆器、鋳物など)	98 (23.4%)	121 (28.9%)	140 (33.4%)	40 (9.5%)	20 (4.8%)

C：出雲地域

誇りと考えられるテーマ	1 誇りに 思う	2 やや思 う	3 分から ない	4 あまり 思わない	5 思わない
地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること (例：地域出身の偉人の考え方や生き様に対する誇り/西郷隆盛など)	71 (24.7%)	119 (41.3%)	56 (19.4%)	32 (11.1%)	10 (3.5%)
歴史的な出来事が起こった地であること (例：歴史を変える出来事に関する誇り/関が原の戦い、源平合戦など)	66 (22.9%)	86 (29.9%)	100 (34.7%)	31 (10.8%)	5 (1.7%)
文化や産業の発祥の地であること (例：歴史に残る文化や産業への誇り/和歌発祥の地、杜氏発祥の郷など)	85 (29.5%)	117 (40.6%)	65 (22.6%)	17 (5.9%)	4 (1.4%)
古い町並みや建造物があること (例：古い町並みや建造物に関する誇り/伝統的建造物群保全地区など)	104 (36.1%)	113 (39.2%)	45 (15.6%)	23 (8.0%)	3 (1.0%)
社寺・史跡等歴史的なものが残っていること (例：社寺・史跡等物的歴史に対する誇り/歴史上の社寺、城跡など)	136 (47.2%)	100 (34.7%)	40 (13.9%)	11 (3.8%)	1 (0.3%)
神話や伝説の地であること (例：神話や伝説の里としての誇り/天孫降臨の神話、義経伝説など)	186 (64.6%)	60 (20.8%)	32 (11.1%)	10 (3.5%)	0 (0.0%)
古来から伝承している踊りや民俗芸能があること (例：古来の民俗芸能を継承している誇り/神楽や舞い、民俗儀礼など)	92 (31.9%)	104 (36.1%)	75 (26.0%)	16 (5.6%)	1 (0.3%)
地域の誇りとなる祭りがあること (例：地域独自の祭りに対する誇り/裸祭り、だんじり祭りなど)	73 (25.3%)	102 (35.4%)	76 (26.4%)	28 (9.7%)	9 (3.1%)
古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと (例：歴史上の中心地としての誇り/古代吉備王国、平泉文化、京など)	70 (24.3%)	82 (28.5%)	104 (36.1%)	27 (9.4%)	5 (1.7%)
地域独自の生活スタイル(風習・方言など)があること (例：地域独自の生活習慣に関する誇り/藩(藩校)における教え、茶の湯文化など)	81 (28.1%)	119 (41.3%)	56 (19.4%)	28 (9.7%)	4 (1.4%)
日本を代表するような産業(伝統工芸)があること (例：日本を代表する産業への誇り/焼物、漆器、鋳物など)	41 (14.2%)	85 (29.5%)	119 (41.3%)	32 (11.1%)	11 (3.8%)

D：宮崎・霧島地域

誇りと考えられるテーマ	1 誇りに 思う	2 やや思 う	3 分から ない	4 あまり 思わない	5 思わない
地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること (例：地域出身の偉人の考え方や生き様に対する誇り/西郷隆盛など)	51 (25.5%)	73 (36.5%)	47 (23.5%)	23 (11.5%)	6 (3.0%)
歴史的な出来事が起こった地であること (例：歴史を変える出来事に関する誇り/関が原の戦い、源平合戦など)	30 (15.0%)	57 (28.5%)	80 (40.0%)	29 (14.5%)	4 (2.0%)
文化や産業の発祥の地であること (例：歴史に残る文化や産業への誇り/和歌発祥の地、杜氏発祥の郷など)	41 (20.5%)	59 (29.5%)	75 (37.5%)	24 (12.0%)	1 (0.5%)
古い町並みや建造物があること (例：古い町並みや建造物に関する誇り/伝統的建造物群保全地区など)	44 (22.0%)	68 (34.0%)	55 (37.5%)	24 (12.0%)	9 (4.5%)
社寺・史跡等歴史的なものが残っていること (例：社寺・史跡等物的歴史に対する誇り/歴史上の社寺、城跡など)	61 (30.5%)	80 (40.0%)	42 (21.0%)	15 (7.5%)	2 (1.0%)
神話や伝説の地であること (例：神話や伝説の里としての誇り/天孫降臨の神話、義経伝説など)	109 (54.5%)	49 (24.5%)	29 (14.5%)	10 (5.0%)	3 (1.5%)
古来から伝承している踊りや民俗芸能があること (例：古来の民俗芸能を継承している誇り/神楽や舞い、民俗儀礼など)	81 (40.5%)	79 (39.5%)	31 (15.5%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)
地域の誇りとなる祭りがあること (例：地域独自の祭りに対する誇り/裸祭り、だんじり祭りなど)	57 (28.5%)	73 (36.5%)	50 (25.0%)	17 (8.5%)	3 (1.5%)
古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと (例：歴史上の中心地としての誇り/古代吉備王国、平泉文化、京など)	27 (13.5%)	50 (25.0%)	86 (43.0%)	30 (15.0%)	7 (3.5%)
地域独自の生活スタイル(風習・方言など)があること (例：地域独自の生活習慣に関する誇り/藩(藩校)における教え、茶の湯文化など)	42 (21.0%)	81 (40.5%)	54 (27.0%)	18 (9.0%)	5 (2.5%)
日本を代表するような産業(伝統工芸)があること (例：日本を代表する産業への誇り/焼物、漆器、鋳物など)	32 (16.0%)	58 (29.0%)	83 (41.5%)	21 (10.5%)	6 (3.0%)

Q6 上記の他に、あなたがお住まいの地域の歴史・文化に対する「誇り」と思う内容があれば、ご記入ください。(F A)

【A：北上川流域】

コメント	性別	年齢	地域	職業
「気がやさしい」全国1位であること。鮭の帰ってくる町であること	女性	35	岩手県	会社員(技術系)
1.当地区は、宮沢賢治の地であり、また、晩年、高村光太郎が生活をした家があります。2.大昔、坂之上田村麻呂が戦で傷ついた目、体を洗ったと言ひ伝えがあり「洗沢」と言う地区名になったと聞いたことがあります。3.当地区では、祝い事があると「御祝」と言う歌を歌う風習がありますが、歌詞をみても普通の人は歌えませんし、太鼓も叩けません。実際、いつから始まった無形文化財が分かりませんが、残したいと考えております。	男性	35	岩手県	会社員(その他)
さんさ踊りに誇りと思う	男性	22	岩手県	パート・アルバイト
さんさ踊りは伝統的でいいと思う	女性	21	岩手県	学生
素晴らしい県民性。心温かで、思いやりのある人が多い。	女性	29	岩手県	会社員(事務系)
ちやくちやくまっこの発祥地(?)	女性	23	岩手県	学生
ちやくちやく馬っこという伝統的な祭りがある。	女性	31	岩手県	専業主婦
チャグチャグ馬っこの伝統がすてき。馬との共存を維持しているところもすごいと思います。	女性	35	岩手県	会社員(その他)
ちやくちやく馬っこは、馬産地岩手を象徴する代表的な祭りで誇りに思う。	男性	25	岩手県	パート・アルバイト
ちやくちやく馬っこは岩手独自の歴史を感じる。	女性	42	岩手県	パート・アルバイト
チャグチャグ馬っ子	男性	43	岩手県	会社員(技術系)
テレビ番組の調査でのことですが、岩手県の人是非常に心があたかいということがわかり同じ場所に住む私としてはとても嬉しいことです。	女性	31	岩手県	会社員(事務系)
となりの平泉町に、国宝のお寺があること、そして平泉自体が歴史上でかなり重要であること。そして一関市にも温泉郷があり、城跡もある。	男性	24	岩手県	パート・アルバイト
はるか昔の東北人は、誇り高い人々でした。中央のいいなりになることなく、自分達が求める国を作ろうとしていた頃の史跡などが結構残っているので、そこを訪れて昔の人々を想うのが好きです。	女性	34	岩手県	会社員(技術系)
もち米や果物の生産がさかんであること。方言が好き。	女性	39	岩手県	専業主婦
わんこそば、南部鉄器、南部せんべい、盛岡城跡、石割桜、海運橋、冷麺、たんたん麺	男性	23	岩手県	会社員(技術系)
奥州藤原氏の本拠地のそばだからです。	男性	33	岩手県	その他
夏は涼しく、冬は寒く年間を通してとても過ごしやすい土地だと思います。夏の風になる南部鉄器の風鈴は一段と涼しさを感じさせてくれます。	女性	26	岩手県	パート・アルバイト
学術的に重要な場所である。 (文学・歴史学・考古学・民俗学・文化人類学等)	男性	27	岩手県	公務員
岩手山 チャグチャグ馬コなど全国的なものがある	男性	42	岩手県	会社員(技術系)
鬼剣舞が特に素晴らしい。	女性	37	岩手県	会社員(その他)
義経伝説	女性	30	岩手県	その他
義理人情味の深さ	男性	44	岩手県	会社員(技術系)
宮沢賢治、石川啄木の母校の近くに住んでおり、また関連の施設が多数近くにある。前九年の役の戦場も近い	男性	47	岩手県	その他
宮沢賢治、南部鉄器	男性	43	岩手県	自営業
宮沢賢治の作品や作品に出てくる岩手県のある場所など	女性	35	岩手県	専業主婦
宮沢賢治の生誕地	男性	31	岩手県	自営業
宮沢賢治や新渡戸稲造のように世界に貢献することは素晴らしいことだと思います。	男性	37	岩手県	経営者・役員
宮沢賢治や石川啄木などの文化人を輩出したほかに、原敬や米内光政など何人もの首相を輩出しているなどの多彩な人材に誇りを持っています。	女性	44	岩手県	パート・アルバイト
宮沢賢治生誕の地であること	男性	26	岩手県	会社員(技術系)
宮澤賢治	男性	45	岩手県	会社員(事務系)
京から離れた地で、京を越そうとする文化	男性	19	岩手県	学生
郷土芸能が盛んです。	女性	46	岩手県	会社員(事務系)
景観	男性	32	岩手県	自営業
景色	男性	25	岩手県	公務員
現代文化と郷土芸能、古代建造物が、両立出来ている。	男性	37	岩手県	自営業
古い建物を再利用しているところ	女性	37	岩手県	専業主婦
古い町並みが混在し、歴史を感じさせ、観光地にもなっているので、そこに住んでいることは、誇らしい	女性	38	岩手県	パート・アルバイト

古墳文化がある。	男性	37	岩手県	会社員(技術系)
後藤新平、斎藤実、高野長英の三偉人がいる	女性	43	岩手県	会社員(事務系)
祭り、寺	男性	28	岩手県	会社員(技術系)
市街地においては、古くからの四季折々の伝統行事に近いものがいまだに行われております。たとえばひな祭りの行事ですが、小正月・お月見など今ではあまり目にするのが少なくなることが行われております。	女性	41	岩手県	専業主婦
自然と、人の良さ	男性	52	岩手県	自営業
自然の豊かさ、四季の移り変わりの美しさ	男性	48	岩手県	会社員(その他)
自然を大切にしたい習慣、伝統が今でも大事にされていると思う。 岩手の自然や文化は、変化を急速に求められる時代であっても変わってはいけぬものであると思う。(最近、田舎者と言われることにうれしさを覚えています)	男性	36	岩手県	経営者・役員
自然環境	女性	25	岩手県	専業主婦
自然風景の豊かさ	男性	49	岩手県	会社員(技術系)
食文化	男性	28	岩手県	会社員(その他)
食文化(わんこそば、盛岡冷麺、南部せんべい、じゃじゃ麺)	男性	34	岩手県	会社員(技術系)
食文化=わんこそば等の他の地域にはないところ。	女性	35	岩手県	会社員(事務系)
新しい物をすぐ取り込まず、昔からの伝統を大切にしている。	女性	34	岩手県	会社員(事務系)
神楽・剣舞・藤原一族の地	男性	46	岩手県	会社員(技術系)
神社の歴史	男性	28	岩手県	会社員(技術系)
人の人間性の良さを感じます	女性	38	岩手県	パート・アルバイト
人間性	男性	30	岩手県	会社員(技術系)
人間性が温和	男性	64	岩手県	経営者・役員
人情	男性	43	岩手県	自営業
人情	女性	30	岩手県	会社員(技術系)
人柄	男性	27	岩手県	会社員(事務系)
人柄、福祉	男性	44	岩手県	公務員
人柄が良い事。	男性	17	岩手県	学生
盛岡さんさ祭 岩手県全体でみれば南部鉄器など	女性	21	岩手県	学生
盛岡三大麺があること	男性	32	岩手県	その他
盛岡城	女性	32	岩手県	学生
盛岡城跡、宮沢賢治、南部鉄器	男性	33	岩手県	会社員(その他)
盛岡八幡宮を中心とした昔からの地域コミュニティがしっかりと息づいていること	男性	44	岩手県	公務員
盛岡冷麺	男性	20	岩手県	その他
昔、隠れキリシタンがいたらしく、キリストの墓と呼ばれるところがある。 また山では金山の発掘が盛んに行われていた。	女性	26	岩手県	会社員(その他)
昔ながらの伝統芸能が受け継がれている	女性	35	岩手県	パート・アルバイト
昔の建築物が一部そのまま残されていること、さんさ踊りなどの郷土芸能を伝承していること、などがすばらしいと思う。	男性	31	岩手県	学生
石川啄木	女性	32	岩手県	会社員(技術系)
石川啄木、宮沢賢治など生誕の地	男性	49	岩手県	会社員(事務系)
全国でも珍しい絵巻が江戸時代より続いている事	男性	37	岩手県	会社員(その他)
総理大臣が何人も出ている	女性	37	岩手県	専業主婦
総理大臣を多く輩出	男性	51	岩手県	会社員(その他)
多数の偉人を残した人間性	男性	34	岩手県	会社員(事務系)
啄木の里	女性	28	岩手県	専業主婦
地域の人々のパワーが誇りです	男性	26	岩手県	パート・アルバイト
地域の中だけで、何も不自由なく生活できること。 自給自足、スローライフ。	女性	28	岩手県	パート・アルバイト
地域全体のことでないが、私の家は旧家で以前住んでいた家屋が文化財になっていたり、今住んでいる敷地が古墳の跡だったりするので詳しく勉強しないと、と思っています。	女性	25	岩手県	パート・アルバイト
藤原氏が栄えた	男性	26	岩手県	公務員
南部鉄器や昔からのお祭りがある	女性	28	岩手県	会社員(事務系)
南部鉄器や杜氏など	男性	41	岩手県	会社員(その他)
日高火防祭	女性	29	岩手県	専業主婦
日本一の太鼓祭り、さんさ踊り。鋳物の産地。	女性	26	岩手県	専業主婦
文人が多く出ているところ	男性	33	岩手県	パート・アルバイト

平泉・中尊寺	女性	42	岩手県	パート・アルバイト
平泉の藤原文化	女性	62	岩手県	専業主婦
平泉中尊寺はすばらしい建造物です。また人がとにかく優しい。これは今までさまざまな文化を取り入れてきた岩手県民ならではの。	女性	35	岩手県	パート・アルバイト
平泉文化	女性	35	岩手県	専業主婦
平泉文化、毛つう寺、金色堂	男性	30	岩手県	その他
名物と呼ばれる食べ物が多くある。	女性	29	岩手県	会社員(事務系)
有形無形文化財	女性	27	岩手県	会社員(技術系)
有名な寺院が特にも誇りに思っています。	女性	26	岩手県	会社員(事務系)
歴史、文化があるのにうまく生かされていないように思う。	女性	37	岩手県	会社員(その他)
歴史的な物はそう多くはないが、住み易さに誇りを感じる	男性	46	岩手県	会社員(事務系)
11世紀後半から12世紀前半にかけてこの地は、間違いなくこの地域の中心地であった。	男性	51	宮城県	自営業
逆さ和尚	女性	44	宮城県	専業主婦
協力的	女性	41	宮城県	パート・アルバイト
細かい事はわかりませんが、日々町並みなどで発見することも多いですね。これからも、今の土地についていろいろ、知っていきながら生活に生かしたいと思っています。	男性	43	宮城県	その他
三代目の横綱の出身地	男性	29	宮城県	会社員(技術系)
私の地元は硯が有名で珍しいお祭りもあり、海のサチが沢山あります	女性	16	宮城県	その他
住宅を建てる際の上棟式のやり方や、お正月に行くことなど	女性	31	宮城県	会社員(技術系)
人と人との繋がりが濃いこと	女性	45	宮城県	公務員
石森章太郎のゆかりの地。他にも有名人がいる。	女性	38	宮城県	専業主婦
地域紙がおおくある	男性	33	宮城県	会社員(技術系)
伝統を重んじる地域であること	男性	31	宮城県	公務員
日本一の造船技術は誇れるものだとおもいます	男性	23	宮城県	会社員(技術系)
北上川が交通の要所として、機能していたこと。	女性	55	宮城県	専業主婦
歴史の出来事である河川の開拓で地元の代表するお祭りであること	男性	31	宮城県	その他

【B：岡山地域】

コメント	性別	年齢	地域	職業
「晴れの国」であること	男性	22	岡山県	公務員
「桃の故郷山陽町」と言えば知る人ぞ知る、岡山県でも名高い「白桃」の原産地である。春になると家々の屋根が桃の花の中に浮いているかの様に美しい風景が広がります。桃の歴史は約2000年前の弥生時代まで遡り、用木山遺跡(旧山陽町山陽団地)からは古代の炭化した桃の種が出土しています。現在私達が食べている大きくて美味な桃は、明治以降果樹栽培の先駆者によって品種改良された桃である。	男性	58	岡山県	自営業
10月に神輿をかつぐ祭があること。	女性	23	岡山県	専業主婦
あまり有名ではありませんが、日本のピラミッドとされる歴史的建造物があります。	女性	32	岡山県	会社員(その他)
うら太鼓、鬼が島の伝説、国分寺	女性	23	岡山県	学生
お祭り(だんじり喧嘩)	男性	32	岡山県	公務員
カブトガニ	男性	16	岡山県	学生
カブトガニ生息地がある。	男性	44	岡山県	経営者・役員
ごく最近、新聞紙上を騒がせるような面白い出来事があった(つちのこ発見)	女性	32	岡山県	その他
さまざまな戦国大名が誕生した地域であるから	男性	24	岡山県	会社員(事務系)
すいんきょ祭り	男性	43	岡山県	会社員(その他)
そうめん作り	女性	32	岡山県	専業主婦
ちくわ笛名人がいること	女性	40	岡山県	自営業
バスを降りるときに運転手さんに「ありがとうございました」と御礼を言う人が多い	女性	32	岡山県	その他
ひったか おしぐらんご	女性	33	岡山県	会社員(事務系)
ひょうたん	女性	22	岡山県	会社員(その他)
フェラーリの部品を作っている会社がある。	男性	37	岡山県	自営業
ペタですが大名行列でしょ。	女性	34	岡山県	会社員(その他)
まわりに古墳が多い。雪舟。	女性	25	岡山県	会社員(その他)
ももたるう	女性	33	岡山県	専業主婦
ももたるうのゆかりの地	女性	30	岡山県	専業主婦
医学、化学等の先駆者がでた地域である	女性	46	岡山県	会社員(事務系)
横山歌舞伎という地域の人だけの歌舞伎	男性	61	岡山県	自営業

岡山出身の作家が活躍している	女性	47	岡山県	専業主婦
岡山城	男性	47	岡山県	公務員
岡山城、備前焼	女性	33	岡山県	専業主婦
岡山城を中心に市内にははなやかさもあり、歴史もある。びぜんやきや漆器類も誇り高い。	女性	32	岡山県	会社員(事務系)
岡山弁はいいと思う。残していきたい。	女性	26	岡山県	専業主婦
乙島祭り 県下にこれほど勇壮華麗な祭りはない。全国で紹介しても必ず有名になる。それと、昔から港町と栄え、文化的発達は、誇りに思う。	男性	35	岡山県	会社員(事務系)
温かい人柄があふれていること	女性	24	岡山県	専業主婦
温厚な雰囲気	女性	21	岡山県	学生
穏やかな気候	男性	46	岡山県	会社員(事務系)
夏祭りなど	女性	39	岡山県	専業主婦
開谷学校などの歴史的建造物が現存している	男性	39	岡山県	会社員(技術系)
関が原の戦いで西軍第1の軍勢を擁した宇喜田秀家。	男性	45	岡山県	会社員(技術系)
鬼ノ城があること。	女性	36	岡山県	パート・アルバイト
鬼の城のうら伝説 吉備王国発祥の地	男性	65	岡山県	その他
鬼ノ城の復元	女性	45	岡山県	会社員(その他)
吉備の歴史	女性	34	岡山県	パート・アルバイト
吉備王国、桃太郎、備中神楽	女性	38	岡山県	その他
宮本武蔵生誕の地といわれ、生家がある。	女性	30	岡山県	パート・アルバイト
旧出雲街道の面影は残っているし、行政も保存に力を入れていると考える。 坂田の金時終焉の地、とも言い伝えられ、少々PR 不足の感はあるものの、「やや」と表現するのに適当かと思う。	男性	42	岡山県	公務員
金太郎没の地	男性	45	岡山県	会社員(その他)
具体的にはないが、住んでいる地域を誇りに思うのは当然のことだと思う。	男性	44	岡山県	公務員
形としてはない	男性	38	岡山県	会社員(事務系)
景観	女性	27	岡山県	パート・アルバイト
剣豪宮本武蔵の生誕地でもあり、吉野川を上がり下りする高瀬船の基地として栄えたそうです	男性	57	岡山県	会社員(その他)
建物	女性	36	岡山県	パート・アルバイト
古い建物など、守っていく姿勢が長く続いていること。 都会に振り回されすぎないところ。	女性	32	岡山県	パート・アルバイト
古い城下町ではあるが元からある町屋は狭く道も入り組んでいて住みにくい。周りの農村地帯のほうが土地もあり利便がよくなってすみやすい。民話、伝説は好きなので割と知っている。	女性	53	岡山県	専業主婦
古い町並みのある一方で工業地帯も持っている。 波が穏やかで風光明媚な瀬戸内海に面している。	男性	64	岡山県	その他
古い町並保存地区もあれば、西の横綱とよばれる温泉があり、秋祭りの「だんじり喧嘩」で若者から高齢者まで熱狂するとても誇りがもてる地域です	男性	32	岡山県	公務員
古くから「牛市」があり、それが今でも続いている。	男性	33	岡山県	会社員(その他)
古くからの伝統的なものだけでなく、各地域の住民達によって作られた文化的？行事も発展していること	女性	43	岡山県	公務員
古代の時代にたまがきという女性が、都からの使者の男性に恋をして、男性が都に帰ってからも、ずーと恋文を書き送ったという有名な物語があります。その、恋文は現在も残って保管されているそうです。	女性	55	岡山県	専業主婦
古代吉備王国に始まり、要所で歴史に名を出すのは、それなりの要衝の地だとは思	男性	44	岡山県	自営業
古代吉備国として栄えた	男性	48	岡山県	会社員(事務系)
古代吉備地方の文化。	男性	38	岡山県	公務員
古代吉備文化、伝統芸能、桃太郎伝説、雪舟伝説など	男性	43	岡山県	会社員(技術系)
古墳、史跡、神話(うら伝説など)	女性	55	岡山県	自営業
古墳群が多く存在する	男性	36	岡山県	会社員(技術系)
古墳群や古代住居跡などが身近に存在していること。	男性	48	岡山県	その他
後楽園があること	女性	27	岡山県	専業主婦
倉敷美観地区				
後楽園は岡山県民の誇りです。親しみやすく、優しい地です。	女性	39	岡山県	会社員(事務系)
国の天然記念物、カブトガニのあることが誇りである。	女性	22	岡山県	学生
国内でも有名な街であること	女性	29	岡山県	専業主婦
国分寺、宝福寺、鬼の城など歴史的遺産が多い。	女性	37	岡山県	専業主婦

国宝・閑谷学校備前焼(人間国宝を含む)	女性	36	岡山県	自営業
国宝である閑谷学校があり、全国的に知られている備前焼が有名です。備前焼では人間国宝にまでなられた方がいて誇りに思います。あとは、煉瓦会社がたくさんあるいい町です。	女性	27	岡山県	その他
国立天文台があること	男性	25	岡山県	公務員
最近は少なくなっているが昔ながらの生活がある	男性	46	岡山県	会社員(その他)
祭りには、いつも備中神楽がまわっている。	女性	33	岡山県	パート・アルバイト
桜で有名な鶴山公園がある。小京都として栄えていたこと。	女性	26	岡山県	パート・アルバイト
桜の名所となっている鶴山公園(城跡)があること	男性	35	岡山県	会社員(技術系)
三大庭園である後楽園があること。備前焼	女性	25	岡山県	会社員(事務系)
自然	女性	27	岡山県	その他
自然が豊か	女性	37	岡山県	専業主婦
質問の意味がよくわからない。	男性	54	岡山県	会社員(事務系)
小さい市の中で世界的に有名な絵画や庭園がある	女性	54	岡山県	その他
小京都である事。桜が西日本で上下に見える唯一の桜の都。ドラマや映画のロケがよくある。オダギリジョーの出身地。作家が多い(僕も)	男性	31	岡山県	自営業
焼き物が有名	女性	46	岡山県	会社員(事務系)
上記テーマ以外に特にはありません。	男性	38	岡山県	会社員(技術系)
上記以外は特に思い当たりません。	女性	39	岡山県	経営者・役員
城下町の風情が残っていて暮らしている人々はけんちくぶつを崩さない様に心がけている。桜は全国的に有名で見事な開花ぶりです。残念な事に城は存在しません。莫大な資金はありますが、再現してほしいです。	女性	41	岡山県	自営業
食べ物のおいしさ	女性	41	岡山県	会社員(事務系)
人間関係が濃密で、地域社会の安全が保たれている。また自然環境に恵まれている。	男性	69	岡山県	自営業
人柄。地元の人同士のつながり。	女性	26	岡山県	会社員(その他)
仁科博士の出生地で、私の職業が放射線技師なので特に誇りに思います	男性	46	岡山県	会社員(技術系)
世界危惧植物{厚岸草}自然保護地である。	男性	65	岡山県	その他
世界有数のジーンズの産地	女性	34	岡山県	会社員(技術系)
政治家とか結構多い	男性	36	岡山県	会社員(技術系)
西大寺の裸祭りはとても有名で、誇りに思います。備前焼なども素敵な産業だと思います。	女性	48	岡山県	会社員(事務系)
西大寺会陽	男性	41	岡山県	会社員(その他)
昔ながらの建造物、街並み(美観地区等)。	男性	37	岡山県	会社員(事務系)
昔は吉備の国といわれいろいろな歴史的遺跡がある。	男性	54	岡山県	会社員(事務系)
昔宿場町だったことたくさんのおこしが集まる祭りがある	男性	62	岡山県	その他
雪舟、うら、五重塔、古墳、少し歩けば歴史に触れる事が多いので、素晴らしい地域だと思う。	女性	60	岡山県	パート・アルバイト
雪舟生誕の地であり、修行した寺がある。	女性	53	岡山県	その他
川など風景が豊富になるのがいい	男性	22	岡山県	学生
繊維の町で繊維製品が多い。	男性	34	岡山県	会社員(事務系)
繊維の町として知られています。昔から女の人が働く町で、昔から女の人が強く、この町で商売が成功した人は全国のどこでも成功するといわれています。	女性	34	岡山県	専業主婦
素敵な街なのです。	男性	27	岡山県	その他
倉敷の美観地区	女性	35	岡山県	専業主婦
倉敷の美観地区の建物・美術館等は良いと思います。源平合戦の後地とかもあります。	女性	36	岡山県	パート・アルバイト
倉敷市街にある美観地区は町並みがとても綺麗で時間の流れがゆっくりしてとてもいいところだ。	男性	28	岡山県	会社員(その他)
多くの文人が出ていること。	女性	48	岡山県	パート・アルバイト
対外的にさほど有名なものはないが、独自の祭りや馴染みのお国言葉などに愛着を感じている。	男性	44	岡山県	自営業
大学がある。店の規模は小さいが、生活に必要なものは大体揃う	女性	27	岡山県	会社員(事務系)
大原聡一郎と言う立派な人が居たと言う事は誇りです。	女性	53	岡山県	専業主婦
大原美術館、蔵屋敷	女性	65	岡山県	専業主婦
大原美術館がある。	女性	48	岡山県	専業主婦
大原美術館がある。	男性	19	岡山県	自由業

大体網羅されている	女性	58	岡山県	専業主婦
地域として残っていることだけでも誇りだと思う。	女性	29	岡山県	専業主婦
地域のつながりが強い	男性	39	岡山県	公務員
地理的に交通の要所であること。	男性	29	岡山県	公務員
竹久夢二の生まれた地である。	男性	59	岡山県	会社員(その他)
町並み	女性	24	岡山県	会社員(技術系)
津山という田舎町でも、時代の先端を生きる女性がいたこと。	女性	46	岡山県	専業主婦
天皇ゆかりの地である。	男性	44	岡山県	会社員(技術系)
天然記念物がある	男性	32	岡山県	公務員
桃太郎	男性	15	岡山県	学生
桃太郎にまつわる鬼祭り	男性	44	岡山県	会社員(技術系)
桃太郎の話があるということ。	女性	31	岡山県	専業主婦
桃太郎伝説	女性	40	岡山県	学生
桃太郎伝説	女性	33	岡山県	会社員(事務系)
独特な水産物や水産加工品がある。	男性	44	岡山県	経営者・役員
独特の生活様式、伝統工芸、人のあたたかさ等、田舎でしか味わえないよさがあるように思う	女性	29	岡山県	専業主婦
日本の造船業を支えている会社があること。主人がそこで働いていること。	男性	29	岡山県	会社員(技術系)
日本一高いところに城がある	男性	22	岡山県	公務員
日本一高い所にある山城(備中松山城)があること	男性	35	岡山県	公務員
日本一親子孫水車あります。見に来て親子孫仲良くなってください。	男性	55	岡山県	自営業
日本最古の人骨が出た貝塚がある。	男性	36	岡山県	会社員(その他)
農業、漁業などの生産物	女性	27	岡山県	専業主婦
備前焼	男性	43	岡山県	会社員(技術系)
備前焼	女性	38	岡山県	専業主婦
備前焼	女性	34	岡山県	会社員(その他)
備前焼、関谷学校	女性	35	岡山県	パート・アルバイト
備前焼が有名で(岡山県備前市)、桃太郎の伝説の地で、きびだんごが有名で、温暖な気候で過ごしやすいです。	女性	27	岡山県	公務員
備前焼とかほりにおもう	男性	29	岡山県	会社員(その他)
備前焼を中心にした大きな祭りがある	女性	37	岡山県	パート・アルバイト
備前長船の名刀を生んだ。周辺には古刹といわれる由緒ある古寺が多い。縄文時代の貝塚もある。一級河川「吉井川」に近く、肥沃な広大な農地が有る。	男性	59	岡山県	経営者・役員
美しい景観と芸術の香り	男性	32	岡山県	会社員(事務系)
美観地区	男性	41	岡山県	会社員(技術系)
美観地区	女性	19	岡山県	学生
美観地区、大原美術館等	女性	57	岡山県	専業主婦
美観地区があり古いけど素敵な町並みが残っている事。	女性	29	岡山県	専業主婦
美観地区として観光地となっている町並みがあると同時に、瀬戸大橋があり、交通の要所にもなっている。	女性	28	岡山県	その他
美観地区として昔からの町並みを保存していたり、全国的に有名な大原美術館があることなど、誇りにできることだと思う。	女性	40	岡山県	会社員(事務系)
美観地区と備前焼には誇りがある。	女性	31	岡山県	専業主婦
美観地区などの古い建造物を大事にしつつ、水島コンビナートやジーンズ等の縫製工場などが共存している	女性	34	岡山県	その他
美観地区の風景	男性	27	岡山県	会社員(その他)
美術館や画廊が多くて散策しやすい町並み。	女性	33	岡山県	公務員
武久夢路	男性	34	岡山県	自営業
武蔵発祥の地。日本三代稻荷最上稲荷	女性	26	岡山県	パート・アルバイト
毎年、大名行列があるのですが、歴史も深いらしく誇りに思っています。	女性	31	岡山県	パート・アルバイト
毎年、文化祭が行われていて、それぞれが熱心に習得した趣味を発表できる場があり、人々が活性化していると思う。	女性	35	岡山県	パート・アルバイト
木野山神社のおおかみさま発祥の地	男性	20	岡山県	学生
有名な美術館があること。国立大学が結構いい。	男性	30	岡山県	学生
裸祭り	男性	25	岡山県	会社員(その他)
蘭学等の発祥がある	男性	42	岡山県	会社員(事務系)
両宮山古墳があるし、果物が美味しい	女性	35	岡山県	会社員(その他)
良寛さんと鼠の絵	男性	44	岡山県	会社員(その他)

歴史があることと、それを大事にするモニュメントや文化施設が沢山あること。	男性	28	岡山県	学生
歴史では、学術的にも著名な人がいる。文化では、有名な彫刻家や芸術家が多い。	男性	52	岡山県	会社員(事務系)
歴史的な建物がある	女性	29	岡山県	専業主婦

【C：出雲地域】

コメント	性別	年齢	地域	職業
「街並みが昭和でストップしてる」とよく言われるし、思うところ。	女性	16	鳥取県	学生
Q5に重複しているけど、有名な(特に自分の好きな)漫画家がいる事。	女性	33	鳥取県	パート・アルバイト
かつて製鉄の産地であった	男性	51	鳥取県	自営業
きたろうロード、漁獲高	男性	36	鳥取県	会社員(技術系)
げげげのきたろう	男性	40	鳥取県	会社員(技術系)
ゲゲゲの鬼太郎	女性	32	鳥取県	会社員(事務系)
やはりこの地域に住んでいる人間にとって、最も誇りとするのは、大山という山の存在です。毎日、どこに行くにも必ず大山を見ます。大山がきれいに見えるときは、それだけで気分がよくなるし、くもっていたり、見えなかったりすると、がっかりします。観光に来てくださる県外の方にも、きれいな大山を見てほしいといつも思います。大山の存在そのものが誇りです。	女性	42	鳥取県	その他
家の町内に五輪塚があり、神社がある。子供の頃は怖い場所でもあったが、今は、大切な歴史的遺産だと思う	女性	36	鳥取県	自営業
海と山の両方に囲まれているので、両方のおいしい食材が手に入ったり、季節ごとにさまざまな行楽・スポーツなどを楽しめたりするところ。	女性	33	鳥取県	パート・アルバイト
各方面で活躍された方がおられるのは知っているのですが全国的に有名な方となると隣接した市の方しか思いつかない。きっと市としてのPRのやり方が下手なのだと思う。若い世代はもっと知らないんじゃないかな。住むにはとても良い町だと思うので誇りを持ってPRしていけばよいと思う。このくらいしか書けません・・・	女性	34	鳥取県	会社員(事務系)
古くから商業都市であり、活気がある。	女性	40	鳥取県	専業主婦
古代人が住んでいたとされる村の遺跡がある。	女性	36	鳥取県	専業主婦
後醍醐天皇と名和長年	男性	41	鳥取県	会社員(技術系)
交通、商業の要衝である	男性	47	鳥取県	その他
国内で特に有名ではない地域であるが、霊峰大山の麓に広がる平野で農業・商業が発達し、交通の要地として有史以来幾多の人々が当地を訪れている。ひとつの特徴として、独自性の強すぎる方言が当地には無い、つまり誰が聞いてもそれなりに意味が通じる方言が存在し、訛りも比較的少ない。様々な人が当地を訪れ、多様な文化を伝えたからだと思う。	男性	29	鳥取県	会社員(事務系)
山陰の商都と唄われた。民話のふるさと。	男性	45	鳥取県	経営者・役員
山陰の大阪と言われたことに対して	男性	52	鳥取県	自営業
住みやすい。水がおいしい	男性	41	鳥取県	自営業
商業の中心都市として栄えたこと	女性	55	鳥取県	会社員(事務系)
新しいものは受け入れるけど飽きやすい	男性	41	鳥取県	自営業
神話 風土記	男性	43	鳥取県	経営者・役員
神話と共にある地方なので	男性	54	鳥取県	自営業
人間性	男性	44	鳥取県	経営者・役員
人柄が良い	男性	37	鳥取県	自営業
水木しげる、宮川大介、カニ	女性	26	鳥取県	専業主婦
水揚げ量日本一の漁港だった。	男性	57	鳥取県	その他
世界三代美女の小野小町の墓がある	男性	32	鳥取県	会社員(技術系)
生まれた時から慣れ親しんだ歌、踊りなど。	女性	43	鳥取県	その他
昔は漁獲高日本一の漁港だった、鬼太郎の作者(水木しげる)の故郷、吉本興業の大助、花子の故郷。	男性	55	鳥取県	会社員(その他)
地域特有の祭りなどがあり、それを誇りに思っている。	男性	21	鳥取県	その他
縄文弥生時代から居住があったとされる地域が近くにあるという事。	男性	45	鳥取県	会社員(技術系)
日本最大の弥生遺跡となる妻木晩田遺跡をはじめ、1300年前に建立された上淀廃寺跡、国の史跡にも指定される伯耆古代の丘公園など歴史的な重要地域でもある。	男性	32	鳥取県	会社員(技術系)
米子城はいろんな城主に渡されていったが、その一人ひとりが独自の文化を築き上げてきて、今に残っていることに誇りに思っている。	男性	16	鳥取県	学生
名和一族が支配していたところ、後醍醐天皇が隠岐に島流しになり、船でしたところで、後醍醐天皇にまつわる名所旧跡がある。	女性	51	鳥取県	専業主婦
名和長年	女性	41	鳥取県	会社員(技術系)
有名漫画家の出身地	男性	32	鳥取県	会社員(技術系)

妖怪が好きな人の聖地となっていること。	女性	42	鳥取県	公務員
歴史ではないですが、有名な温泉・山があり海産物も豊富でとても住みよい街だとおもいます。商業都市なので活気があります。	女性	33	鳥取県	パート・アルバイト
「竹島の日」を制定したこと。	女性	44	島根県	専業主婦
10月は全国的に神無月と呼ばれているが出雲地方では神々が集まって来る為神在月と言う	男性	41	島根県	会社員(その他)
12年に1度行われる神事(ホーランエンヤ)はすばらしいです。これは松江市の誇りです。	女性	32	島根県	公務員
1 先般宍道湖、中海がラムサール条約に登録されたこと	男性	63	島根県	パート・アルバイト
1番大きな「誇り」と言えば「神話の故郷」と「出雲大社」だと思う。島根県は存在感の薄い県で、県外で生活していた時も島根出身だと答えると「東北だったよね?」なんて言われることもしばしば。そんな中、「出雲大社があるトコロ」だと伝えると「あぁ〜!」とほとんどの人が分かってくれる。また歌舞伎の原点である出雲阿国の存在も小さい頃から身近に感じてきた。そして出雲弁といわれる方言にも最近では愛着がわいてきた。	女性	27	島根県	経営者・役員
5 出雲大社は観光のメッカである。 6 大国主の尊や因幡の白兔など数多くの神話がある。	男性	41	島根県	会社員(技術系)
お茶の不昧流や和菓子などとても好意をもてることが多い。	女性	20	島根県	学生
お茶の文化が根付いていること。	女性	36	島根県	会社員(事務系)
なんと云っても出雲神話の地であり、津和野の鷲舞は京都八坂神社と深い関わりが有る事を地元の人があまり知らない事に落胆すると同時に、この事を地元の人にこそもっとPRすべきだと思う。	男性	62	島根県	その他
不昧公。水の都松江	男性	35	島根県	公務員
やはりその街の強烈なシンボルが文化的なものかどうか。松江においては松江城が鎮座しており、これには毎日惹かれている。	男性	32	島根県	会社員(事務系)
安来節発祥の地、たたら	男性	47	島根県	会社員(技術系)
遺跡・史跡の多さと保存に関する取り組み。	男性	42	島根県	会社員(技術系)
雲南市は大東町には神話の郷出雲の謂れそのままに受け継がれた日本初之宮といわれる須賀神社があります。銅鐸の発見で一躍有名になった加茂遺跡も雲南市加茂町。出雲大社もそうですが古代の文化はいわば伝説のように扱われる中、いろいろな物証が実際に健在また発見される中で暮らしていると神秘性の中にも伝承されてきたいろいろな文化・慣習、そういうものに一種の優位性というか、なれば尚更連綿と受け継いでいかなければならないという使命感も出てきます。	女性	40	島根県	会社員(その他)
円通寺には夢があるから	男性	27	島根県	パート・アルバイト
縁結びでゆかりがある出雲大社があること	男性	28	島根県	会社員(その他)
景色	女性	41	島根県	自営業
景色がきれいだ	男性	23	島根県	学生
現時点では解明されていない多くの古代の文化が存在するところに誇りを感じている	男性	45	島根県	経営者・役員
古代の歴史的に重要な地点であった。	男性	48	島根県	会社員(技術系)
古代出雲の遺跡や文化伝承が沢山ある	男性	68	島根県	その他
国際的な交流事業があること	男性	47	島根県	会社員(事務系)
国造りの出雲神話は大人になってからその素晴らしさに気がつきました。ずっと守っていきたい誇れるものです。	女性	35	島根県	その他
佐陀神社に関する事(島根県のみ10月を神有月という)	男性	42	島根県	会社員(技術系)
桜	女性	58	島根県	会社員(技術系)
産業は今ひとつだが城下町で茶道など独特の文化があり良く観光に来た人の評価として人柄が穏やかで親切だったという評価を耳にすることが多いので文化の賜物と思っています	女性	49	島根県	専業主婦
私は生まれてから出雲市に住んでいます。出雲市には出雲大社があって、10月は「神無月」といいますが、出雲地方だけ「神有月」なんです。なぜかというと、全国の神様が出雲大社に集まって来るからです。それほど大きな社だと思っても誇りに思いません。	女性	27	島根県	会社員(事務系)
自然が豊か(海がきれい)	女性	40	島根県	専業主婦
出雲そばのおいしい店がある。私的には日本一の店。あと、出雲弁も好きだし、人柄もとても良いと思う。	女性	25	島根県	パート・アルバイト
出雲の古代史をもっと誇りに思うべき	男性	52	島根県	公務員
出雲の文化的風土。	男性	67	島根県	経営者・役員
出雲神話の地	女性	46	島根県	会社員(事務系)
出雲大社	男性	31	島根県	公務員
出雲大社	男性	31	島根県	会社員(技術系)
出雲大社	男性	34	島根県	会社員(事務系)
出雲大社	男性	43	島根県	経営者・役員

出雲大社(縁結びの神様で有名)・神在り月として他とは違う	女性	37	島根県	専業主婦
出雲大社、小泉八雲、古い神社、古墳、遺跡	男性	53	島根県	会社員(事務系)
出雲大社、日御碕、いずもそば	男性	35	島根県	自由業
出雲大社・出雲風土記・日本一の銅剣発見数	男性	58	島根県	公務員
出雲大社があり、出雲は10月には神有月で、全国の神様が集まると言われている。そのお祭りがある。	女性	39	島根県	専業主婦
出雲大社があり、昔から神様の国と言われてきた。方言も独特で、大切にしたい	女性	28	島根県	パート・アルバイト
出雲大社があり、銅剣・銅鐸など多数出土している。	男性	36	島根県	会社員(事務系)
出雲大社が近くにあるので、10月をうちの方では“神無月”ではなく、“神在月”と呼びます。八百万の神様がその時期になると出雲大社に集まると言われているためです。その地に住んでいることを誇りに思います。	女性	26	島根県	会社員(事務系)
出雲弁という方言、神話のふるさと	男性	45	島根県	公務員
小泉八雲	男性	30	島根県	会社員(技術系)
小泉八雲・その他	男性	54	島根県	パート・アルバイト
小泉八雲と武家屋敷	女性	29	島根県	会社員(その他)
小泉八雲や茶の湯など	男性	31	島根県	その他
小泉八雲や不昧公のゆかりの地であること。	女性	20	島根県	学生
小泉八雲ゆかりの地、松平不昧公、和菓子お茶の町	女性	31	島根県	専業主婦
松江城	男性	41	島根県	会社員(事務系)
松江城・武家屋敷・松平不昧公	女性	29	島根県	専業主婦
城下町の町並みが昔のまま保存されている。	男性	49	島根県	会社員(技術系)
城山、ヘルン旧居	女性	35	島根県	専業主婦
神々が集まってくる地域	男性	42	島根県	自営業
神話のふるさとであり、数々の遺跡や史跡が多く発掘されている	女性	48	島根県	会社員(事務系)
神話のふるさと出雲大社は隣の出雲市だが、松江市には佐田神社や神魂(かもす)神社がある。また小泉八雲ゆかりの地であり、松江城や、武家屋敷もある。	女性	47	島根県	パート・アルバイト
神話の国	男性	38	島根県	会社員(技術系)
神話の国である事	男性	42	島根県	その他
神話の国出雲というくらいですから出雲大社がすきです。つい昨日も初詣にいきました	女性	25	島根県	専業主婦
神話の里	女性	44	島根県	会社員(事務系)
神話古事記の舞台であること、また、日本に誇る安来節の発祥の地であることを誇りに思っている。	女性	41	島根県	会社員(事務系)
人間に温かみがあること。緑が多いこと。	女性	28	島根県	会社員(事務系)
吹奏楽が盛んで、全国大会で何度も賞をとった中学、高校がある。	女性	41	島根県	公務員
水と緑の町。松江城付近の古い町並みと、小泉八雲の文化。交通の便は悪いが 外国のお客様も観光してもらえる場所がある。	女性	39	島根県	専業主婦
製鉄関係	男性	28	島根県	その他
昔ながらの、のんびり 風光明媚	男性	58	島根県	会社員(技術系)
足立美術館 3年連続日本庭園ランキング日本一(米国雑誌社調査にて)	男性	35	島根県	自営業
他の地域に無い伝承物がある。暦の読み方(神無月 神有月)がこの地域だけ違う。	男性	42	島根県	会社員(その他)
知名度が低い県だけれど、神話などは大抵の人が知っているようなものがあり、そういう点では誇りになるんじゃないかと思う。	女性	20	島根県	学生
地域全体が一致団結している。	女性	33	島根県	専業主婦
茶の湯の文化とお茶菓子の豊富なこと。武家文化が残っている。住民もそれを大切にしている。新古仲良く共存していること。神話伝説の地であること。	女性	37	島根県	専業主婦
島根県では、旧暦の10月を神在月ということに感銘致しました。	女性	37	島根県	専業主婦
独特の方言、古代の遺跡が多い、出雲神話	男性	30	島根県	自由業
日本で唯一完全に残っているとされる風土記、出雲国風土記には、神話を題材に豊かに栄えた当時の様子が記されており、日本の神話のふるさとである。	男性	48	島根県	公務員
美しい自然、(山、川)	女性	37	島根県	専業主婦
平成の大合併により、より大きな市となったが、江戸時代の小藩であった母里藩に愛着を感じる。	男性	51	島根県	自営業
平成の大合併をあえて行わず、単独町を選択したこと	男性	44	島根県	公務員
豊かな自然と歴史がほかにはないと思うので	女性	36	島根県	公務員

名産物(干し柿、かまぼこなど)がおいしい。 周りの地域で地域合併をしなかった唯一の町であること。 近年、住宅地が増え、店も増え町が活性化していること。	女性	26	島根県	会社員(その他)
名物がある	男性	34	島根県	公務員
有名な神社がある	男性	40	島根県	会社員(技術系)

【D：宮崎・霧島地域】

コメント	性別	年齢	地域	職業
おいしい物特産がたくさんある。	女性	30	宮崎県	パート・アルバイト
くじらようかん	男性	29	宮崎県	会社員(技術系)
くじら羊羹がうまいから	男性	31	宮崎県	公務員
すぐ近くに歴史文化館があり、宮崎の紹介をしているが、そこには、横穴が多数あり、昔の生活風習を伝え、また子供たちに体験学習させてくれる。	女性	34	宮崎県	その他
その土地独自の県民性が良い。たとえば、おっとりしているとか、せっかちであるとか。女性はしっかりしているが、男性は頼りないとか。	男性	47	宮崎県	会社員(技術系)
ブーケット等と見まごう類の自然環境であること。言い換えれば他に観光の「売り」はないのだが。	女性	42	宮崎県	その他
フェニックス はにわ ワシントンニアパーム	男性	42	宮崎県	その他
雨太鼓が勇壮で誇りに思う。	男性	32	宮崎県	自営業
海岸沿いの道から見た海はとてもきれいで青島の洗濯岩など いつも 感動します。小学校の敷地内に古墳があったのがすごいなと 思っていました。	女性	38	宮崎県	専業主婦
海岸線の美しい風景	女性	40	宮崎県	パート・アルバイト
観光資源となる文化がある	男性	48	宮崎県	公務員
宮崎ではやはり高千穂町の神楽	男性	31	宮崎県	会社員(その他)
宮崎といえば新婚旅行のメッカとして栄えていたときもありました	男性	43	宮崎県	会社員(事務系)
宮崎は、神話の里として古来より伝承されている祭り、神社、風習など多い。それを誇りとし、しっかりと次世代繋げようとする住民の意識も高くに、子供達も積極的に参加している姿を見ると素晴らしいと思う。	女性	31	宮崎県	パート・アルバイト
宮崎神宮大祭	女性	40	宮崎県	会社員(その他)
弓の生産地であること	男性	43	宮崎県	会社員(技術系)
おいしい牛肉の産地であること				
弓の生産日本一	女性	36	宮崎県	会社員(事務系)
弓の生産日本一	男性	34	宮崎県	会社員(その他)
弓の製造、地下水の利用による焼酎の製造。	男性	58	宮崎県	会社員(その他)
居住年数も少なく良く判らないが、地域の方の人間性が誇れると思う。	男性	48	宮崎県	その他
空気がきれい	男性	52	宮崎県	その他
現在住んでいる高千穂町は天孫降臨の地であり、夜神楽など文化があります。私はこの文化に触れたくて希望して転職しました。	女性	27	宮崎県	公務員
古墳など歴史的価値のある史跡がある。 神武天皇をまつる宮崎神宮がある。	女性	39	宮崎県	専業主婦
古墳群がある。自然現象でできた鬼の洗濯板がある。	男性	34	宮崎県	自営業
古文化にまつわる神社や伝説などがある	男性	42	宮崎県	自営業
古来から伝わる、酒席での遊びがあること	女性	23	宮崎県	会社員(事務系)
高原町、その名前の由来が、日本書紀からくる、天孫降臨の地である「高天原」から来ている。それだけ歴史深い町である。	男性	35	宮崎県	経営者・役員
高千穂、西都、日南など神話や歴史的な出土品、建物などとても興味深い物が宮崎には沢山あると思う。又食文化についても色々あるとおもう。	女性	33	宮崎県	専業主婦
高千穂の神楽、あと青島がいいな	女性	24	宮崎県	パート・アルバイト
高千穂峡	女性	31	宮崎県	パート・アルバイト
佐土原人形とか昔我兄弟など	男性	45	宮崎県	自営業
桜	男性	58	宮崎県	自営業
子どもたちにこの地域で育ち、生活して欲しいと思う心	男性	30	宮崎県	公務員
自然がゆたか	女性	17	宮崎県	学生
自然が残っている	女性	51	宮崎県	会社員(事務系)
自然が美しい。海がきれい。	女性	33	宮崎県	専業主婦

自分の故郷を誇りに思うのは、いくら田舎でつまらないときがあっても当たり前。特に実家を離れて戻ってきたときの安らぎ間はやっぱり自分がこの人(ここから始まった)だと実感しました。	女性	19	宮崎県	学生
住民の人柄、気候が温暖なこと	男性	49	宮崎県	会社員(技術系)
小京都といわれる場所がある。	男性	23	宮崎県	会社員(事務系)
焼酎(霧島、黒霧島)の生産地	男性	33	宮崎県	会社員(事務系)
焼酎やチキン南蛮など、おいしい食べ物が多いと思います。気候も暖かくて、のんびりして過ごしやすいです。	男性	22	宮崎県	学生
城下町の風情を今も残している	男性	31	宮崎県	自営業
神楽	男性	18	宮崎県	学生
神社が古くからあり、神楽が毎年おこなわれていること	女性	50	宮崎県	会社員(技術系)
神々の里であること。 「地域」の意識が受け継がれていること。	男性	37	宮崎県	自由業
神武天皇	男性	50	宮崎県	その他
神武天皇御船での地。	男性	50	宮崎県	会社員(技術系)
神様の発祥の地が地元にある。	女性	52	宮崎県	パート・アルバイト
神話にまつわる地が身近にある。	女性	38	宮崎県	専業主婦
神話の里。	男性	40	宮崎県	会社員(技術系)
神話の里として県内でも観光客が断トツに多いこと。	男性	39	宮崎県	経営者・役員
神話の里と言われる地域は 自然がそのまま残っている	女性	46	宮崎県	会社員(その他)
神話や伝説に基づく観光施設や、戦後開発した先人の苦勞	男性	59	宮崎県	会社員(その他)
人の温かさがよくわかる	男性	22	宮崎県	パート・アルバイト
生目神社	男性	41	宮崎県	自営業
昔壊れたものなどの再現された建物などが作られている (お城やつり橋など)	女性	43	宮崎県	専業主婦
昔県だった	男性	40	宮崎県	会社員(技術系)
地域というよりも自分の県に伝統芸能や風習が今もなお大切に残っていることが良いことだ と思うし、次の世代に伝えていきたいことだと思う	女性	32	宮崎県	その他
地鶏が美味しい。	男性	33	宮崎県	自営業
伝統工芸の弓、木刀	男性	32	宮崎県	会社員(その他)
都城では、昔のお城の後の城山公園があって、今は歴史資料館になっています。夜間は、 城がライトアップされていて、とても見事です。又、金御岳(かねみだけ)という山があり、夜間 は、都城の夜景が一望でき、ハングライダーの地としても、とても有名で、とりわけ野鳥が 数多くいることでも知られています。又、御池(みいけ)という、まるで湖みたいな大きい池は、 火山が噴火して、穴が開き、そこに水が貯まって出来た池だと言われています。関の尾の滝 は、日本の滝の百選に選ばれています。自然に出来た沢山の罅穴は、とても見事です。	女性	42	宮崎県	専業主婦
鳥津家発祥の地または仁徳天皇の妃になった髪長姫の誕生した髪長池がある。ひむか神 話街道。	女性	45	宮崎県	会社員(事務系)
鳥津発祥の地であること	男性	52	宮崎県	公務員
頭の中では少し理解しているがうまく文章で書けない	男性	23	宮崎県	会社員(その他)
謎が多いところ。	女性	42	宮崎県	経営者・役員
日本の中でも有数の古墳群があり、今でもその古墳がたくさん残っていることが誇りに思いま す。	男性	31	宮崎県	公務員
日本書紀や古事記などに由来するような神話が多い。	男性	33	宮崎県	公務員
農業という産業が、全国的にみても盛んであること。	男性	40	宮崎県	その他
物価が安くて温暖で住みやすいところ	女性	32	宮崎県	会社員(事務系)
雰囲気	男性	30	宮崎県	会社員(技術系)
方言	男性	27	宮崎県	公務員
方言や郷土料理	女性	24	宮崎県	専業主婦
良い人が多い。自然が多い。	男性	22	宮崎県	その他
歴史的偉人の発祥地 昔の新婚旅行地	男性	49	宮崎県	会社員(技術系)
飫肥城があります。	女性	34	宮崎県	専業主婦
たとえばですが、鳥津家の殿様が神宮から港のほうまで大名行列をなして練り歩く「浜下り」 というお祭りが 있습니다。	女性	26	鹿児島県	専業主婦
大した物が無いので誇りに思わない。自分には関係ない。	女性	28	鹿児島県	パート・アルバイト

Q7 Q5であげたそれぞれの誇りと思うテーマで、「1.誇りに思う」及び「2.やや誇りに思う」と回答された項目について、これら誇りが他の人と共有できると考えられる範囲はどの範囲ですか？（SA）

- (あ) 住んでいる小学校区程度の範囲
 (い) 住んでいる市町村程度の範囲
 (う) 住んでいる市町村及び周辺市町村程度の範囲
 (え) 住んでいる都道府県の範囲
 (お) 住んでいる地域ブロック（東北、中国、九州）程度の範囲
 (か) 全国規模
 (き) 古来の藩や国の範囲
 (く) わからない

誇りと考えられるテーマ	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)	(か)	(き)	(く)
地域ゆかりの人、地域出身の偉人がいること	27 (3.4%)	188 (23.4%)	174 (21.7%)	240 (29.9%)	13 (1.6%)	122 (15.2%)	7 (0.9%)	31 (3.9%)
歴史的な出来事が起こった地であること	17 (3.0%)	103 (18.3%)	147 (26.1%)	158 (28.0%)	31 (5.5%)	57 (10.1%)	9 (1.6%)	42 (7.4%)
文化や産業の発祥の地であること	17 (2.4%)	132 (18.5%)	163 (22.8%)	221 (31.0%)	32 (4.5%)	87 (12.2%)	4 (1.0%)	55 (7.7%)
古い町並みや建造物があること	42 (5.1%)	207 (25.1%)	188 (22.8%)	201 (24.4%)	56 (6.8%)	94 (11.4%)	7 (0.5%)	33 (4.0%)
社寺・史跡等歴史的なものが残っていること	41 (4.6%)	201 (22.5%)	175 (19.6%)	256 (28.6%)	61 (6.8%)	120 (13.4%)	11 (1.2%)	29 (3.2%)
神話や伝説の地であること	31 (3.9%)	104 (13.2%)	138 (17.6%)	276 (35.1%)	31 (3.9%)	165 (21.0%)	14 (1.8%)	27 (3.4%)
古来の伝承している踊りや民俗芸能があること	39 (5.1%)	151 (19.7%)	165 (21.6%)	255 (33.3%)	43 (5.6%)	68 (8.9%)	5 (0.7%)	39 (5.1%)
地域の誇りとなる祭りがあること	46 (6.4%)	196 (27.3%)	149 (20.8%)	219 (30.5%)	36 (5.0%)	50 (7.0%)	2 (0.3%)	20 (2.8%)
古代に文化や経済の中心地、交通の要衝であったこと	21 (3.6%)	115 (20.0%)	130 (22.6%)	175 (30.4%)	41 (7.1%)	56 (9.7%)	10 (1.7%)	28 (4.9%)
地域独自の生活スタイル（風習・方言など）があること	31 (4.6%)	118 (17.6%)	173 (25.9%)	222 (33.2%)	45 (6.7%)	49 (7.3%)	5 (0.7%)	26 (3.9%)
日本を代表するような産業（伝統工芸）があること	16 (2.7%)	92 (15.7%)	112 (19.1%)	210 (35.8%)	37 (6.3%)	90 (15.4%)	2 (0.3%)	27 (4.6%)

Q 4で、「歴史・文化に対してあまり「誇り」を持っていない」及び「歴史・文化に対して「誇り」を持っていない」と回答された方にお聞きします。

Q 8 誇りを持たないと考えられる理由について、あなたの考えに最も近いものを1つ選択ください。(S A)

【地区別】

	全体	A	B	C	D
合 計	417 (100%)	65 (100%)	193 (100%)	68 (100%)	91 (100%)
地域のことをよく知らないため。	134 (32.1%)	18 (27.7%)	58 (30.1%)	22 (32.4%)	36 (39.6%)
地域の誇りとなるような歴史・文化等の資源がないため。	130 (31.2%)	20 (30.8%)	60 (31.1%)	20 (29.4%)	30 (33.0%)
地域のことにに関して興味が無いため。	131 (31.4%)	24 (36.9%)	66 (34.2%)	19 (27.9%)	22 (24.2%)
その他(自由記述)	22 (5.3%)	3 (4.6%)	9 (4.7%)	7 (10.3%)	3 (3.3%)

【居住年数別】

	全体	5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40年以上
地域のことをよく知らないため。	134 (32.1%)	77 (50.7%)	26 (40.6%)	18 (22.8%)	8 (13.3%)	4 (9.3%)	1 (5.3%)
地域の誇りとなるような歴史・文化等の資源がないため。	130 (31.2%)	28 (18.4%)	18 (28.1%)	27 (34.2%)	22 (36.7%)	23 (53.5%)	12 (63.2%)
地域のことにに関して興味が無いため。	131 (31.4%)	38 (25.0%)	17 (26.6%)	32 (40.5%)	25 (41.7%)	13 (30.2%)	6 (31.6%)
その他(自由記述)	22 (5.3%)	9 (5.9%)	3 (4.7%)	2 (2.5%)	5 (8.3%)	3 (7.0%)	0 (0.0%)

【これまでの居住地別】

	全体	A	B	C	D
地域のことをよく知らないため。	134 (32.1%)	9 (14.8%)	12 (11.0%)	112 (46.7%)	1 (14.3%)
地域の誇りとなるような歴史・文化等の資源がないため。	130 (31.2%)	23 (37.7%)	58 (53.2%)	46 (19.2%)	3 (42.9%)
地域のことにに関して興味が無いため。	131 (31.4%)	25 (41.0%)	34 (31.2%)	71 (29.6%)	1 (14.3%)
その他(自由記述)	22 (5.3%)	4 (6.6%)	5 (4.6%)	11 (4.6%)	2 (28.6%)

「A.生まれてからずっと現在の居住地(地域)に住んでいる。」「B.一度他所の地域に出ていた(就学や就職などで)が、現在の居住地(地域)に戻ってきた。」「C.他所の地域から現在のところに引っ越してきた。」「D.その他(具体的に記述)」

【年齢別】

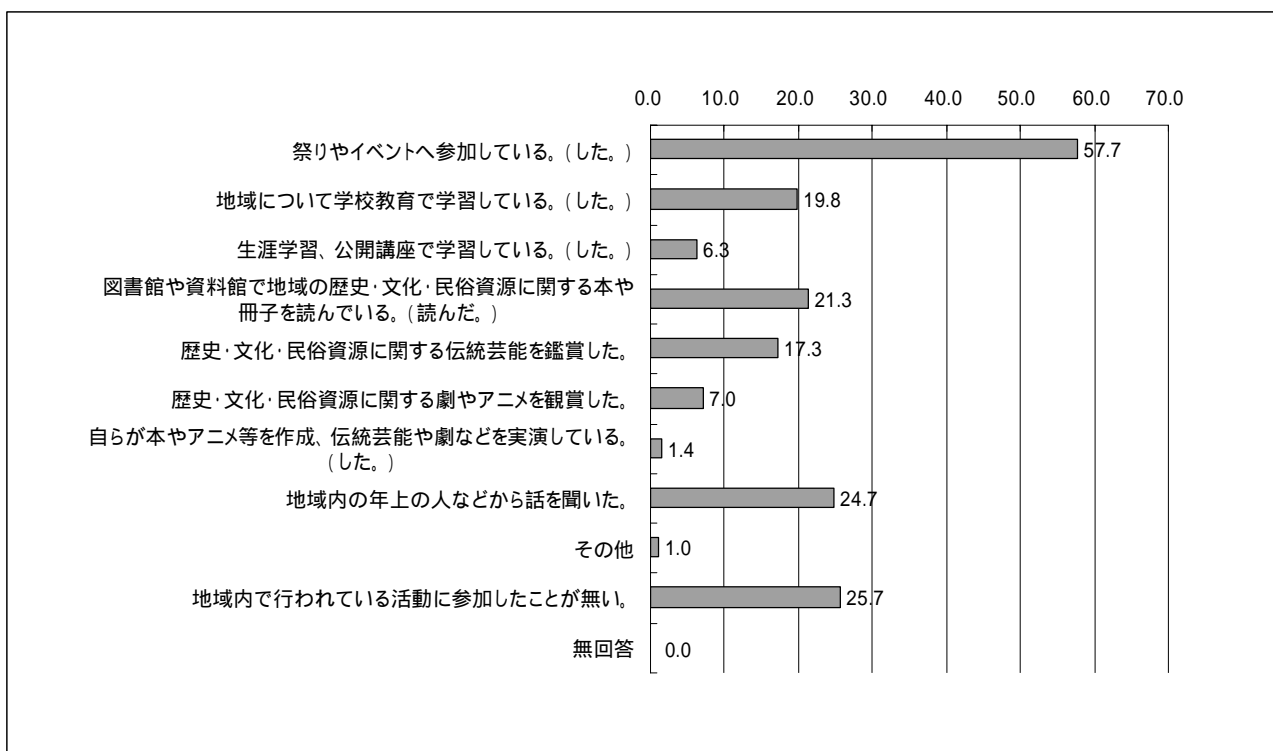
	全体	19歳未満	20～39歳	40～59歳	60歳以上
地域のことをよく知らないため。	134 (32.1%)	4 (20.0%)	112 (37.5%)	18 (19.4%)	0 (0.0%)
地域の誇りとなるような歴史・文化等の資源がないため。	130 (31.2%)	7 (35.0%)	73 (24.4%)	47 (50.5%)	3 (60.0%)
地域のことに関して興味が無いため。	131 (31.4%)	8 (40.0%)	95 (31.8%)	26 (28.0%)	2 (40.0%)
その他（自由記述）	22 (5.3%)	1 (5.0%)	19 (6.4%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)

【男女別】

	全体	男	女
地域の歴史・文化に対して「誇り」を持っている。	134 (32.1%)	71 (31.0%)	63 (33.5%)
地域の歴史・文化に対して、やや「誇り」を持っている。	130 (31.2%)	75 (32.8%)	55 (29.3%)
どちらでもない。	131 (31.4%)	72 (31.4%)	59 (31.4%)
地域の歴史・文化に対してあまり「誇り」を持っていない。	22 (5.3%)	11 (4.8%)	11 (5.9%)

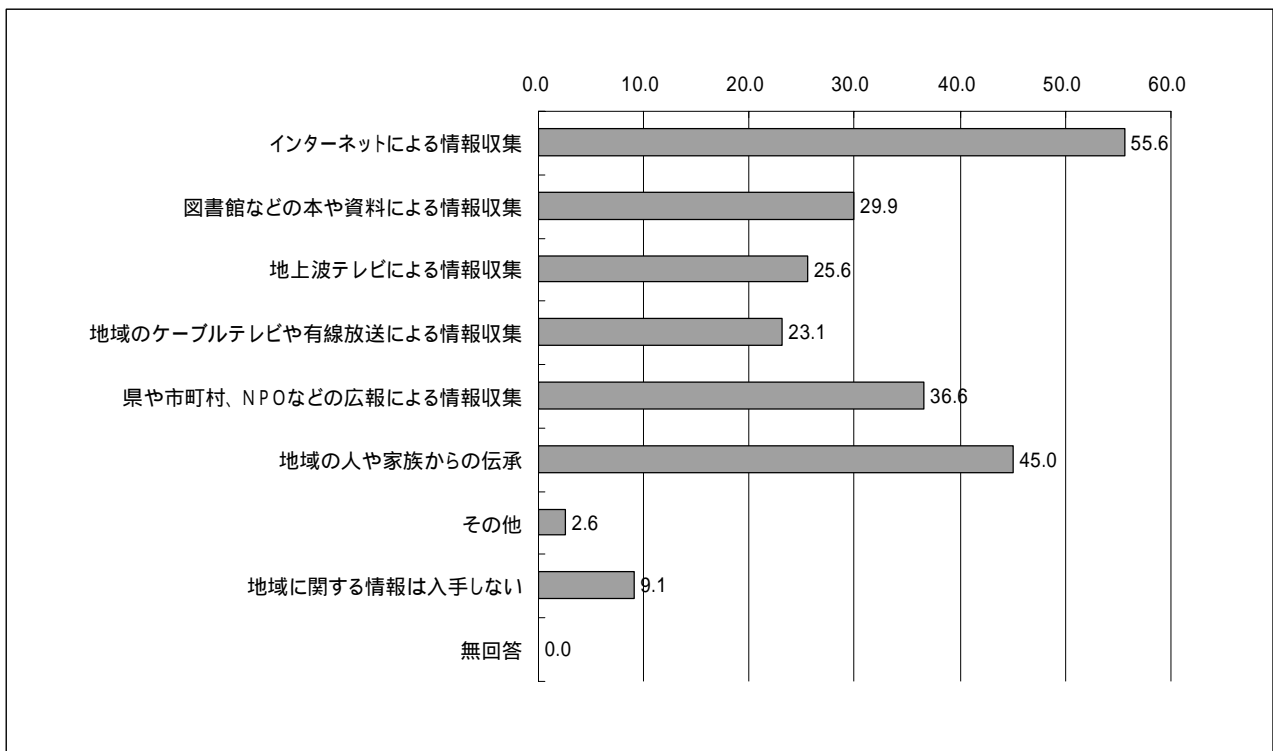
Q9 地域内で行われている様々な活動への参加状況についてお聞きします。以下に挙げる項目のうち、あなたが現在参加している、または以前参加したことがある項目をすべて選択してください。(MA)

	全体
祭りやイベントへ参加している。(した。)	1482 (57.7%)
地域について学校教育で学習している。(した。)	508 (19.8%)
生涯学習、公開講座で学習している。(した。)	162 (6.3%)
図書館や資料館で地域の歴史・文化・民俗資源に関する本や冊子を読んでいる。(読んだ。)	547 (21.3%)
歴史・文化・民俗資源に関する伝統芸能を鑑賞した。	445 (17.3%)
歴史・文化・民俗資源に関する劇やアニメを観賞した。	180 (7.0%)
自らが本やアニメ等を作成、伝統芸能や劇などを実演している。(した。)	37 (1.4%)
地域内の年上の人などから話を聞いた。	635 (24.7%)
その他(自由記述)	26 (1.0%)
地域内で行われている活動に参加したことがない。	660 (25.7%)



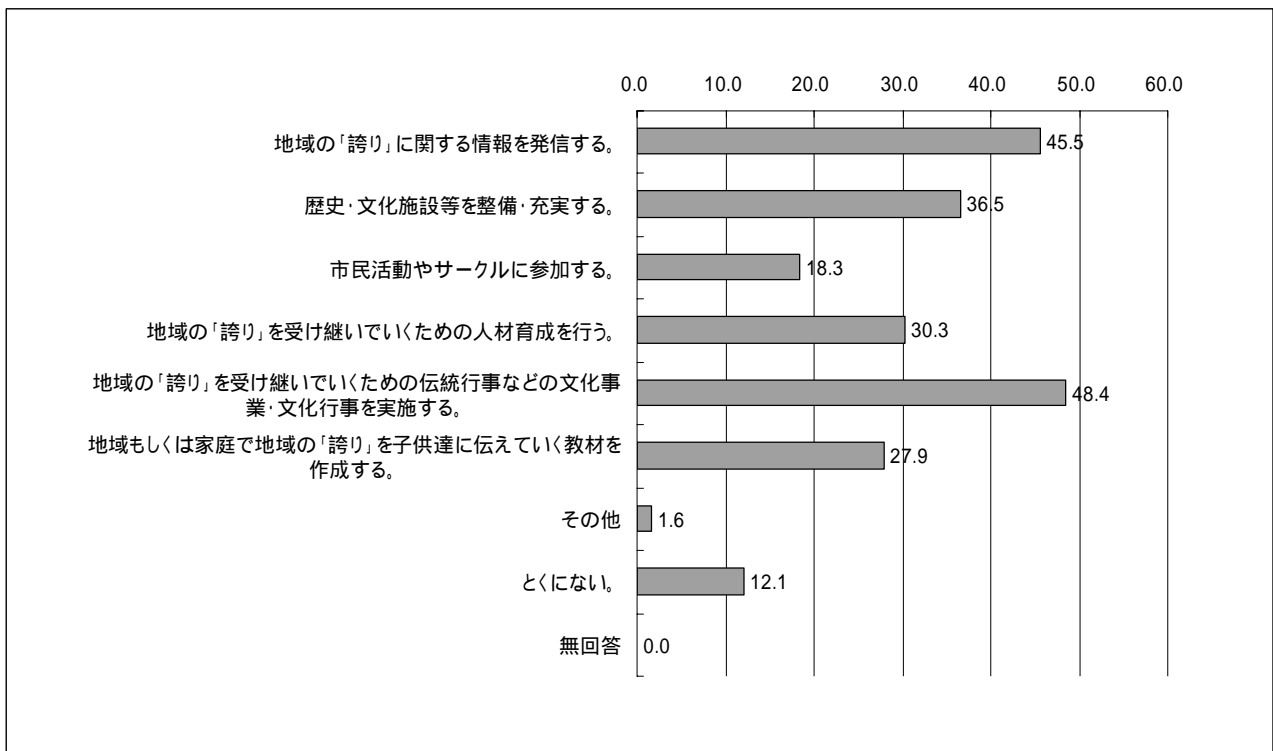
Q10 あなたがお住まいの地域に関する情報を入手する方法について、以下の項目から当てはまるものをすべて選択してください。(MA)

	全体
インターネットによる情報収集	1429 (55.6%)
図書館などの本や資料による情報収集	769 (29.9%)
地上波テレビによる情報収集	657 (25.6%)
地域のケーブルテレビや有線放送による情報収集	593 (23.1%)
県や市町村、NPOなどの広報による情報収集	940 (36.6%)
地域の人や家族からの伝承	1156 (45.0%)
その他(自由記述)	67 (2.6%)
地域に関する情報は入手しない	233 (9.1%)



Q11 地域に伝わる歴史・文化に「誇り」を持つために必要なことは何だと思いますか？以下から重要であると考えられるものを3つ選択してください。(MA：3)

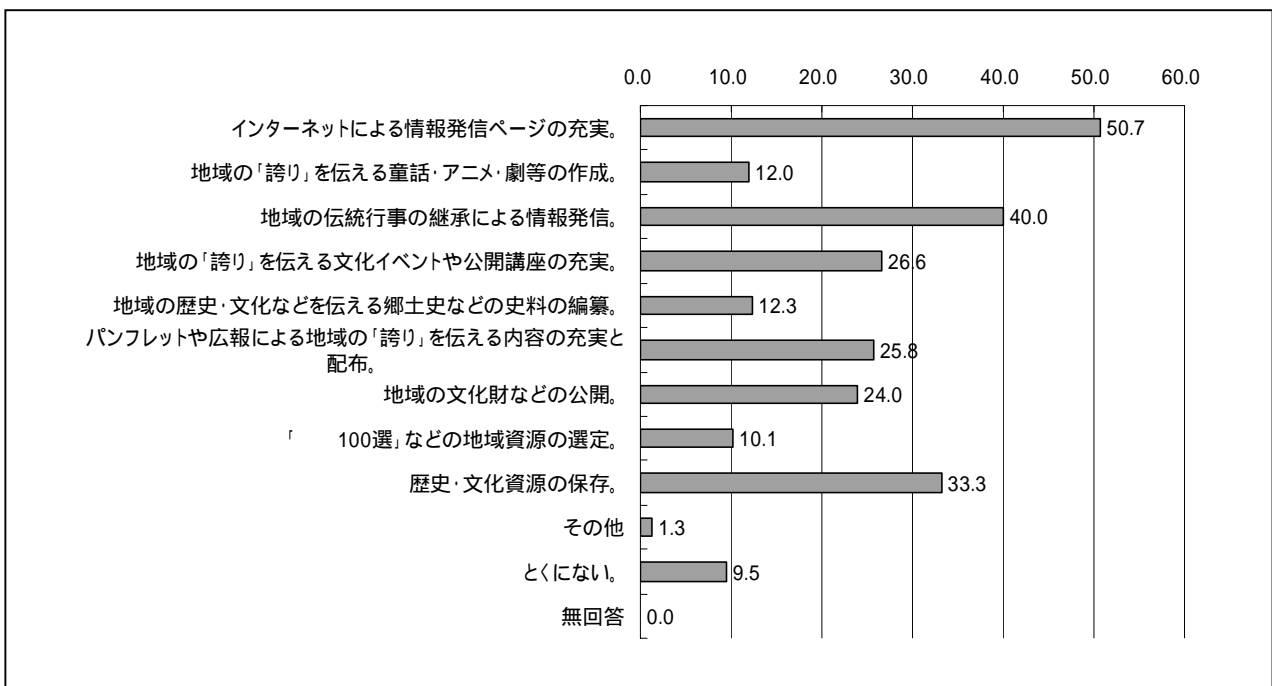
	全体
地域の「誇り」に関する情報を発信する。	1169 (45.5%)
歴史・文化施設等を整備・充実する。	938 (36.5%)
市民活動やサークルに参加する。	471 (18.3%)
地域の「誇り」を受け継いでいくための人材育成を行う。	778 (30.3%)
地域の「誇り」を受け継いでいくための伝統行事などの文化事業・文化行事を実施する。	1243 (48.4%)
地域もしくは家庭で地域の「誇り」を子供達に伝えていく教材を作成する。	716 (27.9%)
その他(自由記述)	40 (1.6%)
とくにない	311 (12.1%)



Q12 地域の「誇り」となるものについて、市町村や県、国が地域内の住民へ情報発信していく上で必要なことは何だと思えますか？以下から重要であると考えられるものを3つ選択してください。

(MA：3)

	全体
インターネットによる情報発信ページの充実。	1301 (50.7%)
地域の「誇り」を伝える童話・アニメ・劇等の作成。	308 (12.0%)
地域の伝統行事の継承による情報発信。	1026 (40.0%)
地域の「誇り」を伝える文化イベントや公開講座の充実。	682 (26.6%)
地域の歴史・文化などを伝える郷土史などの史料の編纂。	317 (12.3%)
パンフレットや広報による地域の「誇り」を伝える内容の充実と配布。	662 (25.8%)
地域の文化財などの公開。	617 (24.0%)
「100選」などの地域資源の選定	260 (10.1%)
歴史・文化資源の保存	856 (33.3%)
その他(自由記述)	34 (1.3%)
とくにない	244 (9.5%)



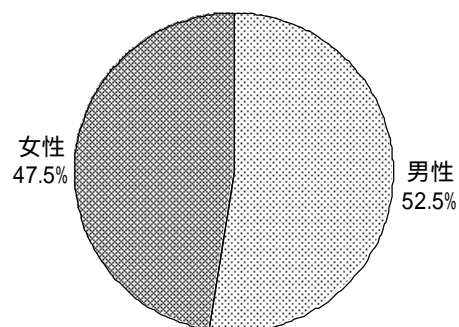
Q13 地域の誇りによる地域づくりへのあなたの参加意向についてお聞きします。あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください（SA）

	全体	A	B	C	D
地域の誇りによる地域づくりが必要であり、そのような取組みに参加したい。	872 (34.0%)	179 (34.8%)	326 (31.7%)	186 (36.0%)	181 (35.7%)
地域の誇りによる地域づくりは必要だと思うが、参加は難しい(したくない)。	1529 (59.5%)	307 (59.6%)	640 (62.1%)	294 (57.0%)	288 (56.8%)
地域の誇りによる地域づくりは必要ない。	119 (4.6%)	21 (4.1%)	46 (4.5%)	24 (4.7%)	28 (5.5%)
その他(自由記述)	48 (1.9%)	8 (1.6%)	18 (1.7%)	12 (2.3%)	10 (2.0%)

フェイスシート

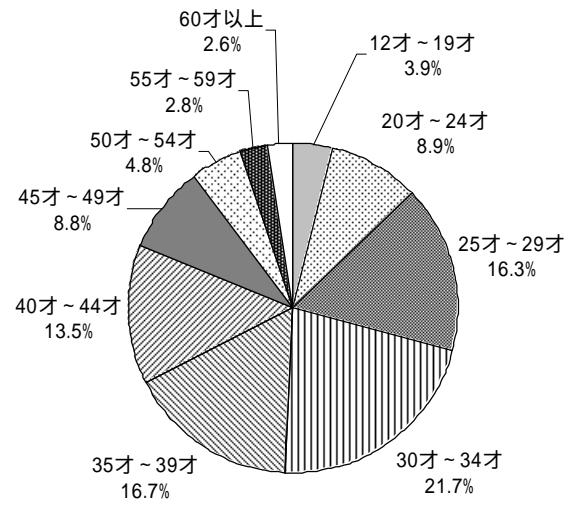
性別

属性：性別(N=2568)



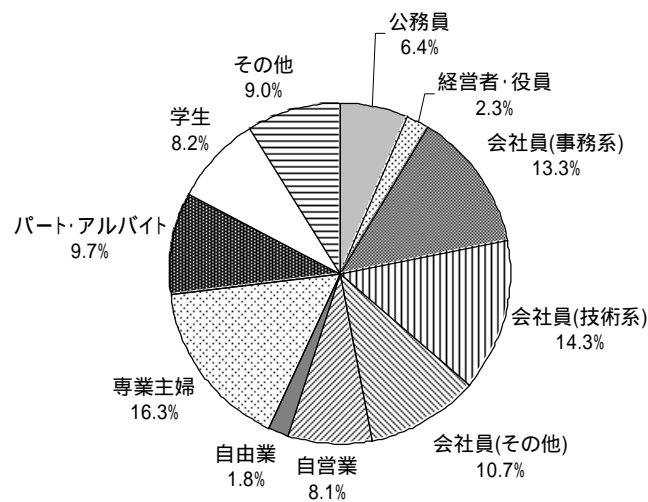
年齢

属性: 年齢(N=2568)



職業

属性: 職業(N=2568)



【モデル地域ヒアリング調査結果】

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	笠岡市教育委員会生涯学習課 白石踊会 笠岡市政策部協働のまちづくり課	ヒアリング日時	H17.12.12
地域プライド名称・内容	白石踊り	<ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市白石島に古くから伝わる盆踊り・回向踊り。島民の暮らしと密接に結びついており、白石島の文化を代表するものの一つである。 ・最大の特徴は、一つの口説き（音頭）に合わせて何種類もの踊りを踊る点であり、現在では13種類の踊りが伝わっている。それぞれ衣装や所作が異なった踊りが、一つのリズムに溶け込んで調和を生み出すさまは、動的かつ優雅でありながら、どこか哀調を帯びた印象も与える。 ・白石踊りは、先祖供養の年中行事として踊る以外に、干魘の年に行う雨乞い・雨喜びの感謝踊りとしての役目をもつ。また、近年では浜辺で観光客のために踊ったり、島外へ招かれて公演したりする機会も増えている。盆踊りとしての白石踊りは、新暦の8月14日～16日の夜に行われている。かつては島民の大きな娯楽の場であり、老若男女が夜を徹して踊ったという。 ・踊りの起源は、瀬戸内海で行われた源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったと言い伝えられるが、讃岐・塩飽本島に発生した念仏踊りが形を変えて江戸自体に伝わってきたとする説もある。 ・白石踊りの音頭は多数あり、最盛時には60余種の唄があったともいうが、今日では20余種の唄が伝わっている。 ・島民は「白石踊会」を結成し、踊りの保存伝承に努めている。また、島内の学校では授業の中に白石踊りを取り入れて学習している。 ・昭和51年に国指定重要無形民俗文化財指定された。 	
ヒアリング内容	市役所の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・観光イベントの振興と文化財保護・普及の側面からバックアップ ・産業部産業振興課では、観光イベント事業補助金（年額15万円）、観光パンフレットの作成、白石踊り関連行事（白石踊会が主催し、笠岡市観光連盟（産業振興課が事務局）が後方支援するもの）の後方支援を行っている。 ・後方支援する行事は、浜辺の踊り（踊り鑑賞）、踊り体験会（白石踊りの普及と「島の盆」でも踊り手を養成する）、鑑賞体験ミニツアー（踊り体験・踊り鑑賞）、島の盆&白石踊りツアー踊り体験である。後援は笠岡市、笠岡市教育委員会、笠岡市観光連盟、三洋汽船株式会社である。 ・教育委員会生涯学習課では、笠岡市重要無形民俗文化財保存事業補助金（年額10万円）、文化財解説冊子での紹介、市内外の問い合わせ窓口、その他イベント出演や事業などの仲介を行っている。 ・基本的に白石踊会が中心となった活動で、市役所はバックアップする形である。市外の人々に白石島に来てもらうにはどうPRすればよいのかが現在の課題である。 白石踊りの誇りとして考えられる内容 <ul style="list-style-type: none"> ・源平合戦の慰霊から始まったと伝えられ、盆行事や青年会のメイン活動であったが、組織として守っていきこうということから約80年前から白石踊会を結成している。 ・島自体には見物が何もないので、夏場の土曜日には観光客に見てもらっている。 ・会は30～40人だが、盆には島外からの帰省者にも踊りに加わってもらっている。 ・踊り手により踊り方が異なる特徴があり、音頭、太鼓の役割は重要である。年代順の役割決めがあり、厳しさも大きい。そのしきたりに乗り切れないと脱落してしまう。 白石踊りがなぜ伝承されてきたか <ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の変化が踊りの保存に動いた。 ・白石島は、もとは漁業で生計を立てており、江戸時代は網元の力が強かった。白石踊りは、島では「唯一の娯楽」であり、かつてはもっと「プライド」があったのではないか。 ・無形文化財としての踊りと美しい自然景観がいまわっているところがある。 ・衣装は踊り手によって異なり、どれも美しいが、かつては地味だったものを大阪万博出場の際に見栄えのよいものを求めた結果である。海岸の風景と一体に評価されている。 ・沖縄県内の踊りは様々な流派に分かれてしまい、一体になれない欠点があるというが、白石島の場合は集落を囲むように山があり、集落が1箇所しかないため流派が分かれようもなかった特徴がある。 市民への浸透 <ul style="list-style-type: none"> ・島民ならば誰でも踊ることができ、島外の高校進学までに身につけるべきものとして認識されている。 ・白石島内で授業として取り入れている。幼稚園 小学校、小学校 中学校の連携の形で、総合学 		

	<p>習の一環として行われており、会のメンバー6～7人が教えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムは会で工夫して設計しており、小学校低学年で男子は笠踊り、女子は月見踊りを学ぶ。小学校高学年で男子は男踊り、女子は扇踊りを学び、難易度がだんだん上がっていく。 ・生徒の向上心は強く、太鼓や音頭は立候補で選んでいるくらいである。後輩の手本になろうという気持ちも大きいようである。白石踊りが上の世代を敬う精神を育てているのかもしれない。 ・伝承は難しいものであり、小さな頃から教え込むことが重要である。 <p>その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜辺の踊り...夏場の土曜日には観光客に見てもらっている。 ・踊り体験会...白石踊りの理解者を増やす取り組み。参加世代は小学生から高齢者まで様々。研究専門家も体験に来る。念仏踊りがルーツではないかと、藤沢念仏踊りの一行が参加したこともある。 ・展示施設ではなく、ビデオテープ、CDの発行を行った。 <p>「重要文化財」についてどう感じているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財の指定が足かせにはなっていない。島の人々はこれまでの積み上げなので何とも思っていない。むしろ島の外の人の方が「多くの人々に見に来てもらわない」と余計な心配をしている。 ・重要文化財に指定されると、変容ができなくなり将来に継承できなくなる問題がある。現在のところ観光客向けに変容を強いられてはいない。太鼓などでワシントン条約に抵触した動物を利用するなどして素材を変更させられてしまう制約があるが、白石踊りでは太鼓でこうした制約が起こりうるかもしれない。 <p>「誇り」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リオのカーニバルや阿波踊りと違い、踊りを島の外へ広げてはいない。「知りたければ来るべき」との長老の考えを尊重しているからではないか。 ・オペラ等普遍的なものはどこへ出前してもよいが、地形、浜辺、月、季節など固有要素がある。 ・「祭り」など舞台招へいがあれば参加するが、「月」を舞台に用意してもらうなど注文している。 ・疑似空間による舞台のアイデアが考えられるが、人手不足で発想にも至っていない。 ・白石踊りを舞うことにより度胸、プライドがつくところがある。「私は白石島」と自信を持って言えるようになっている。 ・白石踊りを舞っても、参加者からは「海が見えない」という苦情がある。
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は「地域プライド」、「誇り」と大きく意識しているわけではないが、これまでの生活、活動の積み重ねが外部から見て「地域プライド」になっているといえる。 ・地域プライドの浸透地域は小さな範囲であるが、地理・歴史的ないきさつから広く伝搬することは考えにくい例である。 ・地域おこしのために地域プライドを持ったのではなく、地域プライドが地域おこしを促した形である。 ・「重要文化財」の優位性は地域内の人々には誇りや負荷ではなく、むしろ外部の人々に効果をもたらしている。 ・市役所が表だって振興活動をしてはおらず、地域プライド創発による地域おこしのあり方について、市町村の枠組みでの推進が必ずしも適当とは限らないことを示唆しているのではないかと。



白石踊会発行のビデオテープ、CD-ROM と笠岡市発行の白石島観光パンフレット。
パンフレットでは、白石踊りは最初に紹介されている。



白石踊りの伝承者養成テキスト

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	総社市教育委員会生涯学習課 市民劇団「温羅」	ヒアリング日時	H17.12.13
地域プライド名称・内容	鬼ノ城 <ul style="list-style-type: none"> ・663年に唐・新羅に白村江で大敗した日本は北九州から瀬戸内沿岸、畿内にいたる防衛陣地の構築を図った。鬼ノ城もそうしたものの一つと考えられている。現在は西門、角楼などが復元され当時の様子をうかがわせている。 ・また、鬼ノ城には温羅伝説があり、市民劇団や備中温羅太鼓などが心のよりどころとして活動している。 	もう一つの温羅伝説 <ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる「桃太郎伝説」は吉備津彦命の鬼（温羅）退治にかかわる視点であるが、逆に滅ぼされた側からの視点で温羅を扱っている。 	
ヒアリング内容	<p>地域の誇り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もう一つの温羅伝説」は大和朝廷の歴史から見ると逆の立場で、滅ぼされた側から見た伝説である。 ・市民劇団の他に小説やアニメでも取り上げられており、広く認知されている。 ・古くから地名が残っているなど伝説として語り継がれてきたが、鬼ノ城が発掘されたことで市民により親しみをもち広まったのではないかと。 <p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹下内閣時の「ふるさと創生資金」で、まちおこしのグループが“鬼”をテーマにしたイベントを始め、後に温羅伝説をテーマにしたミュージカルの実施、市民劇団「温羅」の結成へ至った。 ・ミュージカル、劇団ともに「好きな市民の寄り合い」で市民を対象にした活動である。鬼をテーマにしたオリジナルな脚本を制作し、それなりのレベルで活動している。入場料は700～1000円程度集めている。 ・劇団内には「自分たちでやる」との思いが強いが、継続が難しく最盛期で130人いたが今は減っている。 <p>誇りが受け継がれてきた背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては伝説に過ぎず「謎」であった。地名が残っていることや、「滅ぼされた人」が近くにいたという親近感、吉備津神社をまつる人は地元女性という取り組み、などで偲ぶことができる程度であった。 ・昭和50年代に伝説を裏付ける発掘が行われ、鬼の城の遺構が分かりだしてから、人々に誇りが広まったのではないかと。 ・市民劇団「温羅」が活動しやすい市民ホール（1000人収容、照明費は安く負けてもらえた）があったことも大きい。 ・これまでの「鬼伝説」と「もう一つの温羅伝説」を併記したパンフレットを岡山市や倉敷市と共同で制作していた。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の視点で見るとマイナーな逆の立場での内容であるが、市民に広く浸透しているようである。 ・誇りとなる「伝説」を裏付ける建造物の遺構が出土したタイミングの良さも地域プライド創発に一役買ったと考察できる。 ・まちおこしの必要性から、地域プライドへ結びついた形での地域づくりの一例である。 ・まちおこしから地域プライドが育まれたため、地域プライドを絶やさないための誘導、支援が求められる。 		



総社市の市勢要覧（左上）でも温羅伝説や市民の活動が大きく取り上げられている。桃太郎伝説との比較による紹介冊子（右下）もわかりやすくまとめられている。



鬼城山と復元された鬼ノ城西門

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	高梁市中央公民館（山田方谷生誕 200 年記念事業実行委員会）		ヒアリング日時	H17.12.14
地域プライド名称・内容	山田方谷	江戸時代末期から明治時代初期の漢学者、備中松山藩士。藩主板倉勝静のもとで藩政改革を断行し、大きな成功を修め、勝静が幕府の老中となると、その政治顧問として幕政にも関与した。また、多くの子弟を教え、備中松山藩を支えた多くの人々を育て、河合継之助のように他藩から来遊する者も多かった。方谷自身は明治維新を境に教育に専心し、世に出ることを拒んだが、その思想、手法、人材は次世代の大きな財産として残された。		
ヒアリング内容	<p>誇りとして特に注目される理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備中松山藩の財政改革は功績の一つであるが、今は自治体の財政難がいわれる時代であり、世間から注目されやすい環境でもある。 ・藩政改革はさまざまなアイデアが取り入れられ、弟子も方谷を助けていたこと、備中くわを米軍艦で運搬し江戸で直接販売を実施したこと、雇用促進のために吹屋銅山を購入したこと、米中心から貨幣を基本とする社会に気づいたこと（藩札焼き討ちのパフォーマンス）当時個人技だった銃を用いて集団戦や訓練を実施したことなどがあげられる。 ・方谷自身は『「1000 年前の政治は今も通用する」と信じてそれを行っただけ」としているが、これは学者（理財家、陽明学者）としての山田方谷こそが成し遂げたことである。 ・山田方谷自身の著作は非常に少なく、後の名言で本人をたどるのみである。逆にこれが後に人々の注目を集める形となったかもしれない。 ・弟子は後に私塾を経営し、山田方谷の教えを広めている。本人のリタイア後も常に弟子を気遣うなどしている。 ・今年は山田方谷生誕 200 年であり、記念事業が執り行われた。 ・大正 15 年に高梁方谷会が発足し、県内でも別の研究会や没地（新見市）でも様々な顕彰の会があり、昔から根強く語り継がれている。市民も山田方谷を皆知っているが、どういう人物でどういう功績を残したかは詳しくは浸透しておらず、記念事業は方谷の教えや学ぶべきところを広く周知する狙いもあった。記念事業の一つであるパネルディスカッションは満員であった。 <p>記念事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習観光事業（テーマ：方谷さんを今に生かそう）...基調講演とパネルディスカッション、方谷さんのゆかりの地等を訪ねて ・フィルムコミッション事業（テーマ：方谷さんを探そう）...市内の小学生とその保護者を対象に方谷ゆかりの地・物等を探し、写真屋ビデオに納め、コンテストを実施する。 ・山田方谷印譜集の発刊事業...方谷の印影が 38 種類保存されており、その印譜集を発刊する。 ・まんが「山田方谷伝記」の発刊事業...山田方谷の生涯を漫画で紹介する。 ・漢籍目録の発刊事業...高梁市図書館に所蔵している藩校関係の漢籍目録を発刊し、今後の研究資料とする。 ・山田方谷カレンダーの発刊事業...平成 17 年のカレンダーを作成し山田方谷を広く顕彰する。 ・山田方谷生誕 200 年・アンデルセン生誕 200 年記念事業 ・第 4 回藩校サミット in 高梁（記念フォーラム、研修視察）...900 名参加 ・山田方谷シンポジウム ・こども映画塾...市内の小学生高学年を対象に、映画コンテストを実施する。 ・山田方谷記念碑の建立...方谷生誕 200 年を記念して、市内に記念碑を建立する。 ・山田方谷顕彰コーナーの設置...顕彰コーナーを設置し、方谷を広く紹介する。 <p>記念事業の狙い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田方谷生誕 200 年にあたり、山田方谷の思想を掘り下げ、その深い想いと大いなる足跡をたどることにより、現代が抱えている種々の社会問題を解決していくための糸口を見だし、本来の人間の生き方、考え方を学ぶ必要がある。 ・記念事業を実施することにより、山田方谷を顕彰するとともに、全国への情報発信、観光学習による創造学習と交流促進を図ることができる。 ・高梁市においても今までとは違った形での新しいまちづくりの一步を踏むことができる。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高の副読本で「郷土の人」として山田方谷が取り上げられている。 ・記念事業で発刊されたマンガも総合学習で教育に取り上げられている。 ・山田方谷を顕彰する唱歌もある。 ・高梁市は歴史的風土を重んじているところであり、武家屋敷、商家の町並みでも昔ながらのただずまいを残す自主的な動きがある。 ・山田方谷については新聞記事などでも多数取り上げられており、方谷の精神から地域再生へのア 			

	アイデアを探る座談会なども行われている。
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域プライドの対象人物が地域に多大な貢献を行ったことや、足跡や功績柄（弟子の存在、幕末動乱期の活躍）対象人物自体が研究対象になっていることもあり、誇りをより強くしていると考えられる。 ・記念事業を通じて、「地域プライドを生かしたまちおこし」、「まちおこしを通じた地域プライド創発」の両方が行われており、官民の役割分担、貢献が相乗している。 ・地域プライドの対象人物が「藩」で語ることができ、他藩でも異なった特徴的な地域プライドが存在しうることから（例：藩校サミット）他地域での地域プライドと併存することでより浸透、創発が可能ではないかと考えられる。



山田方谷生誕 200 年記念事業等で発行された、山田方谷を顕彰する各種の出版・印刷物。地域の誇りとしての大きさと地域づくりの意気込みが伝わる。



高梁市郷土資料館前に建つ山田方谷像

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	松江市教育委員会玉湯分室		ヒアリング日時	H17.12.01
地域プライド名称・内容	<p>日本一の古代の玉の生産地</p> <p>「出雲国風土記」に記されるなど、古い歴史を持つ玉造温泉</p>	<p>出雲は古代において、わが国有数の玉生産地で、全国各地へ供給された。弥生時代から平安時代まで長期にわたり玉作りを行った。その中心が松江市玉湯町の花仙山周辺であった。この山は、古代が好んで玉の材料とした緑色の石、碧玉の産出地であり、ほかにもメノウを産出する。花仙山の周辺には、勾玉や管玉など各種玉類生産した70箇所を超える玉作り遺跡が分布している。3箇所が国史跡に指定され、そのうちの一つは出雲玉作史跡公園として整備されている。めのう細工は、江戸時代の末期に若狭から技術を導入してはじまり、現在も出雲みやげとして珍重されている。</p> <p>玉造温泉は、わが国でも最古の温泉であり、奈良時代の中ごろに編纂された「出雲国風土記」には、すでに「川辺の出湯」として記されている。たくさんの人々にぎわい、お湯につかると誰もが美男美女になり、すべての病が治るとされ、人々から「神の湯」と呼ばれていた。平安時代の「枕草子」にも、ありまの湯、ななくりの湯とともに、遠く都にも聞こえた温泉であった。江戸時代には、湯治場として、近郷近在の人々で繁盛した。松江藩から「湯之助」役が温泉管理者として委嘱され、元湯や公衆浴場の維持、旅籠の統制に心血を注いだ。松江藩の別荘「御茶屋」も置かれ、たびたび藩主が静養に訪れた。現在も全国各地からの入湯客で賑わっている。</p>		
ヒアリング内容	<p>玉作りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生末期から平安期にかけて日本で最も盛んに行われていた。 ・古代においては玉の材料として緑色の石が好まれていた。 ・勾玉は三種の神器の一つともなっているが、同じ出雲地方で発掘された銅剣、銅鐸など比べると存在感は薄いように思われる。 ・玉作資料館は地元小中学生の課外学習の場として利用されているほか、出前授業なども実施している。また小学校の文化祭で勾玉作りのワークショップなども行っている。 <p>副読本について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副読本「玉湯なんでも大辞典」を平成12年に制作し、旧玉湯町の風土、歴史、文化、産業などを分かりやすく読みやすい形にまとめて各学校に配布している。教員が執筆し、教育委員会で取りまとめた。 			
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・対外的には玉造温泉の名前が有名であり、玉作りの歴史はそれに比べて認知度は低いように思われる。 			
特記事項	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉は知名度もあり、ある程度浸透しているが、「玉造」の名の由来でもある、古代からの玉の生産地という産業的な面をいかにPRするかが課題。 			

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	松江市市長室政策企画課 松江市観光振興部観光文化振興課	ヒアリング日時	H17.12.01
地域プライド名称・内容	お茶文化の継承	松江藩七代藩主であった松平不昧公が、一般庶民にも楽しめるようなお茶の文化を広め、現在でも市民生活の中でお茶が身近な生活文化として根付いている。一般企業などでもお茶を出す際には抹茶を出すところもあり、三時のお茶がごく一般的なこととして定着している。お茶の流派も武家流の独特のものが受け継がれている。また、お茶文化の発展とともに和菓子の技術も発達し、京都・金沢と並ぶ三大菓子どころとして知られている。市内には和菓子店が多く、街のいたるところでお茶とお菓子をいただくことができる。	
ヒアリング内容	<p>お茶文化の継承について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【松江城大茶会】地元新聞社が主催し、市内の各流派が集い一般市民や観光客が広くお茶を楽しむことのできるイベント。 ・【不昧公好老舗めぐりツアー】市内の茶舗、和菓子店が協力し、バスツアー客向けの一服サービスを提供。個人旅行者向けにもお茶をセットにしたまち歩きを提案。 ・【和菓子モダンプロジェクト】松江の和菓子をニューヨークへ出品。新しい視点からのブランドづくりを進めている。 ・【駅前観光案内所への茶室設置】観光案内所に茶室を設置。地元高校生が課外活動としてお茶たてに利用。 ・【総合学習でのお茶の授業】小学校での総合学習としてお茶を授業に取り入れている。 <p>その他、地域の歴史・文化の継承について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事「鑿（どう）行列」を旧市内の13町会が主体となって継承している。マンション居住者など新規の住民の参加に対しても積極的である。 ・12年に一度の神事「ホーランエンヤ」の記録・ビデオ化（伝統芸能育成協議会） ・小泉八雲に関する文化・歴史の継承として子供向けに本の読み聞かせや、下駄を履いて松江大橋を渡るイベントを実施。 		
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶文化が継承されてきている背景として、庶民が楽しめるお茶のスタイルで市民生活に深く根付いたものであったことが考えられる。その他、高度成長期においても他都市に比べ緩やかな経済発展を歩んできた点や、国際文化観光都市としての市民の意識なども、お茶文化の継承を支える背景として考えられる。 ・観光都市でもあり、お茶・和菓子の文化の継承は観光と深く結びついている面もある。 ・「出雲」という切り口で見ると、出雲市や雲南市などと比較して出雲文化の色は強くない。松江の都市としての起源は宍道湖周辺の沼地を開拓したことに始まっており、歴史的蓄積は江戸期以降の城下町のものが主である。ただし、市郊外の丘陵部には弥生期の古墳も多くあり、古代出雲文化の一端を担っている面もある。 		
特記事項	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源は全国レベルのものがあるが、交通インフラ整備の遅れ、地理的条件等により、潜在型観光地となっている側面がある。 ・宍道湖の景観や古くからの街並みなど、地元にながらその良さに気がつかない人は多い。観光都市であり、また、官公庁の出先機関や企業の支店もあることから外部からの人の出入りが多く、地域を見る客観的な視点は得やすい環境にあると言える。外部からの視点を地域プライドの醸成に活かしていくことが求められる。 <p>(新たな取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲地域の市町が連携し、官民協働による「神話の国 縁結び観光協会」が立上げられた。「縁結び」をテーマに地域の新しいイメージづくりに取り組んでいる。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	雲南市政策企画部政策推進課 雲南市教育委員会生涯学習課	ヒアリング日時	H17.12.02
地域プライド名称・内容	出雲神話伝承の地	斐伊川流域を中心にやまたのおろち神話の地や古代出雲王国を裏付ける史跡が発見されている。やまたのおろち神話では、おろちの潜んでいた場所や酒を呑んだ場所など多数の地が現存するとともに、その伝承に基づく神楽が盛んな地域である。	
	神楽の伝承	出雲市大社地域などに見られる神職による神楽とは異なり、民による神楽が市内各所に残っている。子供による神楽も盛んに行われており、保育所や中学校での部活動として行われているところもある。	
	たたら製鉄	吉田町（旧吉田村）を中心に、古くからたたら製鉄が盛んに行われてきた。また、製鉄に関連して林業なども盛んであり、地区の住民意識も市内の他地区とは異なり、たたら製鉄などの産業に関する部分が大きい。	
ヒアリング内容	<p>地域プライドの背景等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲南市、奥出雲町などの斐伊川流域はヤマタノオロチ伝説など、出雲神話の中でも最初の重要な部分を占めており、同じ出雲地域の中でも出雲大社に代表される平野部のエリアとは異なる、独自の意識が住民の中にある。 ・斐伊川が流れ、なだらかな山々がひろがるなど、地域内に地理的な共通点があり、共通の地域イメージがある。 ・吉田町地区（旧吉田村）は山に囲まれた地理的条件や、たたらなどの産業があったことなどから、とりわけ独特のイメージ・意識がある。 <p>神楽について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併前の旧6町村それぞれに神楽が残っている。 ・ヤマタノオロチなど、出雲神話にちなんだ演目も多い。 ・本来は農業の合間の娯楽として行われていた。現在では観光的側面も持っている。 ・子供世代に神楽を継承していくため、父・祖父の世代が地域の学校に入って指導している。 <p>たたら製鉄について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たたらによる製鉄技術は、近代製鉄に転換するまで日本の鉄文化を支えてきた。 ・製鉄や、木炭製造のための林業など、地域全体で鉄の歴史と歩んできた。そのため、他の地区とは異なる住民意識を持っている。 ・岡本太郎、司馬遼太郎、宮崎駿監督など、著名人も多く訪れている。 <p>遺跡などの文化遺産について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本古墳群など、出雲大社以前における歴史を示す遺跡へのこだわりがある。 ・加茂町の加茂岩倉遺跡では一度に全国最多の39個の銅鐸が発見され、出雲の古代文化を示す場所となっている。 ・加茂岩倉遺跡では公園を整備中であるが、出土品の現物は東京で保存されていることに対して不満感がある。 <p>永井隆博士（旧三刀屋町出身）の平和の精神の継承について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で最初の国家表彰を授与された永井隆博士を顕彰してその精神を市民の支柱とするため、永井隆記念館を設立。平和教育に活かしている。毎年9月には永井隆平和賞を行っており、全国から作文・小論文の応募が約3,000点ある。 		
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・新市建設計画にも「生命（いのち）と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」と謳われているように、神話が伝えている「日本の原点」としての意識がある。 ・出雲の文化圏の一角を占めながら、周辺地域とは異なる、独自の意識を持っている。ヤマタノオロチなど、出雲神話の初めの部分において、雲南市を含めた奥出雲地方が主な舞台として登場することが大きなプライドとなっている。 		
特記事項	<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出土品などの文化資源が東京で保存されており、地域に現物がないことが課題。 ・一方的にサービス提供するだけの観光振興ではなく、地域の誇りを活かした技術の伝承（たたら製鉄など）をどう進めていくか。 ・高齢化が今後一層進む中で、高齢者の生きがいづくりや子供たちとの交流を図っていく必要がある。ふるさと教育を兼ねた子供たちの居場所づくりなど。 <p>（市町村合併の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併によって交流の範囲が広がり、他町村の民俗・歴史が身近なものになった。 <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を進め、学校給食の食材の7割を地元産のもので賄っている。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	出雲市佐田支所地域振興課 大社支所地域振興課 文化観光部文化財課 教育委員会生涯学習課 政策企画部地域振興課	ヒアリング日時	H17.12.02
地域プライド名称・内容	スサノオ伝説	佐田地域には、須佐之男命を主祭神とする「須佐神社」があり、出雲國風土記にも「須佐之男命がこの地域に御霊を鎮められたため『須佐』という」と記されている。これは、須佐神社への信仰とともに広く住民に熟知されており、また、スサノオにまつわる神話や神楽なども多く残っており、地域住民の心の支えとなっている。	
	出雲神楽	神楽はもともと神職のものであったが、時代とともに庶民による素人神楽へと移り変わっていった。出雲市内にある神楽団体も、それぞれの地域性ある神楽を伝承してきたことで、地域住民の神楽に対する愛着がある。	
	出雲大社	出雲の歴史、文化を象徴する場所である。	
	出雲神話	ヤマタノオロチやスサノオなどは、日本を代表する神話であり、神楽の演目にもなっている。小説、アニメの題材にも使われることもある。	
ヒアリング内容	<p>スサノオ伝説について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧佐田町内にある須佐神社は地域住民の心の支えとなっており、また、各所に残る須佐之男命にまつわる伝説や、神楽とともに現代に受け継がれている。神社の祭りの日には町内の学校は休みになる。 ・昭和63年に、須佐之男命が町のイメージキャラクターとして採用された。神話の神様が行政のキャラクターに用いられることは非常に珍しいことであるが、それほど町民に受け入れられていたということでもある。 ・平成17年で3回目の開催を迎えるスサノオスピリットは、創作芸能としての神楽イベントである。近年、奉納神楽だけでなく、イベント的な側面からも盛り上がってきている。 <p>出雲神楽について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧出雲市内に約15の神楽が残っており、地域に神話が根付いている証として捉えることができる。 ・子供神楽もあり、ふるさと教育として地域の方を講師として学校に招き、指導をお願いしている。 ・旧大社町の大土地地区に伝わる大土地神楽は出雲大社への奉納神楽だけでなく、海外公演なども実施している。 <p>出雲大社について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲大社周辺は車社会化に伴って交通に関する問題も起きている。かつては鉄道駅からのアプローチに沿って参道の賑わいが保たれていたが、大社の西側に設置された駐車場によって参拝客の回遊は大社周辺に限られている。こうした中、神在月に神を稲佐の浜の浜から大社へとお迎えする道「神迎えの道」をクローズアップしたイベント的な取り組みも行われている。 ・合併新市の名称を決めるに当たって、「出雲大社市」も候補として挙がっていた。 <p>出雲神話について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成12年、かつて出雲大社本殿が高層建築であったことを示す柱の跡が境内で発掘された。このように、神話と史実が重なる発見があると、地域にとっての誇りが生まれる。 		
特記事項	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の流出や高齢化により、地域行事の担い手が不足しつつある。小中高生はいても20代からの若い世代が少なくなっている。 <p>(市町村合併の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐田地区の地元の方が座をつくって歌舞伎の公演を行っている。合併により活動機会が広がった。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧大社町では副読本として「雲太のまち ものがたり」を制作し、町内全戸に配布したほか、出雲大社から地区の伝統行事、歴史、風土まで幅広く網羅した「大社まちかど百花」を作成している。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	NPO法人出雲学研究所	ヒアリング日時	H17.12.01
ヒアリング内容	<p>出雲地方の特異性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ズーズー弁が東北と出雲に残っている中、出雲は周辺地域から切り離されたように出雲弁を維持し続けてきた。 ・これは出雲地方の地理的条件、自然環境、歴史的背景とつながりがある。 「負」の文化について ・かつて大きな権力を持って存在していた出雲が中央（大和）の勢力に破れて以降、出雲人の気質には「負」の意識（つまらない自分、つまらない土地といった自虐的意識）がつきまどってきた。 ・敗北以来、出雲は周辺から孤立した地域として歩んできた。閉鎖的・固定的な社会の中では強調と自己抑制が要求され、出雲人の気質が形成されていった。また、この閉鎖性が出雲弁という言葉語を現代にまで残してきた。 ・大国主命を主祭神とする出雲大社は、明治期の伊勢神道への変更に伴い、出雲は再び「負」の側に置かれることとなった。その後、戦後期においても神道への批判などから肯定的に捉えられる機会は少なかった。 神話と史実について ・1984年に斐川町の荒神谷遺跡から358本もの銅剣が出土し、その後も加茂岩倉遺跡での銅鐸の出土など、大きな発見が相次いだ。これらの発見は神話と史実を結びつけ、かつて出雲に何かが存在したことを十分に裏付けるものであるとともに、人々が自分たちの地域を見直し、自身をもつきっかけともなった。 出雲の風土について ・ご当地ソングは全国どこにでも存在するが、出雲を取り扱ったご当地ソングは流行らない。出雲という土地は男女のロマンチズムを表現するには適していない。宍道湖の神々しい夕景が象徴するように、どこか厳粛な空気が漂っている。土地に神々が根付いていることが実感される。 		
ヒアリングまとめ	<p>これからの地域づくりに向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い歴史の中で醸成されてきた出雲人の気質は変わらないが、このままでは地域づくりにとって良いことはない。同じ神話をテーマに地域づくりを進めている宮崎県の高千穂では、PRが大変うまい。もともと控えめであるのが出雲の気質だが、やはり自慢すべきところ、アピールすべきところはアピールしていかなければならない。 ・社会が殺伐としてきている中で、地域の連帯性や人々の気質など、出雲には今になって価値がでてきた資産がたくさんある。日本人の原点のようなものがたくさん残っている。これらの資産を外に対して発信していくことを惜しんではいけない。 ・地域の中に長い間いると、客観的に地域を見る視点が欠けてしまう。外からの評価を取り入れ、そこから自分たちの地域を見つめ直し、学習する仕組みが必要。外と内とをつなぐ人材がいる。 		
特記事項	<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒神谷の遺跡から見える島根半島の山並みの一角に、風力発電の風車建設の計画が持ち上がっている。古代から受け継がれてきた景観の保全と、経済的利益の狭間に地域は立たされている。 		

大分県へのヒアリング

ヒアリング対象	大分県教育庁生涯学習課		ヒアリング日時	H17.11.28
地域プライド名称・内容(アンケートより)	滝廉太郎 (音楽)	竹田市は滝廉太郎が少年時代を過ごした場所である。竹田市では「滝廉太郎記念館」の設置、市内の全ての幼、小、中学校等が参加する「滝廉太郎を偲ぶ音楽祭」、「滝廉太郎記念音楽祭全日本高等学校音楽コンクール」の開催などに取り組み、音楽のまちづくりをすすめている。		
	久留島武彦 (童話の里) (日本のアンデルセン)	日本のアンデルセンといわれ、全国の子どもたちに夢を与え、おとぎ話を語り続けてきた久留島武彦は玖珠町で生まれ育った。久留島武彦の業績を記念して、毎年5月5日に日本童話祭が開催され、現在では「祭りから町づくり」をテーマに童話の里づくり運動に発展している。		
	三浦梅園 (学びの輪)	江戸時代中期の学者三浦梅園は医を家業とし、天地造化に深い疑問を抱き終生その解明に没頭し、条理学と称する一大哲学体系を樹立した。また、梅園は科学者であるとともに天文学、生物学、医学、政治経済学、政治道徳学、文学にまで探求を広げた。梅園の精神は町民の誇りとしてたたえられているとともに、学校教育や社会教育の中で受け継がれている。		
	福沢諭吉 (学問の里)	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。		
	庄内神楽	文献によれば、安永7年(1778年)に社家衆団による神楽の奉納が行われている。大きくわけて伝統を重んじた「阿蘇野地区系神楽」と娯楽性が高い「庄内地区系神楽」二つの流派に分かれ、今では、12の神楽座があり、保育園や高校を含めた町ぐるみで神楽に取り組んでいる。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の歴史的経緯による県民性が存在する。 一般論として、過去の「小藩分立」が地域の文化連携の壁となっている。 ・大分県の南の地方は今回の歴史的な地域プライドの趣旨に合致するものがすぐには浮かばない。 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の県民性の中には過去の歴史的背景(小藩分立)も残っており、地域の文化連携よりは、それぞれの地域での文化継承となっている。 			

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	杵築市総務部総合政策課 杵築市山香振興局地域振興課	ヒアリング日時	H17.11.28
地域プライド名称・内容(アンケートより)	坂道のある城下町	【旧杵築市】 譜代松平藩時代に城下町の形成がなされ、近年、武家屋敷群の修復保存を行い、地域住民はもとより観光客が訪れている。(大原邸、磯矢邸、勘定場の坂、酢屋の坂等)	
	「山香郷」としての民族文化(里神楽、立石楽等)	【旧山香町】 神楽という地域の伝統文化を継承している。	
	どぶろく祭り	【旧大田村】 和銅3年よりつづく地域独自の文化であるどぶろく祭りは、地域住民も認知しており、地域の伝統を大切にしていると考えられる。	
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・文化の継承が3市町村合併の基本的方向性(市全体で取り組むというよりは、それぞれの地域で文化を継承していく) ・国東半島全体では、“おせったい”といわれる行事があり、ふるまいの精神がそこには見られる。 【旧杵築市】 ・開発しにくい地形状況もあり、江戸時代の街並みや街の構成、北台と南台には武家屋敷が今も残っている。 ・坂の町(城下町)としてのイメージが強い(子供～高齢者まで進展している)。 ・坂の町を残そうと、H1より城下町保存基金や条例で建物の意匠(瓦等)の制限をしている。これまで、特に建主からの反対やトラブルはない。 ・坂の町の保全として、まちづくり交付金により、塀・水路・カラー舗装・坂道の整備を進めている。 ・「藩校の門をくぐって小学校に行く」そういうイメージがいいという方もいる。 ・武家屋敷は一般に公開しており、また、小学生が泊りがけで教育に活用されている。 武家屋敷は建物内部も公開しており、住民の方が武家屋敷を通じて、当時の生活文化、価値観、精神等を独自に調べ伝えている。 ・今後、団塊世代の受け入れに関する方策を検討中(「町の手伝いができること」をキーワードに団塊世代の人材活用、民間委託等) 【旧山香町】 ・神楽保存会(山香の上地区)。小学校の中でも、総合学習に神楽クラブがあり、地域の方が来て教えている。教育では、祭りの準備から教えていくことが大切である。 ・少子化による後継者問題。神楽は旧来のなわばり(神社単位)があり、入れる人が決まっている。今後は、ケーブルテレビ等を活用し、公募で他の地域からも入れるようにするのも一つの方策と考えられる。 【旧大田村】 ・どぶろく祭りは県を代表するお祭りで、県内から多くの方が訪れる。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文化が元々しっかりしている為に、合併によっても失われるようなものではない。逆に、合併後もそれぞれの地域で文化を継承していくため、地域間連携は難しい。 ・街全体として歴史的な建物が残っていたことをきっかけに、建物の保全だけでなく地域の人材(リタイア層)を登用し、また、そうした方々は、建物様式だけでなく独自にその生活文化、価値観、精神等まで調べ、観光や教育に活用している。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	安岐町教育委員会		ヒアリング日時	H17.11.29
地域プライド名称・内容	三浦梅園 (学びの輪)	江戸時代中期の学者三浦梅園は医を家業とし、天地造化に深い疑問を抱き終生その解明に没頭し、条理学と称する一大哲学体系を樹立した。また、梅園は科学者であるとともに天文学、生物学、医学、政治経済学、政治道徳学、文学にまで探求を広げた。梅園の精神は町民の誇りとしてたたえられているとともに、学校教育や社会教育の中で受け継がれている。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦梅園は哲学(条理学)、天文学を作った人。杵築藩からの誘いがあったが、安岐町から離れることなく全国に通用する人が町からでたことが地域の誇りとなっている(安岐いながら大勢したというのが大きい)。 ・梅園先生の法要を、今は梅園祭(217回)として行っている。(地域的には、小学校区くらい)(子供が少ないため、地域でやっていた行事をまちで引き受けている) ・梅園先生を称える歌があり、小学校で教えたり、地域の詩吟の会の人々が梅園祭で披露したりしている。(三浦梅園についての歌を地域住民が知っている。資料館の対象は主に観光客) ・合併によってもこのままの形で進めていく。全市的というものにはならない。 ・三浦梅園先生=歴史の時間に地域の人物として学ぶ。小学校の高学年で。東国東に住む人は知っている。 			
特記事項	・地域での独自のものとしての色合いが強く、合併後も全市での取り組みよりは、地域ごとである。			

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	中津市教育委員会		ヒアリング日時	H17.11.29
地域プライド名称・内容	福沢諭吉 (学問の里)	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福沢諭吉記念祭は、昭和37年より44回を数え、全国高等学校弁論大会、近郊小・中学校書写展(国東西、豊前地域123校)を行っている。小中学校でも弁論大会を行っているところもある。 ・蘭学の里中津として、民間の人でも活動している。(郷土史を語る会(公民館で公演もしている)、中津三田会等) ・福沢旧居は保全し一般公開、周辺整備(レストハウス、駐車場整備等)を行っている。 ・市内の小中学生でも旧居にいったこともない人がいる。まず、知ってもらうことから、冒険中津事業(寄付・青少年事業)として福沢旧居をコースに入れている。 ・福沢諭吉の「独立自尊」の精神は、いつの時代にも通ずる精神である。 ・中津藩は教育に力を注いでたということもあり、中津で生まれた人材は多い。(村上元帥、小幡兄弟等) ・福沢諭吉が中津市という認知は低い。(福沢諭吉と中津市が一致して認知してもらえるようにしていきたい) ・福沢諭吉の考え精神を伝えていくため、副読本、諭吉カルタ、ビデオ等を作成し、小中学校にも副読本等配布している。(成人式では、福沢諭吉ストラップをプレゼントしている) ・合併により市域が拡大(約9倍、森林が増え全体の約8割)したことにより、生活圏は当時より一致していたが、福沢諭吉の文化・精神としては、旧中津市と温度差がある(旧中津以外は学校等で福沢の資料(副読本等)もない)。今後は、市全域に拡大していく取り組みを行っていきたい。 ・小学生を対象に、早慶戦を行っている。(佐賀(早稲田の創設者が生まれた地)と中津(慶応の創設者(福沢諭吉)の連携) 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・福沢諭吉は全国的に知名度が高く小学生でも入りやすく、また、その「独立自尊」の精神はいつの時代にも通ずるものであることから、合併後は市全域での取り組み展開(地域プライドの拡大)を行う方向性を打ち出している。 ・ただし、逆に全国区であるために、地域としてのプライド形成(中津としての福沢諭吉)が課題である。 			

宮崎県へのヒアリング

ヒアリング対象	宮崎県地域政策部地域振興課		ヒアリング日時	H17.11.25
地域プライド名称・内容	ひむか神話街道	「神話と伝説のふるさと」といわれる宮崎は、古事記や日本書紀に記されている日向神話をはじめ、歴史ロマンを彷彿とさせる数多くの伝説や史跡にあふれ、歴史資源の宝庫となっている。ひむか神話街道は、神話や伝説に彩られたまちや村をつなぐ道として平成15年6月に誕生した。沿線には、天孫降臨、海幸彦・山幸彦などの神話や平家落人、百済王などの伝説が数多く残されている。		
	椎葉平家まつり	秘境の名にふさわしい椎葉村には、源氏方の那須大八郎と平家の鶴富姫の悲恋の伝説が残っており、毎年11月に二人を偲んで「椎葉平家まつり」が盛大に行われる。3日間にわたって歴史ロマンを再現するこの祭りのハイライトは「大和絵巻武者行列」で、源氏方の騎兵やひえつき節踊り、山法師踊り、椎葉神楽などのパレードが村の中心部を練り歩く。		
	旧後藤家商家交流資料館	幕末に薩摩藩の御用船で財を成した後藤五市の三男伊助とその息子の五兵衛が明治33年に建てたもので、当時は醤油屋や養蚕業が営まれていた由緒ある建造物である。平成13年に道路拡幅工事に伴って撤去されるところだったが、これを契機に、町民が中心となって保存・運営を検討した結果、NPO法人が設立され、移転・修復が行われた。現在は、歴史を偲ばせる貴重品が展示されている。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひむか神話街道による展開は、点としてそれぞれプライドを持って展開しているものを、線としてつなぐことで大きな誇りを作り出し、交流人口の拡大を目的としている。 ・ひむか神話街道は14市町村300km。 ・県北部では、5町村で宮崎県北協議会をH15に設立している。ふれあい案内人やもてなしを通じて地域の歴史・文化に触れるなど、すそ野は広がっていると思うが、中部から南部への展開はこれからである。 ・神話に対して年配者は興味があるが子供は難しい一方、家族や子供に対しては、そこに行かなければ食べられないなど、“食”や“体験”とセットで学ぶ機会を設ける必要がある。 ・今後の展開としては、「歴史を歴史として植えつけるのではなく、体験・食と結びつけて教育していくべきである。 ・ひむか神話街道による展開における県の役割は、基本的にはアドバイザー（調整役）である。 ・支援メニューとしては、過去に個別に支援していたメニューを統合し、今年からスタートした提案型の「元気のいい地域総合支援事業」であり、調整会議に諮り毎年決定していく予定で、平成17年度は11件であった。 ・事業内容は、ひむか街道の環境整備（道路整備、トンネル、標識、広域案内板、50の話、100の話、ひむか街道はH15.6に開通式典を行う）である。 ・ひむか神話街道50やひむか神話街道100の話は、学校の先生が教材として個別に利用している。 ・ひむか神話街道による今後の展開の実現の鍵は、プライドを持って展開している各点（各地域）において、地域ブランドとなるなど展開が強化されることにあると考えている。 			
特記事項	・精神文化をキーワードに、点を線でつなぐ展開。			

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	NPO高城歴史文化のまちづくりフォーラム		ヒアリング日時	H17.11.25
地域プライド名称・内容(アンケートより)	旧後藤家商家交流資料館	幕末に薩摩藩の御用船で財を成した後藤五市の三男伊助とその息子の五兵衛が明治33年に建てたもので、当時は醤油屋や養蚕業が営まれていた由緒ある建造物である。平成13年に道路拡幅工事に伴って撤去されるところだったが、これを契機に、町民が中心となって保存・運営を検討した結果、NPO法人が設立され、移転・修復が行われた。現在は、歴史を偲ばせる貴重品が展示されている。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム会員は60名。 ・高城町一帯は、昔から穀物高が多かったため争いが絶えなかったが、藤原時代に、島津荘を得、それが島津氏の発祥となった。 ・島津の考えである人を持って城と成すが浸透している地域である。 ・旧後藤家商家交流資料館が立地するこの地域は、三股の中心であったため、旧県道沿いはかつては中心街として60～80の商店街通りとして活況を呈していた。 ・旧後藤家商家交流資料館の家屋は、幕末に薩摩藩の御用船で財を成した後藤家(庄屋)14代のもので、中心市街地のシンボリック的存在であったが、県道拡幅により撤去されることとなったため、保存することにより通りを復活させたい、まちの再生の起爆剤としたいという思いからNPOを有志で設立した。 ・現時点での問題点は、資金繰り。 ・資料館の観覧料に加え、経費節約、醤油の販売等を行いつつ、財政支援もいただいているが、財政的に予算が削られやすく、合併で更に加速している。 ・しかし、楽しくやるのが大切ということで、資料館内での「なんこ」大会や落語等の演芸、ヤマハの前身である日本楽器時代のピアノの演奏会等町民の集いの場としても活用している。 ・町民への浸透度合いは高く、アンケートによると、資料館周辺地域では80%以上、高城町北部の地域でも約50%の町民が、旧後藤家商家交流資料館の存在を知っている結果がある。 ・なお、高城町の歴史は、副読本により継承されている。 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ひむか神話街道に位置しているが、争いが絶えなかった歴史を背景としたプライド(島津氏の思想)色が強い。 			

市町村・活動団体等へのヒアリング（その1）

ヒアリング対象	西都市教育委員会社会教育課		ヒアリング日時	H17.12.5
地域プライド名称・内容	国指定特別史跡西都原古墳群	西都原には 311 基の古墳があり、中には陵墓参考地も存在する。史跡はもとより観光やイベントの名所としても市民の憩いの場となっている。古代ロマンを感じさせるイベントとして「西都古墳まつり」が毎年開催され、ふるさとイベント大賞も受賞した。		
	伊東満所生誕の地	天正遣欧少年使節団として 13 歳にしてローマへ赴き、法皇に謁見した偉業を成し遂げた伊東満所の生誕の地が都於郡地区である。彼の功績は地域住民にも語り継がれており、地元の小中学校でも授業に取り入れられている。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西都市では、国指定特別史跡西都原古墳群に関する神話からの歴史と伊東氏に関する歴史（伊東満所生誕の地）の 2 つを柱に、様々な取り組みがなされている。 ・国指定特別史跡西都原古墳群に関する神話からの歴史についての取り組みは、ガイダンスセンターこのはな館等を含めた観光的取り組みと西都古墳まつりのイベントが挙げられる。 ・観光的取り組みの課題は、西都原古墳群が国指定であるため、土地の形質変更等を容易にすることができず、一年を通した観光展開ができない点にある（現在は、夏の観光に加え、春の菜の花、秋のコスモス等の園芸観光の展開を行っている）。 ・西都古墳まつりは、平成 17 年で 19 回目を迎える。 ・イベントの中で行われる松明行列の火は、霧島側と高千穂側の火が西都で合流するもので見ごたえがある。 ・誰でも参加が可能で、初回は 200 人程度であったが、平成 17 年は 800 人が参加した。特に小学生の参加が増えており、地域に浸透してきた結果だと考えている。 ・同イベントは、実行委員会形式で企画運営（事務局は観光協会）されており、運営費は市の 100% 補助である。そのため、記念年となる 20 周年目は見込みがあるが、その後は財政難等から協賛等民間からの資金捻出の検討も必要である。 ・伊東氏に関する歴史についての取り組みは、平成遣欧少年使節海外派遣事業と天正遣欧少年使節ゆかりの地中学生体験交流事業があげられる。 ・平成遣欧少年使節海外派遣事業は、中学生 2 名を 10 日間（平成 17 年は 7/21 から 30 まで）ヨーロッパに派遣し、伊東満所の精神を体験させるものである。 ・天正遣欧少年使節ゆかりの地中学生体験交流事業は、伊東満所を除く天正遣欧少年使節団員の出身件との交流事業で総務課が所管しており、平成遣欧少年使節海外派遣事業と隔年で実施している。 ・地域プライドの伝承は、副読本により行っている。なお、伊東氏に関する歴史についての取り組みは、西都市の都於郡地区において城址まつりも実施されている。 			
特記事項	・地域プライドとして、神話と戦国時代の歴史的精神の二面性を持つ。			

市町村・活動団体等へのヒアリング（その2）

ヒアリング対象	西都市活性化推進室		ヒアリング日時	H17.12.5
地域プライド名称・内容	西都市教育委員会社会教育課の田爪主事の紹介を受けて副読本を購入した教育委員会学校教育課の田中係長の紹介により、西都市の都於郡地区における城址まつりの関連について、ヒアリングを実施した。			
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・城址まつりは総務課が所管で、都於郡小学校、中学校を中心とした偉人継承のためのイベントである（11 月の第二土日開催）。 ・都於郡地区では、かつて小学生を中心とした学校行事としての都小っ子祭りや伊藤家を祀る高屋山陵祭りの 2 つのイベントがあったが、これらが平成 9 年にひとつとなって城址まつりとなった。 ・祭りのメインは武者行列であり、参加する生徒全員が鎧を着て、国指定の城址跡に登城するものである。 ・この時の鎧や兜は、生徒の家が用意する慣わしとなっている。 ・祭りは実行委員会形式で企画運営され、実行委員は地区長と学校関係者である。 ・運営費は、市の単独補助（50%）と、残りは住民の負担金及び寄付金で賄われている。 ・目玉行事がなく観光にはあまり適しておらず、付加価値をつけた定着する行事への工夫が必要である。 			
特記事項	・行事における鎧や兜は、生徒の家が用意する慣わしとなっているなど、エリアは狭いが深い精神文化が継承されている。			

市町村・活動団体等へのヒアリング

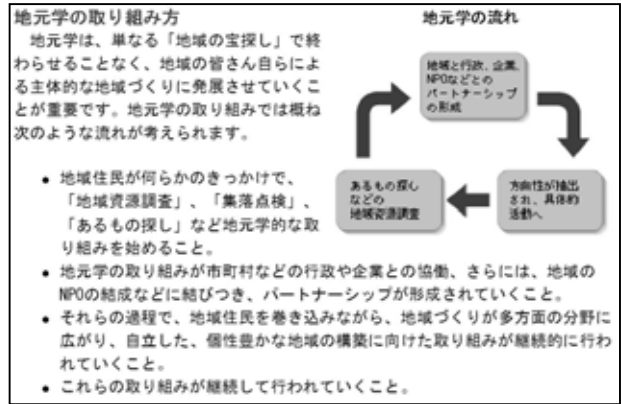
ヒアリング対象	佐土原町教育委員会社会教育課		ヒアリング日時	H17.12.6
地域プライド名称・内容	日向国の中心として栄えた町としての誇り	昨年、国指定史跡となった「佐土原城跡」、国指定重要文化財「木造騎獅文殊菩薩及脇侍像（五軀）附木造天蓋 1 面等の指定文化財や歴史のある寺社、神社が町中に沢山点在しており、それらを大切に守っている。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・佐土原町の上田島地区は、旧来から町の中心地であり、幕末の伊東氏による城址整備による町割が現在も多く残っている。 ・歴史に対する重いに加え、旧来から町の中心地であったという誇りが地区内に根付いており、歴史的施設の保存要請を受けて市が町民からの寄付により移管を受けているが、維持管理は町民が行っている。 ・“佐土原歴史民族資料館の清掃”は、平成 13 年に建設された施設の清掃を、地区住民の自主的な取り組みとして行っているものである。 ・“文化財愛護少年団”は、15 年以上の取り組みであり、愛宕神社の獅子舞を小学校 4 年生以上の希望者の参加により継承しているもので、企画から立案までを小学生が行っている。 ・昨年、国指定史跡となった「佐土原城跡」は、伊東氏の出城であったが、島津氏との戦いに敗れ、その後の歴史から佐土原町は一般的に島津氏の町と思われる。 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・伊東氏が島津氏との戦いに敗れ、佐土原が島津氏のものとなった時、日南の飴肥は伊東氏のものとなっており、宮崎県中部から南部、鹿児島県東部にかけての地域プライドは、神話とは別に戦国時代の歴史的事象により結ばれる地域プライドが存在する。 			

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	霧島市教育委員会文化振興課		ヒアリング日時	H17.12.7
地域プライド名称・内容	天孫降臨の地としての誇り	「天孫降臨」の地として地域住民が認知しており、これらの神話に関係のある霧島神宮、鹿児島神宮などの建築物や高千穂峰、若尊の鼻などのゆかりの地があり、地域の人々が誇りをもって守ってきている。また、神話に基づいた神楽祭りの開催や九面太鼓保存会の活動などが展開されており、地域住民に身近なものとなっている。		
	クマソ・ハヤトの地としての誇り	「天孫降臨」とはまったく異なる「クマソ・ハヤト」の伝承発祥の地として、熊襲穴・隼人塚・隼人城・七隈（クマソの砦）・拍子橋伝説の地など数多くの伝説地が点在している。特に、大和勢に最後まで抵抗した民族の末裔として南九州の人々は、その後の歴史からでも見てわかるように、独特の気質、矜持をもって思われる。		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「天孫降臨」の地としての誇りは、高千穂町か霧島かということよりも、「天孫降臨」にまつわる史実の存在が、地域の人々の誇りの源になっていることが重要である。 ・1 市 7 町が 11 月 7 日に合併し、霧島市となったが、新市名として「霧島」となったことから、地域のプライドのひとつと判断される。 ・クマソ・ハヤトの地としての誇りは、「天孫降臨」と関連しつつも、和勢に最後まで抵抗した民族の精神が独特の気質を形成した、異なる誇りとして記載した。 ・当課では、新市建設計画に基づき、さまざまな展開を整理しているが、基本的な考え方として、行政はハブとして機能し、民間等グループとのつながりを作っていくことが役割で、職員は、例えばイベント等の実行委員会など市民等への集まりに極力参加すべきであると考えている。 ・交流の取り組みは実行委員会方式を原則として、実践の方向性やきっかけは市が示し、展開は民間が担う考え方が基本である。 ・教育・学習の実践例における、「昔の語りベリダー」育成も新市建設計画に基づく当課が主幹の展開のひとつで、平成 17 年度からの取り組みである。 ・「郷土史研究会」は、旧国分誌作成 0B の方による会であり、国分、隼人の人々 7 ～ 8 名が中心となって、平成 8 年か 9 年に発足したものであり、地域の継承の掘り起こしと地元への定着を担っている。 ・新市になったばかりであり、広域な市域ゆえに地域性の異なる旧町もあるため、今後、何を錦の旗（求心力を持つもの）として取り組み実践を展開するのかが課題である。 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域プライドとして、神話に基づく風景（風土）と気質も基となっている歴史的精神が存在する。 ・地域性（地域プライド）の異なる広域合併後の展開課題が存在する。 			

岩手県へのヒアリング（その1）

ヒアリング対象	岩手県地域振興部地域企画室	ヒアリング日時	H17.11.30
地域プライド名称・内容	「いわての文化情報大辞典」参照のこと		
ヒアリング内容	<p>・ 地元を見直そうという取組みを勧めている（地元学）。</p> <p>・ 市町村総合補助金地域活性化事業費[地方振興局]により、イベント等の支援を行っている。ただし、地元が盛り上がっていないものを県が支援することはできない。</p> <p>・ 北上川流域でも多くの先人が輩出されている。これらをつなげて情報発信が必要であろうが、現在は具体的な取組みを行っていない。</p> <p>・ アテルイは、最終的に中央（坂上田村麻呂）に敗れてしまったため、地元でもあまり知られていなかった。生誕 1200 年際では大きくイベントを行ったが、その後の取組みは少ない（民間有志による活動のみ）。</p> <p>・ 岩手県の文化はエミシが築き上げたというより、西（関西方面）からの文化も取り入れて、独自の文化を築き上げてきている。</p>		
特記事項	・ 北上川流域連絡会議を行っており、北上川を軸とした地域づくりの取組みは少なからず進行中である。		



岩手県へのヒアリング（その2）

ヒアリング対象	岩手県教育委員会生涯学習文化課	ヒアリング日時	H17.11.30
地域プライド名称・内容（アンケートより）	<p>伝統芸能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 7 年の民俗芸能に係る実態調査では県内には 1 千を超える民俗芸能保存団体が活動を行っており、地域ごとに伝えられてきた民俗芸能を継承されてきていることから、岩手が「民俗芸能の宝庫」といわれる所以と認めていること。 ・ 県が主催する民俗芸能フェスティバルを始め、色々な形で民俗芸能祭が開催されるなど県民が民俗芸能に親しんでいる。 <p>平泉文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 世紀末から 12 世紀にかけての 100 年間、奥州藤原氏が海外との交易を背景に、京都の文化の影響を受けながら独自に発展させた文化と仏教理念に基づいて都市平泉を築きました。特に、金色堂に代表される建築物や浄土庭園群など、平安時代後期の日本的仏教文化を代表するものである。 ・ 藤原氏の滅亡により、平泉文化は少しずつ衰退してきましたが、平泉の人々は、誇りを持ち続け、遺跡を良好な状態で現在まで守ってきた。また、宗教的な儀式や祭礼も多くの人々の信仰心と努力により今日まで伝えられている。 ・ このすばらしい平泉文化を人類共通の宝物として引き継いでいくため、平成 20 年の世界遺産登録に向けて活動を行っている。 		
ヒアリング内容	<p>・ 人口の減少や過疎化により、民俗芸能の後継者や団体の保持が困難になっている</p> <p>・ 文化財の保護と開発の両立（地域住民の行為が制限されることがある）</p> <p>・ 文化財に対する地域住民の理解 民俗芸能を通じた世代間交流や後継者育成 平泉文化の内容を紹介するガイダンス施設の整備</p>		

岩手県へのヒアリング（その3）

ヒアリング対象	岩手県社会科教育研究会	ヒアリング日時	H17.11.30
ヒアリング内容	<p>・ アテルイについては、高橋克彦氏が小説にするまであまり知られていない。文献等もほとんど残っていない。</p> <p>・ 岩手県には先人が多いが、その背景にアテルイに代表されるような中央政権への対抗意識があったかどうかは不明。</p> <p>・ 小学校副読本 県内各地の主な開発として北上川沿いの水路・堰の開発に関する項目が最初に整理されている。</p> <p>・ 「さかえる平泉」として、アテルイと坂上田村麻呂、藤原氏の話が整理されている。</p>		

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	水沢市教育委員会社会教育課 政策管理室	ヒアリング日時	H17.11.30
地域プライド名称・内容	坂上田村麻呂とアテルイ	<ul style="list-style-type: none"> ・アテルイはエミシのリーダーとして、支配下におさめようとする朝廷の大軍と長年戦いを続けていた。しかし、エミシにとっても戦がこれ以上長引くと犠牲も大きいため、4度目の戦で坂上田村麻呂が率いる朝廷軍に降伏した。坂上田村麻呂はエミシたちを従わせるためにアテルイが必要だと朝廷に訴えたが、アテルイたちは都（京都）に連れて行かれた処刑された。 ・一方、坂上田村麻呂は、この戦の後、エミシを従え胆沢城（水沢市）や志和城（盛岡市）を築き、この地方を治めた。 	
	水沢出身の三偉人	<ul style="list-style-type: none"> ・高野長英は、長崎で西洋医学や蘭学を学び、1830年（天保元年）江戸麹町貝坂で塾を開き、日本最初の体系的生理学書として有名な「医原樞要」や医学から飢饉に備える「二物考」など多くの著述を残し、精力的な活動を続けた。1839年、長英は外国情勢への対応を述べた「夢物語」を書いたが、幕府批判の罪にとわれ、渡辺華山などととも捕らえられた。獄舎の火事を利用して逃走し、数多くの門人や学友、宇和島、薩摩藩主に守られながら、人相や名前を変えながら活動を続けたが、1850年、幕府の捕方におそわれた、自殺した。 ・後藤新平は、台湾総督府民政局長（のち民政長官）として民政統治の確立に努める。さらに満鉄の初代総裁として広軌鉄道施設・撫順炭硯開発・大連病院建設など満州経営の基礎を作る。1908年（明治41）第2次桂内閣に逓信相として入閣、新設の鉄道院・拓殖局の両総裁も兼ねる。1920年（大正9）東京市長に就任、いわゆる8億円計画という都市改造案を提案。山本権兵衛内閣の内相に返り咲き、関東大震災の復旧処理に当たった。日本ボーイスカウト初代総裁。 ・斎藤實は、明治39（1906）年西園寺内閣海相以後、大正3（1914）年まで歴代5内閣にわたって8年間海相。大正7（1918）年朝鮮総督に就任、文治政策に徹し8年間を名総督として全うする。のちジュネーブ軍縮会議全権大使。昭和7（1932）年に5・15事件で凶弾に倒れた犬養内閣の後をうけて首相。挙国一致内閣で満州事変後の難局処理に当たったものの、陸軍内部の対立、軍部による満州の植民地化への対外批判、帝人事件の突発によって2年あまりで退陣。首相退陣後は内大臣の重職に就いたが、2・26事件の凶弾に倒れた。 	
ヒアリング内容	<p>坂上田村麻呂とアテルイについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水沢地域振興局が積極的にアテルイを題材に取組みを進めている。アテルイの里広場（水沢地方振興局が整備）やZプラザアテルイ（観光物産センター）など「アテルイ」と名づけられた施設やイベント等も多い。 ・2002年には没後1200年を記念して大規模なイベントを実施。（16mmアニメ製作、わらび座によるミュージカル、延命8年の会やアテルイを顕彰する会などによるシンポジウム、その他6～10月にわたりイベント各種実施）が、その後、市や水沢地方振興局では特に取り組みは行っていない。 ・昨年、有志（市民団体や羽田地区の住民）が大阪枚方の神社から分霊した土を羽黒山に埋め、アテルイとモレの石碑を建てた。 ・アテルイは最終的には坂上田村麻呂に敗れており、坂上田村麻呂が胆沢城を始め当地域の開発に尽力を注いでいるため、一般的にはアテルイではなく坂上田村麻呂の方が英雄として知られている。（社会科副読本では他市の副読本よりはアテルイの話が詳しく紹介されているが、アテルイより坂上田村麻呂の方が先に紹介されている。） <p>水沢出身の三偉人について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水沢市は高野長英、後藤新平、斎藤實の出身地でもあり、それぞれ記念館が市街地内に存在している。昨年度、高野長英の生誕200年記念イベントを実施。来年度後藤新平生誕200年記念イベントを実施予定。 ・第6回吉小路偉人通り顕彰祭が10月に開催され、セレモニーや講演会等のイベントを実施。 ・市では、イベントを行うものの単発的に終わっているのが現状である。市民を含めた街づくり委員会を組織し検討を行ったが、実践に移行できていない。 ・この3人については、副読本においても2頁ずつで紹介されており、HPにおいても各人の紙芝居が公開されている。しかし、各人が活躍した場は水沢ではないため、存在は知られているが、その行動や精神等について地域プライドになるほど普及しているとは言い難い。 		
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・アテルイについては、2002年に大規模なイベントを開催したが、市民の意識は定着していない。むしろ、坂上田村麻呂の方が英雄として知られている。 ・三偉人は市民にも知られているが、地域プライドとして意識されてはいない。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域プライドとなりうる要素はたくさんあるが、それゆえ 1 つに絞り込むことができず、単発的なイベント開催となっている。
特記事項	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三偉人をはじめ多くの先人を輩出しており、市街地においても博物館等が存在しているが、ネットワーク等が形成されていない。また、イベントも関連性や継続性に欠けている。 ・民間有志が活動しているものの、市民全体への情報発信等については、市が関わらないと普及することが難しい。

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	前沢町教育委員会社会教育課	ヒアリング日時	H17.12.1
地域プライド名称・内容	<p>千田左馬・遠藤大学による水路開鑿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は広大な水田地帯である前沢町も、近世初期までは、水利が悪く水田耕作の難しいところであった。江戸時代初期に後藤寿庵が胆沢川からの用水路を開鑿するが、キリシタン弾圧により中座した。それを引き継ぎ前沢まで水路を引いたのが、千田左馬と遠藤大学である。近年まで「遠藤家で田植えが終わらないうちは、自分の家の田植えをしない」などといわれ、その功労が称えてられている。 ・二人は自分の財産を投げ打ってまで工事を進め、地域の発展に尽くした。千田は子孫の代まで村長に推薦された。 		
	<p>水田耕作および農村生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田耕作が盛んな地域であり、小規模ながらも兼業農家の家が多い。これらの家では、田植え、稲刈りなど一連の作業を家族・親戚でこなす。豊作を祈るこの生活の中に神社の祭礼や年中行事（みずき団子、果報団子や農はだて）などが付随する。 		
	<p>武士と商人の町としての前沢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世は伊達藩に属し、城と武士が設置された。また、街道筋にあるため宿場町でもあり、商人町としても栄え、商売上手だといわれていたという。武士町の名残として、喜多流の歌いが今も愛されている。謡いは大人であれば必ず謡えるもので、今でも結婚式をはじめとする祝賀の行事では欠かせないものとなっている。 		
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科副読本において5頁にわたり水路づくりの話が紹介されている。 ・昨年度、第5回前沢町民劇場で公演された。(毎年題材は変わる。DVDにて記録されている) ・「胆沢・江刺の先人物語の会」が、身近な先人の知恵と力を青少年の郷土学習に活かすため、書籍製作や学校等への講演等を行っている。 ・近年に入り耕地整理が進み、北上川からポンプアップし用水を確保するようになった。また、伝統的な水田経営から近代的な耕作、または、離農が進み、千田らの水路開鑿のありがたみが実生活から離れつつある。このため、地域プライドが薄れつつある。 		
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・寿庵や千田らが水路開鑿を継続していないと現在の穀倉地としての前沢町はなかった。 ・先人の考え方や出来事は後世にも伝えるべきことではあるが、生活と密着していないため、地域プライドとしての意識啓発は難しい。 		
特記事項	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実生活と密着していないものは、衰退傾向にある(先人物語、神楽など) <p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域プライドを伝承するためには、行政だけではなく先人物語を後世に伝えようとする有志が必要である。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	平泉町教育委員会社会教育係 平泉町世界遺産推進室	ヒアリング日時	H17.12.14
地域プライド名称・内容	平泉文化 ・11世紀頃には東北地方の支配をめぐって、大和の朝廷、武家の源氏、地元の勢力（安倍氏など）が争いを繰り返していた。その結果、奥州藤原氏初代清衡がなんとか生き残り、平泉に進出し戦争のない理想郷づくりが進められた。毛越寺、中尊寺、無量光院などのほか、多くの遺跡が保存状態も良く残っていることが平泉の町民の意識の高さが伺える。		
ヒアリング内容	<p>地域プライドの背景について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平泉町民憲章の冒頭に「奥州藤原文化発祥の地、平泉の町民であることに誇りをもち、」とある。 ・社会科副読本において参考資料として奥州藤原氏や埋蔵文化財が45頁にわたり紹介されている。 ・文化遺産については、身近に存在しているため、写生などの題材に活用したり、学習活動に活かしたりしている。 ・町民の生活にも身近に遺跡が存在している。地中40cmも掘れば遺跡にぶち当たるが、これを壊すことなく、自然と残すこと、守ることが意識づけられている。町民全体が多少不便な面もあるが、常識として持ち合わせている。（無量光院は田の真ん中にあるが、食糧自給が困難時代においても、田にしないで、守るべきと大切である） ・世界遺産の範囲はコアゾーンが文化財保護法の指定区域、バッファゾーンが町条例で建築許可が必要出る区域、第2バッファゾーンが建築の届出が必要な区域（町の90%を占める）。また、コアゾーン（史跡地）の拡大を行ったが、建築等の制限がかかることを承知の上で町民の協力が得られた。 ・文化遺産だけではなく、束稲山には吉野山（奈良）にも勝るとも劣らない数の桜があり、毛越寺から風景はすばらしかったといわれている。「ききもせず たはしね山の櫻花 吉野の外にかかるべしとは」と西行が詠んでいる。 ・北上川は藤原氏の時代から重要な交通手段であり、その水運を活かして金や米等の交易を行っていた。 ・今年の藤原祭り（春）には28万人の観光客が集まった。この数は源頼朝が四代泰衡を攻め入った時の軍勢と同じ数であった。 ・1年中祭りをやっているような町である。役場職員も業務がボランティアかわからぬくらい町民と一緒に参加している。 <p>今後の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街づくりとしてバイパス整備を進めている。国も平泉の景観を損なわないようにルート変更を行っている。街中を歩いて観光していただけるよう、バイパス沿いに駐車場の整備を進める。 ・平泉文化ファン・ネットワークづくりを進める。ワーキングラリーなど観光客を含めて歩きたくなる道づくりなどを進める。 ・「町全体が博物館」として景観や史跡の保存が進んでいる。東北地方初の景観行政団体になり、景観形成を推進する。 ・海外からの観光客への対応として、外国語ボランティアの育成や案内板表示等を進める。 ・世界遺産塾（県の地域活性化事業費、H15から3か年の事業）を継続的に実施したい。これは、平泉の史跡探索、文化財の発掘体験、平泉に関わる場（北上川の船運、鎌倉等）へ視察・フィールドワークを行っている。また、小中学生が対称だが、卒業後高校生がリーダーとして教える立場で参加するなど、地域プライドの担い手づくりにも寄与している。 		
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・奥州藤原氏の平和を求めて平泉の街づくりを進めたことは町民の共有認識となっている。 ・埋蔵文化財等とは日常的に接しているため、多少不便な生活となっても、無意識のうちにそれを保存しようとしてきている。 		
特記事項	<p>（ポイント）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に溶け込んでいる埋蔵文化財等の保全・活用に関して、「世界遺産登録」をきっかけに町民が一丸となって取組むことができた。地域プライドを教育していただくだけでなく、住民の意識啓発を図るため、求心力のある“きっかけ”が必要である。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング（その1）

ヒアリング対象	花巻市企画生活環境部企画調整課	ヒアリング日時	H17.12.14
地域プライド名称・内容	<p>童話作家・宮沢賢治生誕の地</p>	<p>・「雨ニモマケズ」、「銀河鉄道の夜」などの詩・童話は地域住民に限らず、世界中に認知されている。また、「イギリス海岸」は市内を流れる北上川の河岸がイギリスのドーバー海峡を思わせることから賢治が名付けた。また、賢治が教鞭をとった花巻農学校（現花巻農業高校）の敷地内に賢治が地域の農業青年に農民芸術概論などの講義を行った「羅須地人協会」が移転復元されている。</p> <p>・世界全体が幸せにならにといけないという世界観が賢治の精神である。</p>	
	<p>詩人・高村光太郎ゆかりの地</p>	<p>・戦時中、宮沢賢治の弟・清六氏を頼り東京より疎開。終戦後旧太田村に移り、農耕自炊生活に入り、創作活動を行う。冬には雪が吹き込むあばら屋で思索の生活を送ったのが「高村山荘」です。山荘は套屋によって保護されていますが、これは光太郎を敬慕する村人達が一本一本持ち寄った木で建てられたものです。</p>	
	<p>新渡戸稲造父祖ゆかりの地</p>	<p>・世界平和のため尽力した国際人・新渡戸稲造の先祖は、1598年から約220年間、現在の花巻市高松安野の地に居住し、代々文武両面にわたって花巻城土の指導的役割を果たすとともに、新田開発など地域の発展に貢献した。青森県十和田市の生みの親といわれる新渡戸傳（稲造の祖父）は、1793年花巻で生まれ、十和田三本木平の開発に子・十次郎と従事し十和田市発展の基礎を築いた。</p>	
	<p>花巻まつり</p>	<p>・花巻開町の祖、花巻郡代北松齊（きたしょうさい）公を祀り400年伝統を誇ります。松齊公が没してから、花巻城の行政区である稗貫・和賀の二郡の大祭となり、花巻三町（四日町、一日市町、川口町）のみならず、二群近在より人が出て大変にぎわった。</p>	
ヒアリング内容	<p>宮沢賢治について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧しい農民の生活を改善したいという考えが根底にあり、童話や未来への期待を住民に与えてくれている。一方で、賢治が身短すぎて、住民には地域プライドとまで深く考えていないのではないか。 ・早池峰山などの北上山地や奥羽山脈に囲まれた平野の中央を北上川が流れていると言う地形が自然災害の少ない豊かな穀倉地域を生んでいる。イーハトーブ（理想郷）とは、住みやすい地、まさにこの北上川流域を指す。 ・賢治記念館にはリピーターも多く、入館料だけで運営をまかなえている。 ・「賢治生誕祭」を10年続けてきたが、マンネリ化してきている。イベント内容等に関して転換期を向かえている。 ・「童話村フェスティバル（8月）」では、賢治にまつわる劇や伝統芸能の披露を行っている。 ・教育委員会主催で、小学生とその保護者を対象（20～30人参加）に「風のワークショップ」を開催している。また小学校等から要望があれば、市職員等が出向き講座を行っている。 ・童話村のイベントなどが単発に終わっている。 <p>高村光太郎について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光太郎は戦争がいやで疎開してきたため、逃げて来たと言う面と文化人が来たと言う両面を持っている。 ・貧しい生活を余儀なくされたため、周りの人から食料を分けてもらっていた。一方、地域の子ども集めて詩を詠んであげたりしていた。 <p>新渡戸稲造について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東和の方を開拓しており、稲造の祖先が住んでいただけなので、市民には定着していない。 <p>神楽・鹿踊りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動として神楽を演じているところもある。宮の目に郷土芸能伝承館を整備し、神楽を演じている。 ・市内には鹿踊りに関して4団体（湯本、湯口、宮の目、花巻農業高校）存在している。4団体とも同じ流派である。後継者もいる。 ・神楽や鹿踊りを行うと、踊りだけではなく礼儀も身につく。 <p>花巻祭りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻を開帳した殿様にちなんで始まった祭りであり、収穫の感謝祭として行われていた。風流山車（昔は15mもある山車もあった）や樽神輿などが街を練り歩く。現在は市民参加型のイベントとして親しまれており、伝統芸能の披露の場でもある。 <p>今後の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻空港の活用で中国や台湾との交流を活発化したい。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング（その2）

ヒアリング対象	花巻市産業部観光課 (社)花巻観光協会	ヒアリング日時	H17.12.14
ヒアリング内容	<p>宮沢賢治について</p> <ul style="list-style-type: none"> 賢治が生まれ育った風土を若い人にも理解してほしい。 全国的にも研究者やファンが多い。地元では崇高な精神を汚してしまうような商業目的で賢治を利用してはいけないとある。しかし、生活の苦しい時代に自分の命と変えても何とかしたいと取組んだのが賢治の精神と、観光を活発化して生活の向上を図るということは合致するはずである。観光により文化を広めるということも必要である。 賢治生誕祭をはじめ10年になる。一区切りであり、今後どうするかを検討する必要がある。『文化』を強調するのであれば教育委員会がもっと参画すべきである。観光と言う面でも、花巻の文化人を継承する講座がほしいところであるが教育委員会は考えていないようである。 文化振興はその効果が見えにくい、観光は入込み数として顕著に現れる。 リピーターを増やすには、道案内やドライバーの養成も必要となる。 <p>その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> 花巻祭りの背景は複雑なものがあり、それを市民に知らしめる必要があるかは疑問である。伝統芸能を守るためのものとして活動している。実行委員会形式で実施しているが、実質は観光課が動いている。イベントをこなすと言う感じである。 H18.1.1に合併する。早池峰山、神楽、ワイン、南部杜氏と観光資源が増える。地元にいると「風土」と言うものがわからなくなるが、観光客から指摘され再認識する部分もある。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング（その3）

ヒアリング対象	岩手県立花巻農業高校	ヒアリング日時	H17.12.15
ヒアリング内容	<p>宮沢賢治について</p> <ul style="list-style-type: none"> 賢治は花巻農業高校に4年しかいなかったが、その精神は今も受け継いでいる。全人教育=世界全体が幸せでなければ意味はない。 本校を卒業された方で特に50歳代以上の方はすごいプライドがある。全国に散らばっているが、その地で賢治の精神を再認識できる。 学校教育だけではなく、家庭でも賢治の精神などは話されている。(作物を作るだけではなく、食べる人のことを考える。豆腐をつくのであれば、大豆がどのようにできてきたのかを考えるなど) <p>鹿踊りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和33年全国農業クラブ連盟で発表会が企画され、郷土芸能を発表することとなった。踊りながら太鼓を叩き、歌も歌うため、大変であり取得に時間がかかる。 花巻祭りや老人ホーム、県外からも出演依頼が年20回以上は披露している状況である。一般の人に見られ、評価を受けることができるので、達成感はある。 現在の部員は8名だが、3年生が抜けると3人になる。昔は男性(農家の長男)の踊りであったが、女性の踊りも増えてきている(人数が確保できないため)。 鹿踊りは門外不悉の部分が多い。 		
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治の存在は大きく市民の意識の中にも定着している。しかし、賢治の文化を観光的な活用などに対しては制限がかかっている状況にある。 花巻祭りや鹿踊りについては、伝統芸能の保存と集客として取り組みが進められているが、地域プライドとしては定着していない。 		
特記事項	<p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化と観光を区別して考えることは難しく、協調して取り組むことにより文化振興、観光客誘致の相乗効果が期待できる。 		

市町村・活動団体等へのヒアリング

ヒアリング対象	石鳥谷町教育委員会生涯学習課 石鳥谷町ふるさと未来推進課任 石鳥谷町商工観光課	ヒアリング日時	H17.12.15
地域プライド名称・内容	南部杜氏の里としての誇り	<ul style="list-style-type: none"> 石鳥谷町は南部杜氏の里として、藩政時代より南部の酒造り 350 年余りの歴史を担い続けてきました。南部杜氏は、越後杜氏、丹波杜氏と並び、日本三大杜氏に数えられる洗練された酒造りの技を受け継ぐ職人たちですが、数年前に、その数で越後杜氏を抜き、全国一となりました。 明治前にはにがり酒をつくる技術しかなかったが、近江商人により透明な酒をつくる技術が伝えられた。特に大吟醸などの高度な酒をつくる技術を伝え、杜氏がかわると味が変わると言われている。最近では通年で杜氏を抱える酒蔵も出てきており、経営に関わることもある。 	
ヒアリング内容	<p>南部杜氏について</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒蔵の棟梁として、酒造りの技術だけではなく、人格的にも尊敬される存在である。 南部杜氏は紫波町が発祥の地らしいが、大正期に南部杜氏協会が石鳥谷の地にできたため、「南部杜氏の郷構想」を定め地域おこしに取り組んできた。現在 250 人あまりの杜氏があり、全国の 300 近い酒蔵で活躍している。 南部杜氏がこの地域の多いのは、北上川によってできた酒を運ぶことができる点と、豊富な伏流水があること、酒造用米をつくるのに適しているこう土がひろがっていたため。 杜氏は冬の「出稼ぎ」であったため、暗いイメージがあったが、「期間就労の集団」として地域の誇りにしようと意識改革をはじめ、昭和 56 年に歴史民俗資料館の整備、酒造用具が国の重要有形民俗文化財に指定され、「南部杜氏」に対する町民の意識が大きく変化した。 <p>取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成の前には町として誇れるもの、町民が共有できるイメージがなかった。歴史を検証・見直し、行政も町民も「酒造り」を掲げることができた。 平成 5 年には、酒蔵をイメージした道の駅が開所し、「南部杜氏の里」の情報発信基地ができた。 酒まつりを開催しており、吟醸酒を振舞ったり、農産物の直売をしたりしている。 南部杜氏協会が杜氏の育成に取り組んでいるが、杜氏は製法や税制など幅広い知識と技術が必要であり、なかなか後継者が育たない状況にある。 社会科副読本では、4 頁にわたって酒造りの方法を教えている。 生涯学習として杜氏さんの話を聞く講座がある。公民館によっては、酒の試飲や品評までやっているところもある。 		
ヒアリングまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「出稼ぎ」という暗いイメージから、全国に技術発信しているという誇りに意識改革を行った。 南部杜氏の里構想のもと、町民意識改革（ソフト）と道の駅等の施設整備（ハード）が一体的に進めることができた。 		
特記事項	<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村合併により 4 つの里が 1 つになる。花巻市として、酒造りの話を子どもたちに教えることができるか（副読本に記載できるか）。 <p>（ポイント）</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民が共有できる地域プライドを形成するためには、これまでの生活に根付いていた意識を改革することが必要である。 		